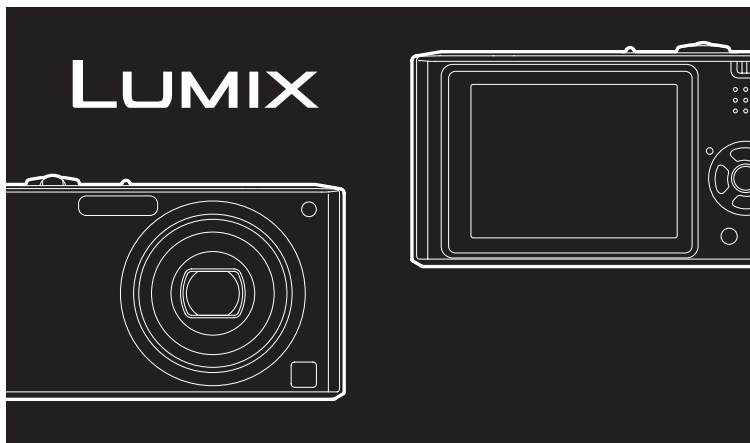
Panasonic®

取扱説明書
デジタルカメラ

品番 DMC-FX33

LEICA
DC VARIO-ELMARIT

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（4 ～ 7 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

VQT1J81

もくじ

はじめに

準備

基本

応用・撮る

応用・見る

他の機器との接続

その他・Q & A

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、区分表示しています。**

	危険	「死亡や重傷など、危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	「死亡や重傷などの可能性が想定される」内容です。
	注意	「傷害や物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**

	してはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない（※以降は、「バッテリー」と表記）

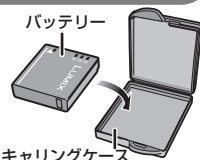
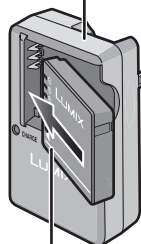
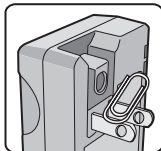
- 指定外のものは使わない
- 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- 右図の端子部（⊕・⊖）に金属を接触させない

チャージャー（充電器）**は、本機専用のバッテリーにのみ使用する**

バッテリーは、正しく使う

- 専用のチャージャーで充電する
- 保管や持ち歩きには、付属のキャリングケースに入れる

■ **バッテリーの液もれが起こったら**

・お買い上げの販売店にご相談ください。
・液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。
・液が目に入ったら、失明のおそれがあります。
すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

⚠警告

チャージャーは、誤った使いかたをしない

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外（交流 100 V ～ 240 V 以外）で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない
- 電源プラグの接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しない

チャージャーの電源プラグは、正しく扱う

- 定期的に乾いた布でふく（ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります）
- 根元まで確実に差し込む

雷が鳴ったら、触れない

本体やチャージャーには、金属部があります。

分解や改造はしない、ぬらさない、異物を入れない

内部には、電圧の高い部分があります。

異常時には、バッテリーを外す

- 内部がぬれたり、金属や異物が入ったとき
- 外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

⚠警告

乗り物を運転しながら使わない

- 歩行中も周囲や路面の状況に十分注意してください。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※ 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

目の傷害や、やけど、事故を防ぐために

フラッシュ発光部は、至近距離（数 cm）で直接見ない

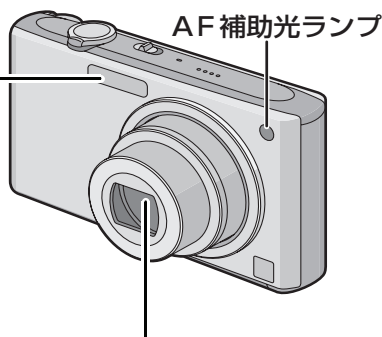
AF 補助光も直接見ない、発光直後に直接触らない

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

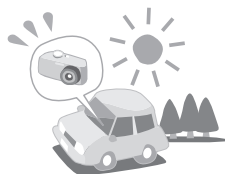
本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

メモリーカード（別売）

⚠注意

火災や感電を防ぐために

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

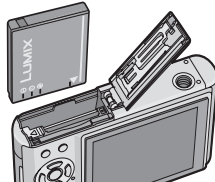
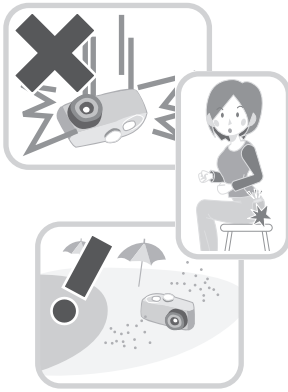
次のような場所に放置しない

- 異常に温度が高くなるところ（特に真夏の車内やトランクなど）
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 重いものの下
- 足元など、誤って踏んでしまうようなところ

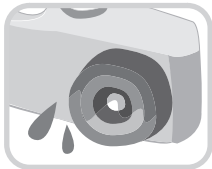
下記により、火災や感電、けがの原因になることがあります。

- 高温になる場所や重量物の下などに置くことによる製品の劣化や破損
- 油や水分、ほこりによる通電
- 本機に乗っての転倒

次のときは、バッテリーを取り出す

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

■ 不要(寿命)になったバッテリーは、リサイクル協力店へ (P120)

■ 修理や点検、異常時は、そのまま使わず、お買い上げの販売店にご相談ください

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて…

- **落下などによる強い振動や衝撃を与えないでください。**
  誤動作や、画像が記録できなくなる、またはレンズや液晶モニターが破壊される可能性があります。
- 本機をズボンのポケットに入れたまま座ったり、いっぱいになったかばんなどに無理に入れたりしないでください。
- **下記の場所では、故障などの原因になることがありますので、特にお気をつけください。**
  ・砂やほこりの多いところ
  ・雨の日や浜辺など水がかかるところ
- **レンズ部や端子部を汚れた手で触らないでください。また、レンズやボタンのすき間から液体などが入らないようにお気をつけください。**
- **万一水や海水がかかったときは、柔らかい乾いた布でふいてください。**

■ つゆつきについて（レンズがくもるとき）…

- つゆつきは、温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- つゆつきが起こった場合、電源を [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

■ 「使用上のお願い」も、あわせてお読みください。(P119)

ホームページではデジタルカメラの撮りかたやコツ、新製品の情報などを紹介しています。参考にご覧ください。

http://panasonic.jp

また製品のサポート情報については

http://panasonic.jp/support/

をご覧ください。

■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■ カードの画像について

- 以下の画像は、本機で再生できない場合があります。
  - ・他機で記録、作成した画像
  - ・パソコンで編集された画像
- 本機で記録、作成した画像は他機で正常に再生できない場合がありますので、あらかじめお確かめください。

■ 本機で使用できるカードは

SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、マルチメディアカードです。

- 本書では以下のカードのことを「カード」と記載しています。
  - ・SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB）
  - ・SDHC メモリーカード（4 GB）
  - ・マルチメディアカード（静止画のみ）
- 4 GB以上のメモリーカードはSDHCメモリーカードのみ使用できます。
- SDHCロゴのない4 GB(以上)のメモリーカードは、SD 規格に準拠していません。

最新情報は下記サポートサイトで
ご確認ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

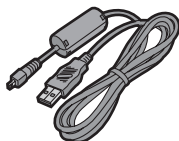
付属品

付属品をご確認ください。

記載の品番は 2007 年 8 月現在のものです。

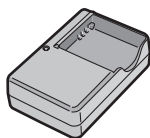
□

バッテリーパック
DMW-BCE10
（本文中では**バッテリー**と表記します）

□

USB 接続ケーブル
K1HA08CD0016

□

バッテリーキャリングケース
VYQ3914

□

バッテリーチャージャー
DE-A39A
（本文中では**チャージャー**と表記します）

□

CD-ROM

□

ストラップ
VFC4090

□

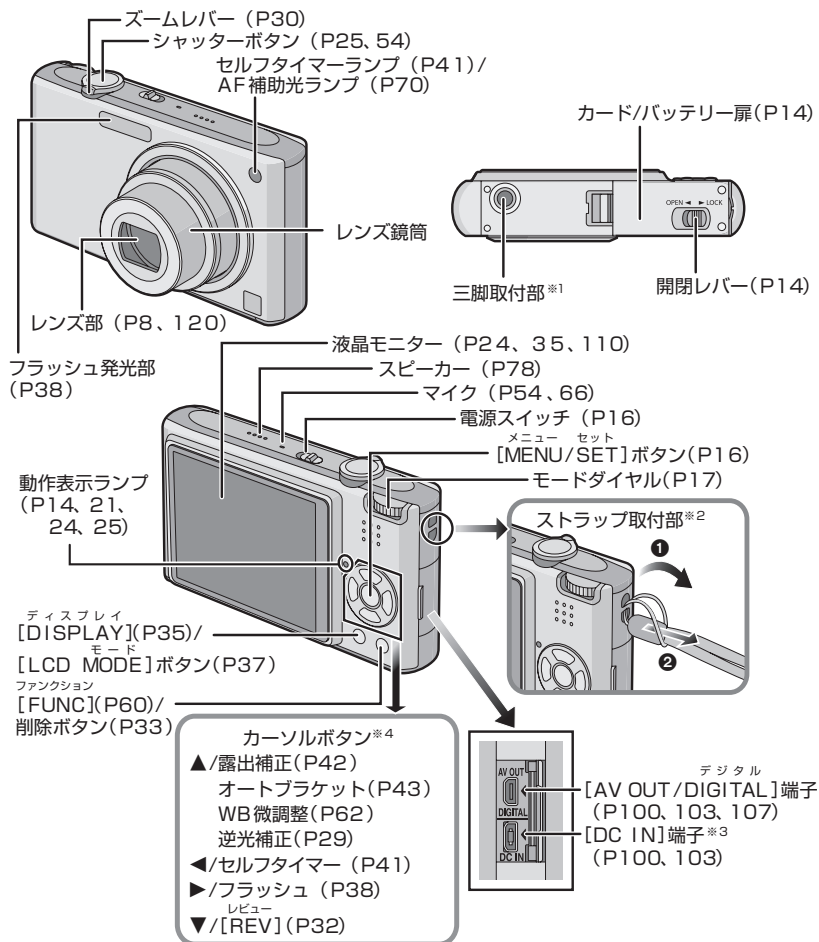
AV ケーブル
K1HA08CD0017

- **カードは別売です。**
  カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。
- 別売品については108ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

各部の名前

ズームレバー（P30）
シャッターボタン（P25､54）
セルフタイマーランプ（P41）/
AF補助光ランプ（P70）
カード/バッテリー扉（P14）
レンズ鏡筒
三脚取付部※1
開閉レバー（P14）
レンズ部（P8、120）
フラッシュ発光部
（P38）
液晶モニター（P24、35、110）
スピーカー（P78）
マイク（P54、66）
電源スイッチ（P16）
[MENU/SET]ボタン（P16）
モードダイヤル（P17）
動作表示ランプ
（P14、21、
24、25）
ストラップ取付部※2
[DISPLAY]（P35）/
[LCD MODE]ボタン（P37）
[FUNC]（P60）/
削除ボタン（P33）

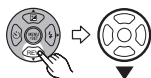
カーソルボタン※4
▲/露出補正（P42）
オートブラケット（P43）
WB微調整（P62）
逆光補正（P29）
◀/セルフタイマー（P41）
▶/フラッシュ（P38）
▼/[REV]（P32）

[AV OUT/DIGITAL]端子
（P100、103、107）
[DC IN]端子※3
（P100、103）

※1 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。

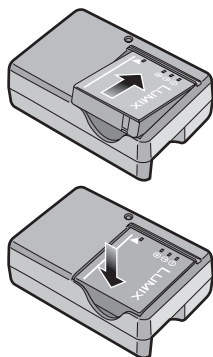
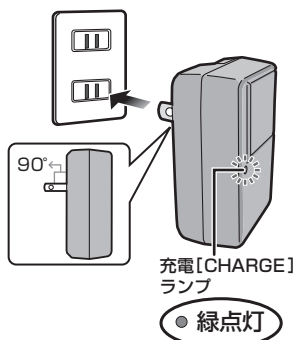
※2 **落下防止のため、ストラップを取り付けてご使用いただくことをおすすめします。**

※3 ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター（別売：DMW-AC5）を使用してください。

※4 本書ではカーソルボタンを下図のように説明しています。

例：▼ボタンを押すとき

バッテリーをチャージャーで充電する

● お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。

1 バッテリーの向きに気をつけて、バッテリーを差し込む

2 電源コンセントに差し込む

● 充電[CHARGE]ランプが点滅する場合は、13 ページをお読みください。

3 充電が完了したらバッテリーを取り外す

満充電完了（約 120 分後）

お知らせ

● 充電完了後は、電源コンセントから外してください。
● 使用後、充電中や充電後はバッテリーが温かくなります。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
● 充電完了後にバッテリーを長期間放置すると、バッテリーは消耗します。その場合は、再度充電し直してください。
● バッテリー残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電することができます。
● **本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。**
● **チャージャーは海外でも使うことができます。（P109）**
● **チャージャーは屋内で使用してください。**
● **電源プラグの接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。**

バッテリーについて（充電・記録可能枚数）

■ 電池寿命について

記録可能枚数
（条件は CIPA 規格で通常撮影モード [📷] 時）

記録可能枚数	約 280 枚 （約 140 分相当）

CIPA 規格による撮影条件

- 温度23 ℃/湿度50%、液晶モニターを点灯※
- 当社製の SD メモリーカード（16 MB）使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから 30 秒経過後、撮影を開始（手ブレ補正 [MODE1] 使用）
- **30秒間隔で1回撮影**、フラッシュを2回に 1 回フル発光
- 撮影ごとに、T 端→ W 端または W 端→ T 端にズームを動かす
- 10 枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

※オートパワー LCD、パワー LCD またはハイアングルモード（P37）時は記録可能枚数が減少します。

- CIPA は、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。

- **例えば2分に1回撮影した場合は、上記（30 秒に 1 回撮影）の枚数の約 1/4（約 70 枚）になります。**

再生時間

再生時間	約 300 分

記録可能枚数 / 再生時間は、バッテリーの保存状態や使用条件によって多少変わります。

■ 充電について

充電時間	約 120 分

別売のバッテリーパック（DMW-BCE10）の充電時間と**記録可能枚数**は、付属のバッテリーパックの場合と同じです。

- 充電が始まると、充電 [CHARGE] ランプが点灯します。

■ 充電ランプが点滅するときは

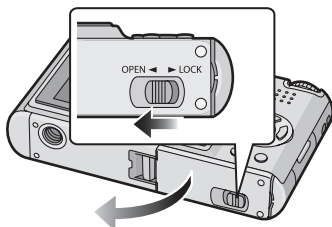
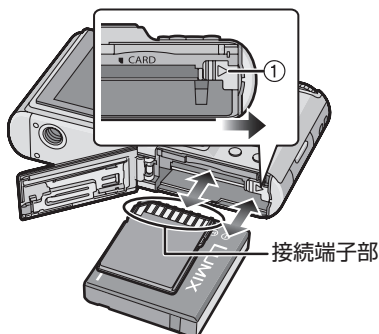
- バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。充電時間が通常よりも長くなります。または充電が完了しない場合があります。
- チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。

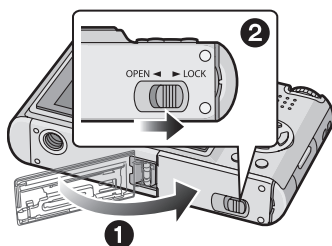
■ 充電する環境について

- 充電は周囲の温度が 10 ℃～ 35 ℃（バッテリーの温度も同様）のところで行ってください。
- スキー場などの低温下では、バッテリーの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなる場合があります。
- バッテリーは、充電回数が増えると、使用時間が短くなり、膨らむ特性をもっています。長く使用するためには、頻繁な継ぎ足し充電を避けてお使いいただくことをおすすめします。

バッテリー/カード（別売）を入れる・取り出す

- 電源が [OFF] になっていることを確認する。
- カード（別売）を用意する。
- **カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。**

1 開閉レバーを矢印の方向(OPEN側）にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開く

2 バッテリー：
向きに気をつけて、奥まで入れる
取り出すときは、① のレバーを矢印の方向に引いて取り出す
カード：
向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで奥まで入れる
取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

- カードの接続端子部に触れないでください。
- カードを奥まで入れないと、カードが壊れる原因になることがあります。

3 ❶ カード/バッテリー扉を閉じる
❷ 開閉レバーを矢印の方向(LOCK 側)にスライドさせる

- カード/バッテリー扉が完全に閉じない場合は、一度カードを取り出し、カードの向きを確認してからもう一度入れ直してください。

お知らせ

- 使用後は、バッテリーを取り出して、バッテリーキャリングケース（付属）に収納してください。
- **カメラの設定が正しく保存されない可能性がありますので、液晶モニターと動作表示ランプ（緑）が消灯してからバッテリーを取り出してください。**
- **付属のバッテリーは、本機専用です。本機以外で使わないでください。**
- **バッテリーは当社製のものをお使いください。**
- **電源を [ON] にしたままバッテリーやカードを入れたり、取り出したりしないでください。内蔵メモリーやカードのデータが壊れる原因になることがあります。特にアクセス中はお気をつけください。****（P24）**
- **カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。**

内蔵メモリー / カード（別売）について

内蔵メモリーは、カード使用時にカードの容量がなくなった場合の臨時用メモリーとしてお使いいただけます。**記録した画像はカードにコピーすることができます。（P98）**

■ 内蔵メモリーについて(IN)

内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。（カードを挿入しているときは内蔵メモリーは使えません）

- **内蔵メモリーの容量は約 27 MB です。**
- **内蔵メモリーで記録できる動画は、QVGA（320×240 画素）のみです。**
- メモ画像（P72）は、カードを挿入していても内蔵メモリーに保存されます。

■ カードについて( )

カードを挿入している場合は、カードで画像の記録や再生ができます。

■ カード(別売)について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカードおよびマルチメディアカードは小型、軽量で、着脱可能な外部メモリーカードです。使用できるカードについては 9 ページをお読みください。
- SDHCメモリーカードは2006年にSDアソシエーションにより策定された、2 GB を超える大容量メモリーカードの新規格です。
- SD メモリーカードおよび SDHC メモリーカードは記録 / 読み出し速度が速く、カードへの書き込みやフォーマットを禁止する書き込み禁止スイッチを備えています。（スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの消去、フォーマットはできなくなり、戻すと可能になります）

- 本機（SDHC 対応機器）は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカード、および FAT32 形式でフォーマットされたSDHCメモリーカードに対応しています。
- 本機は SD メモリーカード /SDHC メモリーカード両方に対応しています。SDHC メモリーカードは SDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。（必ずお使いの機器の説明書をお読みください。お店にプリントを依頼する場合も、事前にお問い合わせください。）（P9）
- カードの記録可能枚数・時間については 122 ページを参照してください。
- 動画撮影には高速タイプの SD メモリーカード/SDHCメモリーカードを使用することをおすすめします。

■ miniSD カード /microSD カード（別売）について

- miniSD カードや microSD カードを本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。
- アダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。
必ず、カードを入れてお使いください。

お知らせ

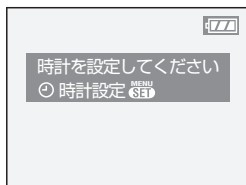
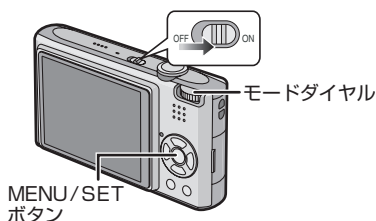
- 内蔵メモリーやカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりデータが壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをおすすめします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットされた場合、もう一度本機でフォーマットしてください。（P99）

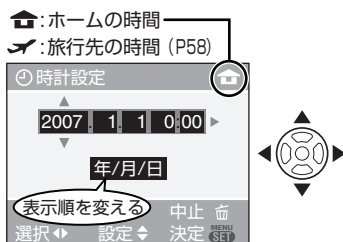
準備

時計を設定する

モードダイヤルを [カメラ] に合わせてください。

■ **お買い上げ時は・・・**

時計設定はされていませんので、電源を [ON] にすると、下のような画面が表示されます。

1 [MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ で年月日、時刻、表示の順番を合わせる

◀/▶ ：合わせたい項目（年・月・日・時・分・表示順）を選ぶ

▲/▼ ：年月日、時刻、表示順を設定する

[ゴミ箱]：　時計を設定せずに中止する

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 時計設定終了後、一度電源を [OFF] にしてから撮影モードで [ON] にして、設定どおり表示されているか確認してください。

時計設定を変更する場合

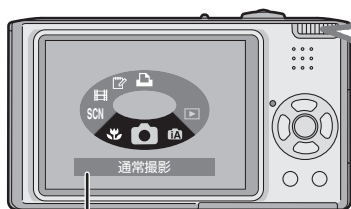
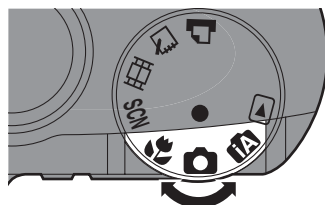
❶ [MENU/SET] ボタンを押す
❷ ▲/▼ で [時計設定] を選ぶ
❸ ▶ を押し、手順**2**、**3**の操作で決定する
❹ [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する
- セットアップメニュー（P20）でも設定できます。

○○お知らせ○○

- 満充電されたバッテリーを挿入して約24時間経過すると、時計用の内蔵電池の充電が完了するため、バッテリーを取り出して放置しても、約 3ヵ月は時計設定を記憶しています。（十分に充電されていないバッテリーを挿入した場合は、記憶時間が短くなることがあります）
  しかし、それ以上時間が経過すると設定が消えますので、もう一度時計設定をしてください。
- 年は2000年から2099年まで設定できます。時刻は 24 時間表示です。
- 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや文字焼き込み（P89）を行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。
- 時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

モードダイヤルについて

電源を [ON] にしてモードダイヤルを回すと、撮影と再生の切り換えだけでなく、被写体に近づいて撮影できるマクロモードや、目的に適した撮影ができるシーンモードにも切り換えることができます。

モードダイヤルを切り換える

モードダイヤルを回すと、液晶モニターに上記画面が表示されます。（P23）
電源を[ON]にしたときには、液晶モニターに現在選択されているモードが表示されます。

● の部分に使用したいモードを合わせる

モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。（モードの表示がない部分には合わせないでください）

基本

通常撮影モード P25
通常はこのモードに合わせて撮影します。

インテリジェントオートモード P28
すべてカメラまかせで撮影します。

再生モード P33
撮影した画像を再生します。

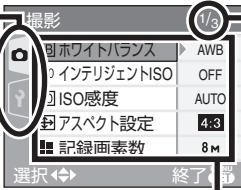
応用

マクロモード P44
被写体に近づいて撮影できます。

SCN シーンモード P45
撮影シーンに合わせて撮影できます。

動画撮影モード P54
音声付き動画を撮影します。

メモモード P72
メモとして撮影/再生します。

プリントモード P103
画像をプリントします。

メニューを設定する

■ メニュー画面を表示するには

[MENU/SET] ボタンを押す

■ メニューアイコンについて

撮影メニュー（P60）：
モードダイヤルが [ ]/[iA]/[ ]/[SCN]/[ ] のときに表示されます。

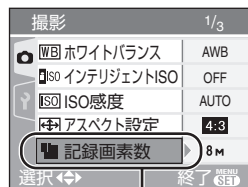
再生メニュー（P81）：
モードダイヤルが [ ] のときに表示されます。

SCN シーンモードメニュー（P45）：
モードダイヤルが [SCN] のときに表示されます。

セットアップメニュー（P20）：
モードダイヤルが [ ]/[iA]/[ ]/[SCN]/[ ]/[ ] のときに表示されます。

■ メニュー項目を設定する

● ここでは、通常撮影モード [ ] で、［クオリティ］を設定する例で説明しています。

1 ▲/▼ でメニュー項目を選ぶ

ここで▼を押すと
次の画面に切り換わります。

2 ▶ を押す

3 ▲/▼ で設定内容を選ぶ

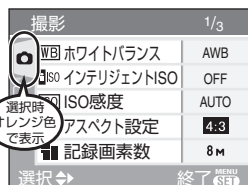
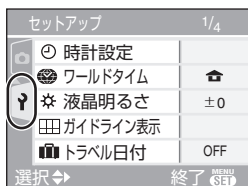
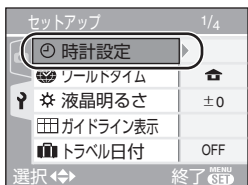
4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

■ メニュー画面を終了するには

[MENU/SET] ボタンを押す

- モードダイヤルが [📷]/ [iA]/ [🌷]/ [SCN]/ [🎞] のときは、シャッターボタン半押しでも終了できます。

■ セットアップメニューとの切り換え

1 メニュー画面で ◀ を押す

2 ▼ でセットアップメニューアイコンを選ぶ

3 ▶ を押す

- 続けてメニュー項目を選んで設定してください。

準備

セットアップメニューを使う

- 必要に応じて設定してください。
- メニュー設定をお買い上げ時の状態に戻すには、[設定リセット] を実行してください。(P22)

MENU/SETを押してメニューを表示し、セットアップメニュー [ ] から各項目を選んでください。

▶ はお買い上げ時の設定です。
[時計設定]、[オートレビュー]、[パワーセーブ]、[エコモード] は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

日付や時刻を変更する 時計設定 (P16)

日付や時刻を変更するときに設定します。

撮影画像を表示する オートレビュー

撮影後に撮影画像を表示させる時間を設定します。

OFF
▶ 1秒
3秒
ZOOM：1秒表示後4倍拡大で1秒表示

お知らせ

- 動画撮影モード [ ] 時は、オートレビューされません。
- オートブラケット撮影（P43）、シーンモードの [高速連写]（P50）、音声付き静止画（P66）、連写（P69）時は、オートレビューの設定にかかわらず、オートレビューされます。（拡大はされません）
- オートブラケット撮影、連写、動画撮影モード、シーンモードの [自分撮り]（P46）、[高速連写]（P50）、音声記録時は、オートレビューの設定はできません。
- インテリジェントオートモード[iA]時は[1 秒]に固定されます。

自動的に電源を切る パワーセーブ

設定した時間の間に何も操作しないと、パワーセーブモード（電源を自動的に切り、バッテリーの消耗を防ぐ）になります。

OFF
1 分
2 分
▶ 5 分
10 分

お知らせ

- 解除するには、シャッターボタンを半押しするか、電源を [OFF] にしてからもう一度 [ON] にしてください。
- エコモード設定時は [2 分]、インテリジェントオートモード [iA] またはメモモード [ ] 時は [5 分] に固定されます。
- 以下の場合、パワーセーブは働きません。
  - ・AC アダプター（別売：DMW-AC5）使用時
  - ・パソコンまたはプリンター接続時
  - ・動画撮影 / 再生時
  - ・スライドショー中

つづく

ECO 自動的に液晶モニターを消す エコモード

撮影時、液晶モニターの明るさを暗くし、また使用しない間、液晶モニターを自動的に消灯することで、バッテリーの消耗を防ぎます。

▶ OFF：エコモードになりません。
LEVEL1：約15秒間何も操作しないと、液晶モニターが消灯します。
LEVEL2：約15秒間何も操作しない、または撮影後約5秒間何も操作しないと、液晶モニターが消灯します。

〇〇お知らせ〇〇

- フラッシュを充電している間、液晶モニターが消灯します。
- 液晶モニター消灯中は動作表示ランプが点灯します。液晶モニターを再度点灯させるには、いずれかのボタンを押してください。
- パワーセーブの設定時間は［2分］に固定されます。［ただし、インテリジェントオートモード［iA］時は、パワーセーブは［5分］に設定され、ACアダプター（別売：DMW-AC5）使用時は、パワーセーブは働きません］
- パワーLCDまたはハイアングルモード時は、液晶モニターは暗くなりません。
- 以下の場合、エコモードは働きません。
  ・メモモード［ ］時
  ・ACアダプター（別売：DMW-AC5）使用時
  ・メニュー画面表示中
  ・セルフタイマー設定中
  ・動画撮影中

ワールドタイム (P58)

お住まいの地域と海外などの旅行先の時刻を設定します。

：旅行先の地域
▶ **：お住まいの地域**

液晶明るさ

液晶の明るさを7段階に調整できます。

ガイドライン表示

撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。
また、ガイドライン表示時に、撮影情報やヒストグラムをあわせて表示するかしないかを設定します。（P35、36）

撮影情報： ▶ **OFF**
ON
ヒストグラム： ▶ **OFF**
ON
パターン： ▶ ▦
⊠

- メモモード［ ］ではガイドライン表示の設定はできません。

トラベル日付 (P56)

旅行の出発日と帰着日を設定します。

▶ **OFF**
設定

操作音

操作音を設定できます。

操作音音量：
：操作音なし
▶ ：操作音小
：操作音大
操作音色：
▶ ❶
❷
❸

準備

シャッター音

シャッター音を設定できます。

シャッター音音量：
：シャッター音なし
▶ ：シャッター音小
：シャッター音大
シャッター音色：
▶ ♪❶
♪❷
♪❸

スピーカー音量

スピーカーの音量をLEVEL6 ～ 0の7段階に調整できます。

▶ LEVEL3

○○お知らせ○○
- テレビと接続したとき、テレビのスピーカーの音量は変わりません。

番号リセット

次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。

○○お知らせ○○
- フォルダー番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。（P101）
- フォルダー番号は100～999まで作成されます。フォルダー番号が999になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
- フォルダー番号を 100 にリセットするには、まず内蔵メモリー、カードをフォーマット(P99) してから、番号リセットを実行し、ファイル番号をリセットしてください。そのあと、フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい] を選んでフォルダー番号をリセットしてください。

設定リセット

以下の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
撮影設定 /
セットアップ設定

○○お知らせ○○
- セットアップ設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。また、再生メニューの [お気に入り]（P86）は [OFF]、[回転表示] (P85)、メモモードメニューの [メモモード初期画面]（P72）は [ON] になります。
  ・シーンモードの [赤ちゃん]（P48)、[ペット] (P49) の誕生日設定、名前設定
  ・トラベル日付（P56）の設定内容（出発日、帰着日）
  ・ワールドタイム（P58）の設定内容
- フォルダー番号、時計の設定は変わりません。

ビデオ出力

(再生モードのみ)
各国のカラーテレビ方式に合わせて設定します。

▶ NTSC：日本やアメリカなど
PAL：　ヨーロッパなど

MENU/SETを押してメニューを表示し、セットアップメニュー[ ]から各項目を選んでください。(P18)

TV アスペクト (P107)

(再生モードのみ)

テレビの種類に合わせて設定します。

16:9：画面が 16:9 のテレビと接続時
▶ 4:3：画面が 4：3 のテレビと接続時

SCN シーンメニュー (P45)

モードダイヤルを SCN に合わせたときに表示される画面を設定します。

OFF：現在選択されているシーンモードの撮影画面が表示されます。
▶ AUTO：シーンモードのメニュー画面が表示されます。

モードダイヤル表示

モードダイヤルを回したときに、モードダイヤルの位置を画面に表示するかしないかを設定します。

OFF
▶ ON

言語設定

画面表示の言語を設定します。

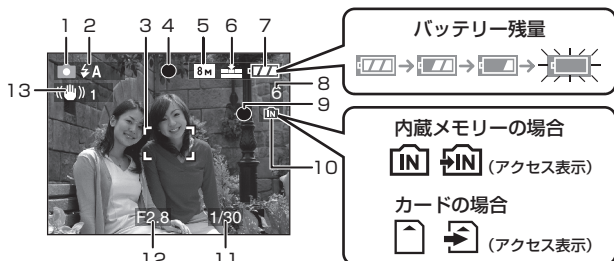
▶ 日本語
ENGLISH

お知らせ

- 誤って英語に設定した場合は、メニューアイコンの[ ]を選び言語を設定してください。

準備

液晶モニターの表示と切り換え

■ 通常撮影モード [📷] 時の画面表示(お買い上げ時)

1 撮影モード

2 フラッシュモード(P38)

- フラッシュが発光する場合、シャッターボタンを半押ししたときにフラッシュアイコンが赤に変わります。

3 AF エリア(P25)

- 暗い場所では、通常よりも大きな AF エリアが表示されます。

4 フォーカス(P25)

5 記録画素数(P65)

6 クオリティ(P65)
手ブレ警告(P27):

7 バッテリー残量

- バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。(液晶モニターが消灯しているときは、動作表示ランプが点滅します)
  バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。
- AC アダプター(別売 : DMW-AC5)につないで使用するときは表示されません。

8 記録可能枚数(P122)

9 記録動作

10 内蔵メモリー / カード

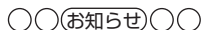
- 内蔵メモリー(またはカード)に画像を記録しているときは、アクセス表示が赤く点灯します。
- **アクセス表示が点灯しているときは、以下のことをお守りください。カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。**
  - **・電源を [OFF] にしない**
  - **・バッテリーやカード(カード使用時)を取り出さない**
  - **・本機に振動や衝撃を与えない**
  - **・AC アダプター(別売 : DMW-AC5)を抜かない(AC アダプター使用時)**
- 画像の読み出しや削除、内蔵メモリー(またはカード)のフォーマット(P99)中も、上記のことをお守りください。
- カードより内蔵メモリーの方がアクセス時間が長い場合があります。

11 シャッタースピード(P25)

12 絞り値(P25)

- 適正露出にならないとき、絞り値とシャッタースピードの数値の色が赤くなります。(ただし、フラッシュ発光時は赤くなりません)

13 手ブレ補正(P68)

○○(お知らせ)○○

- その他の画面表示については、110 ページをお読みください。

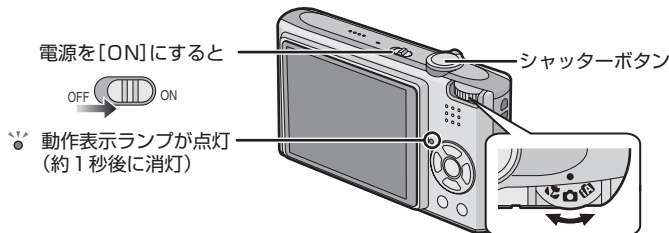
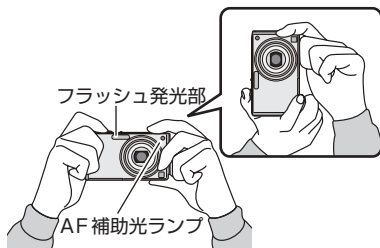
■ 画面表示の切り換え

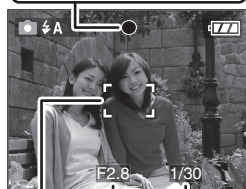
[DISPLAY] ボタンを押して、画面表示を切り換えることができます。記録画素数や記録可能枚数などの情報を表示させながら撮影したり、情報を表示させずに撮影することができます。詳しくは、35 ページをお読みください。

撮る（📷：通常撮影モード）

つづく

モードダイヤルを 📷 に合わせてください。

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。

1 両手で軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

2 ピントを合わせたい位置にAFエリアを合わせる

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- ピントが合う範囲は 50 cm ～∞です。

- 以下の場合ピントが合っていません。
  - ・フォーカス表示が点滅（緑）
  - ・AF エリアが白→赤または AF エリアなし
  - ・フォーカス音がピピピピッ
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していてもピントが合っていない場合があります。

4 半押しのままさらにシャッターボタンを全押しして撮影する

■ フラッシュを使う

撮影場所が暗いとカメラが判断した場合、シャッターボタン全押し時にフラッシュが発光します。（フラッシュ設定オート[⚡A]/赤目軽減オート[⚡A◎]/赤目軽減スローシンクロ[⚡S◎]時）

- 撮影内容に合わせて、フラッシュの設定を切り換えることができます。（P38）

○○お知らせ○○

- シャッターボタンを押すと、一瞬液晶モニターが明るくなったり暗くなる場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- フラッシュ発光部やAF補助光ランプを指などでふさがないでください。
- レンズ部には触らないでください。

準備

基本

撮影時の３原則～露出･ピント･色～

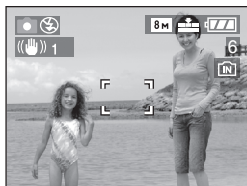
露出･ピント･色についての基礎知識を持っておくと、撮影に困ったときに役立ちます。

画像が暗く写るなど **露出** **で困ったら…** 42 ページへ	通常撮影モード［ ］を選ぶと、適正露出になるように自動調整（AE=Auto Exposure）しますが、逆光時など撮影条件によっては暗く写ります。 **このような場合は露出補正をお使いください。明るく撮ることができます。**

画像がぼやけて写るなど **ピント** **で困ったら…** 27､44ページへ	通常撮影モード［ ］を選ぶと、自動的にピント合わせ（AF=Auto Focus）を行いますが、以下のような場合にはピントがうまく合わないことがあります。ピントが合う範囲は 50 cm ～∞です。 ・遠くと近くのものを同時に撮る ・汚れたガラスの向こうのものを撮る ・キラキラと光るものが周りにある ・暗い場所を撮る ・動きの速いものを撮る ・コントラスト（濃淡）の低いものを撮る ・高輝度（非常に明るいもの）を撮る ・被写体に近づいて撮る ・手ブレしている **AF/AEロックのテクニックやマクロモードをお試しください。また、顔認識機能については 66 ページをお読みください。**

画像が赤っぽく写るなど **色** **で困ったら…** 61､62 ページへ	太陽光や蛍光灯など､その場の光が異なると被写体の色も異なって写りますが、本機は見た目に近い色合いに自動調整します。（オートホワイトバランス） **オートホワイトバランスによって得られた色合いを変更したい場合は、ホワイトバランスを設定してください。** **さらに微調整する場合は、ホワイトバランス微調整を行ってください。**

■ 撮りたい被写体が AF エリアから外れている場合(AF/AE ロック)

下のような構図で人物の写真を撮影したい場合、被写体が AF エリアから外れているので、そのままシャッターボタンを押すだけでは背景などにピントが合ってしまい、被写体にピントが合いません。

このようなときは、

❶ 被写体に AF エリアを合わせる
❷ **シャッターボタンを半押しし、**ピントと露出を固定する
- ピントが合うと、フォーカス表示が点灯します。

❸ **シャッターボタンを半押ししたまま、**撮りたい構図に本機を動かす
❹ シャッターボタンを全押しする

- AF/AE ロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

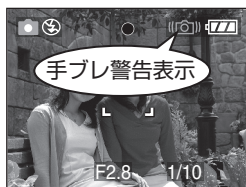
人物を撮影するときは、顔認識機能を使うことをおすすめします。(P66)

■ 縦位置検出機能について

本機を縦に構えて撮影した画像を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。([回転表示](P85)を [ON] に設定している場合のみ)

- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、画像を縦向きに表示できない場合があります。
- 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。

■ 手ブレを防ぐために

- シャッターボタンを押し込む際の手ブレにお気をつけください。
- シャッタースピードが遅くなり手ブレしやすいときは、手ブレ警告表示が出ます。

- 手ブレ警告表示が出るときは、三脚の使用をおすすめします。または撮る姿勢にお気をつけください。三脚使用時にはセルフタイマー(P41)を使うと、シャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐことができます。
- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をおすすめします。
  ・赤目軽減スローシンクロ
  ・シーンモード(P45)の[夜景 & 人物]/[夜景]/[パーティー]/[キャンドル]/[星空]/[花火]
  ・スローシャッター設定でシャッタースピードを遅くしたとき

カメラまかせで撮る（iA：インテリジェントオートモード）

モードダイヤルを iA に合わせてください。

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、初心者やカメラまかせで気軽に撮りたいときにおすすめです。

インテリジェントオートモード[iA]では以下の機能が自動的に働きます。

■ 手ブレ補正 (P68)

手ブレを感知して補正します。

■ インテリジェントISO感度(P63)

被写体の動きと明るさに応じて最適なISO 感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

■ 顔認識(P66)

人の顔を自動的に検知し、認識された顔がどの位置にあっても顔にピントや露出を合わせることができます。

■ 自動シーン判別

被写体や撮影状況に合わせて、シーンを判別します。（どのシーンにもあてはまらない場合は、[iA] に設定します）

判別シーン	
	i 人物
	i 風景
	i マクロ
	i 夜景 & 人物
	i 夜景

- 撮影状況によっては、同じ被写体で異なるシーンに判別される場合があります。

■ クイック AF

カメラのブレが小さくなると、カメラが自動的にピント合わせを行うため、シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。

■ 設定を変更する

[MENU/SET] ボタンを押して撮影メニューまたはセットアップメニューを表示し、設定する項目を選んでください。（P18）

設定できる項目

メニュー	項目
撮影メニュー	アスペクト設定（P64）
	記録画素数（P65）
	手ブレ補正（P68）
	連写（P69）
	カラーモード（P71）
セットアップメニュー	時計設定（P16）
	ワールドタイム（P58）
	トラベル日付（P56）
	操作音（P21）
	言語設定（P23）

- 次の項目は、他の撮影モード使用時と設定できる内容が異なります。
  - ・記録画素数
  - ・手ブレ補正
  - ・カラーモード
- インテリジェントオートモード[iA]での[時計設定]、[ワールドタイム]、[トラベル日付]、[操作音]、[言語設定]の設定内容は、他の撮影モードにも反映されます。
- セットアップメニュー(P20) での[時計設定]、[エコモード]、[ワールドタイム]、[液晶明るさ]、[トラベル日付]、[操作音]、[シャッター音]、[番号リセット]、[モードダイヤル表示]、[言語設定]はインテリジェントオートモード[iA]にも反映されます。

■ インテリジェントオートモード [iA] 時の設定内容

インテリジェントオートモード[iA]時は、その他の設定項目が次のように固定されます。詳しくは、それぞれのページをお読みください。

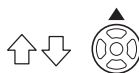
項目	設定内容
オートレビュー（P20）	1 秒
パワーセーブ（P20）	5 分
セルフタイマー（P41）	10 秒
ホワイトバランス（P61）	AWB
クオリティ（P65）	ファイン（0.3M EZ のみ、スタンダードに固定されます）
AF モード（P66）	顔認識（顔が認識されないときは 5 点になります）
AF 補助光（P70）	ON

● 以下の機能は使えません。
・ガイドライン表示
・露出補正
・オートブラケット
・ホワイトバランス微調整
・音声記録
・デジタルズーム
・スローシャッター

■ 逆光補正機能

逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。
このとき、人物など被写体が暗く写りますので、画像全体を明るくすることにより逆光を補正します。

▲ を押す

● 逆光補正時は [ ]（逆光補正オン表示）が表示されます。解除するにはもう一度 ▲ を押してください。

◯◯お知らせ◯◯

● フラッシュはオート [⚡A] または発光禁止 [ ] を選択できます。
オート [⚡A] 選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、オート、赤目軽減オート、赤目軽減スローシンクロになります。
● オート[⚡A]選択時は[i 夜景]に判別されません。
● 発光禁止[ ]選択時は[i 夜景&人物]に判別されません。
● [i 夜景] と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは最大 8 秒となります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。

基本

ズームを使って撮る

光学ズーム /EX 光学ズーム(EZ)で撮る

モードダイヤル設定：[通常撮影] [iA] [マクロ] [SCN] [動画] [クリップボード]

光学ズーム 3.6 倍までの範囲で、風景などを広く（広角）撮ったり人や物を大きく（望遠）撮ることができます。(28 mm ～ 100 mm：35 mm フィルムカメラ換算）画質を劣化させずにさらに大きく（最大5.7 倍）撮るには、各アスペクト(4:3 / 3:2 / 16:9) で最大記録画素数以外の記録画素数に設定してください。

■ 大きく撮るには(望遠)

ズームレバーを T 側へ回す

■ 広く撮るには(広角)

ズームレバーを W 側へ回す

■ 記録画素数と最大ズーム倍率

アスペクト設定 (P64)	記録画素数 (P65)	最大ズーム倍率 (T 端)	EX 光学ズーム
4:3	8M (8M)	3.6 倍	×
3:2	7M (7M)		
16:9	6M (6M)		
4:3	5M (5M EZ)	4.6 倍	○
3:2	4.5M (4.5M EZ)		
16:9	3.5M (3.5M EZ)		
4:3	3M (3M EZ) 2M (2M EZ) 0.3M (0.3M EZ)	5.7 倍	○
3:2	2.5M (2.5M EZ)		
16:9	2M (2M EZ)		

■ EX 光学ズームの仕組み

例えば [3M]（3M EZ）（300 万画素相当）に設定すると、CCD の持つ 8M（810 万画素相当）の領域のうち、3M（300 万画素相当）分の中央部を切り取って撮影するので、より望遠効果の高い写真が撮影できます。

◯◯お知らせ◯◯

- 電源 [ON] 時は W 端（1 倍）です。
- ピントを合わせたあと、ズーム操作をした場合は、もう一度ピントを合わせ直してください。
- ズーム位置によって、レンズ鏡筒が伸び縮みします。ズーム中に、レンズ鏡筒の動きを妨げないようにお気をつけください。
- 動画撮影モード [動画] 時は、撮影を開始したときのズーム倍率に固定されます。
- EZ とは「Ex. optical Zoom」の略で、EX 光学ズームを表します。
- EX 光学ズームが働く記録画素数では、ズーム操作をすると、画面に [EZ] が表示されます。
- EX 光学ズーム時、W 端（1 倍）付近でズームの動きが一瞬止まりますが、故障ではありません。
- ズーム倍率は目安です。
- 以下の場合、EX 光学ズームは働きません。
  - ・動画撮影モード [動画]
  - ・シーンモードの [高感度]、[高速連写]

デジタルズームで撮る　さらに拡大する

モードダイヤル設定：

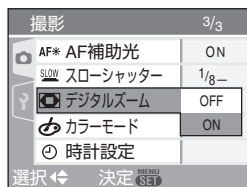
撮影メニューで［デジタルズーム］を [ON] に設定すると、光学 3.6 倍、デジタル 4 倍の最大 14.3 倍まで、また EX 光学ズームが働く記録画素数では、EX 光学の最大 5.7 倍、デジタル 4 倍の最大 22.7 倍まで拡大が可能になります。

■ メニュー操作について

1 **[MENU/SET] ボタンを押す**

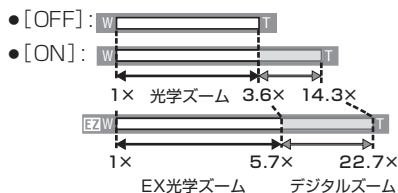
- シーンモード時は、撮影メニュー［ ］を選んで、▶ を押してください。

2 **▲/▼ で［デジタルズーム］を選び、▶ を押す**

3 **▼ で [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

4 **[MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する**

- **シャッターボタン半押しでも終了できます。**

■ デジタルズーム領域に入るには

光学ズームの最も望遠側まで拡大すると、一度ズーム表示のバーが停止します。その状態でズームレバーをT側に回し続けるか、一度ズームレバーを離してもう一度ズームレバーを T 側に回すと、デジタルズーム領域に入ることができます。

例：EX光学ズーム （3M EZ）併用時

○○お知らせ○○

- デジタルズーム領域では、大きな AF エリア（P67）が表示されます。また、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
- デジタルズームは拡大するほど画質が劣化します。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー（P41）を使って撮影することをおすすめします。
- ズーム倍率は目安です。
- 以下の場合、デジタルズームは働きません。
  - ・シーンモードの [スポーツ]、[赤ちゃん]、[ペット]、[高感度]、[高速連写]
  - ・[インテリジェントISO]を設定しているとき

撮った画像を確認する（レビュー）

モードダイヤル設定：

撮影モードのままで撮影した画像を確認できます。

1 ▼(REV) を押す

- 最後に撮影した画像が約 10 秒間表示されます。
- シャッターボタンを半押し、または再度▼(REV)を押すとレビューが解除されます。
- レビュー中に [DISPLAY] ボタンを押すと、表示情報を切り換えることができます。

2 ◀/▶ で画像を送る

◀：前の画像へ　　▶：次の画像へ

■ 画像を拡大する

1 ズームレバーを [🔍] (T) 側に回す

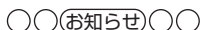
- ズームレバーを［🔍］（T）側に回すと 4 倍に、さらに回すと 8 倍になります。拡大したあと、ズームレバーを [▦]（W）側に回すと、倍率が小さくなります。

2 ▲/▼/◀/▶ で位置を移動させる

- 倍率を変えたり、表示する位置を移動させると、約 1 秒間ズーム位置表示が表示されます。

■ 撮影した画像をレビュー中に削除する（クイック削除）

レビュー時に 1 枚・複数・全画像削除できます。削除の方法については 33、34 ページをお読みください。

○○お知らせ○○

- [回転表示] (P85) を [ON] に設定していると、本機を縦に構えて撮影した画像は縦向きに（回転されて）表示されます。

つづく

画像を見る / 削除する（▶：再生モード）

モードダイヤルを ▶ に合わせてください。
（メモ画像はメモモード [ ] でのみ再生 / 削除できます。（P72））

カードが入っていない場合は内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが再生 / 削除されます。
画像は一度削除すると元に戻すことができません。1 枚ずつ確認しながら不要な画像を削除してください。

■ 画像を再生する

◀/▶ で画像を送る

◀：前の画像へ　　▶：次の画像へ

■ 早送り / 早戻しをする

再生中に ◀/▶ を押したままにする

◀：早戻し　　▶：早送り

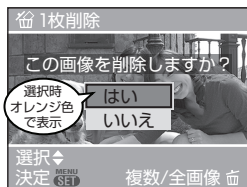
- ファイル番号と画像番号のみが1枚ずつ更新されます。再生したい画像の番号が表示されたときに ◀/▶ を離すと、その番号の画像が表示されます。
- 押し続けると、送る枚数が増加します。
- 撮影モード時のレビュー再生や、マルチ再生（P75）では、1 枚ずつしか早送り / 早戻しはできません。

○○お知らせ○○

- 本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）に準拠しています。
- 本機の液晶モニターでは、撮影画像の細部を表示できない場合があります。再生ズーム（P77）を使うことにより、画像の細部も確認できます。
- 他機で撮影された静止画を再生すると、再生される画像の画質が劣化して表示される場合があります。（画面上に「サムネイル表示」と表示されます）
- パソコンでフォルダー名やファイル名を変更すると再生できない場合があります。
- 規格外のファイルを再生したときは、フォルダー・ファイル番号が [—] で表示され、画面が黒くなる場合があります。
- 撮影モードから再生モードに切り換えると、約１５秒後にレンズ鏡筒が収納されます。

■ 1 枚削除

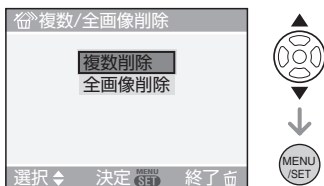
1 画像再生中に [🗑] ボタンを押す

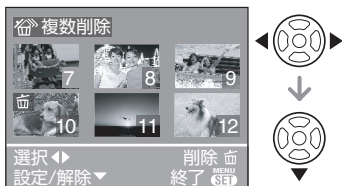
2 ▲ で［はい］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 画像削除中は、画面に [🗑] が表示されます。

基本

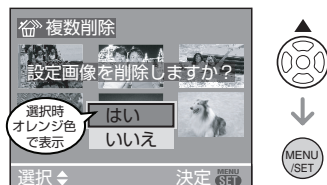
■ 複数/全画像削除

1 [🗑] ボタンを 2 回押す

2 ▲/▼ で［複数削除］または［全画像削除］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [複数削除] →手順 **3** へ
- [全画像削除] →手順 **5** へ
- [★以外全削除]（[お気に入り]（P86）設定時のみ）→手順 **5** へ（ただし、[★] の付いた画像が 1 枚もない場合は、選択できません）

3 ◀/▶ で画像を選び、▼ で設定する（[複数削除] 選択時のみ）

- この手順を繰り返します。
- 設定した画像に［🗑］が表示されます。もう一度 ▼ を押すと設定が解除されます。
- プロテクトされていると、設定した画像の [🔑] アイコンが赤く点滅し、画像削除できません。プロテクト設定を解除してから削除してください。（P93）

4 [🗑] ボタンを押す

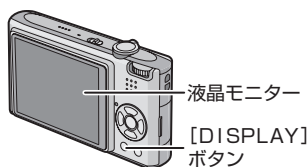
5 ▲ で［はい］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
（[複数削除] 選択時の画面）

- 内蔵メモリーまたはカードのいずれか一方のみ削除されます。（内蔵メモリーとカードの両方を一括削除することはできません）
- 再生モードで [全画像削除] を選択した場合、「○○上の全ての画像を削除しますか？」（○○ :「（メモ画像を除く）内蔵メモリー」または「メモリーカード」）、メモモード［📝］で [全画像削除] を選択した場合、「全てのメモ画像を削除しますか？」、とメッセージが表示されます。
- [★以外全削除] を選択した場合、「★以外の全ての画像を削除しますか？」、とメッセージが表示されます。
- [全画像削除]または[★以外全削除]中に[MENU/SET]ボタンを押すと、途中で削除が中止されます。

○○(お知らせ)○○

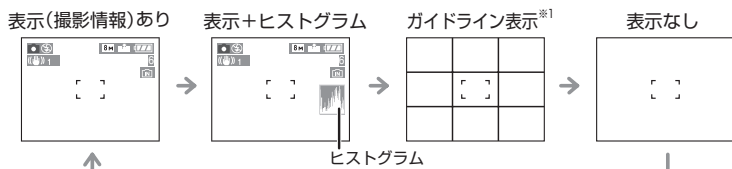
- 削除中は電源を [OFF] にしないでください。
- 削除するときは、十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプター（別売：DMW-AC5）を使用してください。
- [複数削除]で一度に削除できるのは50枚までです。
- 枚数が多ければ多いほど、削除するのに時間がかかります。
- 以下の場合は、[全画像削除]または[★以外全削除] をしても削除されません。
  - ・SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしている場合
  - ・DCF 規格外のファイル
  - ・プロテクト [🔑] された画像（P93）

液晶モニターの表示を切り換える

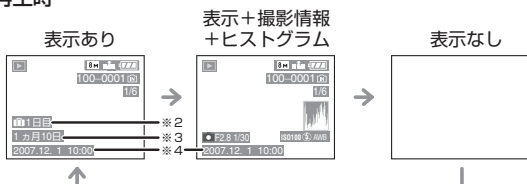
つづく

表示情報を切り換える

[DISPLAY] ボタンを押して切り換える

- メニュー画面表示時は [DISPLAY] ボタンは働きません。再生ズーム時（P77）、動画再生中（P78）、スライドショー中（P82）は、表示ありと表示なしの切り換えになります。

撮影時

※1 セットアップメニューの[ガイドライン表示]で、表示するガイドラインのパターンを設定できます。また、ガイドライン表示時に、撮影情報やヒストグラムを合わせて表示する/表示しないを設定します。

再生時

※2 トラベル日付(P56)を設定して撮影した場合は、経過日数が表示されます。
※3 シーンモードの[赤ちゃん]（P48）、[ペット]（P49）で誕生日設定をし、[月齢/年齢]を[ON]にして撮影した場合に表示されます。
※4 シーンモードの［赤ちゃん］（P48)、［ペット］（P49)の名前設定や再生メニューの[タイトル編集]（P87）で文字を登録している場合は、数秒間登録された文字を表示後、撮影日時が表示されます。

インテリジェントオートモード[iA]時

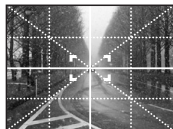
お知らせ

- シーンモード(P45)の [夜景 & 人物]、[夜景]、[星空]、[花火] では、ガイドラインはグレーで表示されます。

■ ガイドライン表示について

被写体を交点上やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。

[▦]選択時

[⊠]選択時

▦： 画面全体を３等分にして、バランスのよい構図の撮影を行いたい場合に使います。

⊠： 画面の中心に被写体を配置したい場合に使います。

● メモモード [ ] 時は [▦] になります。

■ ヒストグラムについて

ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。

撮影した画像のヒストグラムの形状（グラフの分布）を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。

❶ 中央を中心とした山になっている場合は、暗い部分、中間調、明るい部分がバランスよく分布し、撮影するのに適した画像となります。

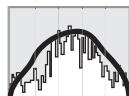
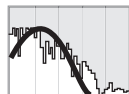
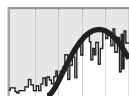
❷ 極端に左に寄っている場合は、暗い部分が多すぎる露出アンダー気味の画像となります。夜景など黒いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。

❸ 極端に右に寄っている場合は、明るい部分が多すぎる露出オーバー気味の画像となります。白いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。

ヒストグラムの表示例

❶ 適正な明るさの画像

ヒストグラム

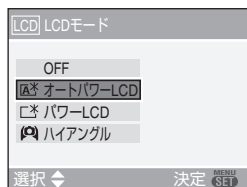
❷ 暗い画像

❸ 明るい画像

○○お知らせ○○

- **フラッシュ発光時や暗い場所での撮影時には、撮影画像とヒストグラムが一致しないため、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。**
- 撮影時のヒストグラムは目安です。
- 撮影時と再生時に表示されるヒストグラムは一致しない場合があります。
- パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。
- 以下の場合、ヒストグラムは表示されません。
  - ・インテリジェントオートモード [iA]
  - ・動画撮影モード [ ]
  - ・メモモード [ ]
  - ・マルチ再生時
  - ・カレンダー再生時
  - ・再生ズーム時

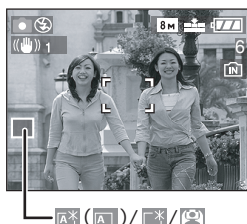
液晶モニターの画面を見やすくする

モードダイヤル設定：[撮影] [iA] [マクロ] [SCN] [動画] [クリップボード] [再生]

1 [LCD MODE] ボタンを 1 秒間押す

2 ▲/▼ でモードを選ぶ

項目	設定内容
[A✳]: オートパワーLCD	屋外などの明るい場所で、自動的にパワー LCD が働きます。パワー LCD が働くと [A] から [A✳] に変わります。
[✳]: パワーLCD	液晶モニターの画面が通常より明るくなり、屋外でも見やすくなります。
[ハイアングル]: ハイアングル	高い位置から撮影するときに液晶モニターを見やすくします。前に人がいて、被写体に近づけないときなどに便利です。(ただし、正面からは見にくくなります)
OFF	液晶モニターの画面を通常の明るさに戻します。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

- アイコンが表示されます。

[A✳]([A])/[✳]/[ハイアングル]

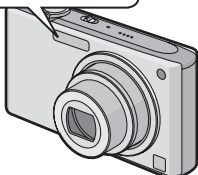
■ 設定を解除するには

[LCD MODE] ボタンを再度 1 秒間押したままにすると、手順 **2** の画面になります。設定を解除するときは、[OFF] に設定してください。

〇〇お知らせ〇〇

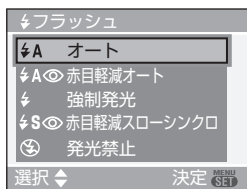
- ハイアングルモードは、電源が切れると（パワーセーブを含む）解除されます。
- オートパワー LCD、パワー LCD またはハイアングルモードは、液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しています。被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
- パワー LCD の液晶モニターの画面は、撮影時、30 秒間何も操作しないと、自動的に通常の明るさに戻ります。いずれかのボタンを押すと、再び明るく点灯します。
- 太陽光などが反射して画面が見にくい場合は、手などでさえぎってください。
- 以下の場合、オートパワー LCD またはハイアングルモードは働きません。
  - ・メモ再生
  - ・再生モード [▶]
  - ・プリントモード [プリント]
  - ・メニュー画面表示中
  - ・レビュー画面表示中

フラッシュを使って撮る

モードダイヤル設定：[通常撮影] [iA] [マクロ] [SCN] [クリップボード]

■ **フラッシュ設定を切り換える**

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

1 ▶(ϟ) を押す

2 ▲/▼ でモードを選ぶ

- ▶(ϟ) でも選ぶことができます。
- 選択できるフラッシュ設定については、39 ページの「撮影モード別フラッシュ設定」をお読みください。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

- **シャッターボタン半押しでも終了できます。**
- メニュー画面は約 5 秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

項目	設定内容
ϟA： **オート**	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
ϟA◎： **赤目軽減オート**※ **(白色)**	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る（赤目現象）のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。 ● **暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。**
ϟ： **強制発光** ϟ◎： **赤目軽減強制発光**※	フラッシュを強制的に発光させます。 ● **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。** ● **シーンモード（P45）の [パーティー]、[キャンドル] 時のみ、赤目軽減強制発光になります。**
ϟS◎： **赤目軽減スローシンクロ**※ **(オレンジ色)**	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象をおさえます。 ● **夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。**
[発光禁止]： **発光禁止**	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ● **フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。**

※ **フラッシュが 2 回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。**

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。
(○：設定可、×：設定不可、◎：初期設定)

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡S◎	⚡◎	⊘
	○	○	○	○	×	○
iA	○※	×	×	×	×	○
	○	○	○	○	×	○
	○	×	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	◎	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	◎	○	○
	×	×	×	○	○	◎
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	◎	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	×	×	○

※ オート [⚡A] 選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、オート、赤目軽減オート、赤目軽減スローシンクロになります。

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- 設定したフラッシュ設定は電源を[OFF]にしても記憶していますが、シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定は初期設定に戻ります。

■ ISO感度別フラッシュ撮影可能範囲

ISO 感度	フラッシュ撮影可能範囲	
	W 端時	T 端時
AUTO	約 60 cm ～ 約 6.3 m	約 30 cm ～ 約 3.1 m
ISO100	約 60 cm ～ 約 2.0 m	約 30 cm ～ 約 1.0 m
ISO200	約 60 cm ～ 約 2.8 m	約 30 cm ～ 約 1.4 m
ISO400	約 60 cm ～ 約 4.0 m	約 40 cm ～ 約 2.0 m
ISO800	約 80 cm ～ 約 5.6 m	約 60 cm ～ 約 2.8 m
ISO1250	約 1.0 m ～ 約 7.0 m	約 80 cm ～ 約 3.5 m
ISO1600	約 1.15 m ～ 約 8.0 m	約 90 cm ～ 約 4.0 m

- シーンモードの［高感度］(P50) では、[ISO1600] ～ [ISO6400] の間で自動的に変化し、撮影可能範囲も異なります。
  W 端時：約 1.15 m ～約 16.0 m
  T 端時 ：約 90 cm ～約 8.0 m
- 撮影モードによって、ピントが合う範囲は異なります。(P124)
- [インテリジェント ISO] (P63) 設定時にフラッシュを使用すると、自動的に最高 ISO 感度まで高くなります。
- ISO感度[AUTO]設定時にフラッシュを使用すると、ISO 感度は自動的に最大[ISO1000] まで高くなります。
- W端付近で至近距離のフラッシュ撮影をすると、撮影した画像の周囲が暗くなる場合があります。少しズームしてから撮影してください。

■ インテリジェントISO設定時のフラッシュ撮影可能範囲

最高ISO感度(P63)	フラッシュ撮影可能範囲	
	W端時	T端時
ISO400	約60 cm～約4.0 m	約40 cm～約2.0 m
ISO800	約80 cm～約5.6 m	約60 cm～約2.8 m
ISO1250	約1.0 m～約7.0 m	約80 cm～約3.5 m

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡A：オート	1/30～1/2000秒
⚡A👁：赤目軽減オート	1/30～1/2000秒
⚡：強制発光 ⚡👁：赤目軽減強制発光	1/30～1/2000秒
⚡S👁：赤目軽減スローシンクロ	1/8※1～1/2000秒 1/4～または1～1/2000秒※2
⊘：発光禁止	1/8※1～1/2000秒 1/4～または1～1/2000秒※2、3

※1 スローシャッター設定（P70）により変わります。
※2 [インテリジェントISO] 設定時(P63)
※3 シーンモード(P45)の[スポーツ]/[赤ちゃん]/[ペット]

- ※2、3でシャッタースピードが最大1秒になるのは、以下の場合です。
  - ・手ブレ補正 [OFF] 設定時
  - ・手ブレ補正 [MODE1] または [MODE2] 設定時に、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき

- インテリジェントオートモード [iA] 時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。
- 以下のシーンモードでは、シャッタースピードが左下表と異なります。
  - ・[夜景]： 8～1/2000秒
  - ・[高速連写]： 1/8～1/2000秒
  - ・[星空]： 15秒、30秒、60秒
  - ・[花火]： 1/4秒、2秒

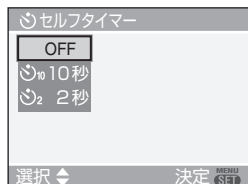
〇〇(お知らせ)〇〇

- **フラッシュが発光中に至近距離（数cm）でフラッシュ発光部を直接見ないでください。**
- **フラッシュに物を近づけると熱や光で変形、変色する場合があります。**
- **エコモードを設定しているときは、フラッシュを充電している間、液晶モニターが消灯し、動作表示ランプが点灯します。**
  [ただし、ACアダプター(別売:DMW-AC5)使用時を除く]
  バッテリーの残量が少ないと、充電に時間がかかるため、液晶モニターの消灯時間が長くなる場合があります。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。(P61)
- シャッタースピードが速い場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。
- フラッシュが発光すると、連写はできません。

セルフタイマーを使って撮る

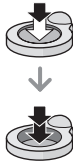
モードダイヤル設定：[撮影] [iA] [マクロ] [SCN] [メモ]

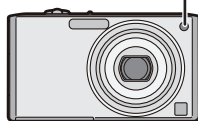
1 ◀(セルフタイマー) を押す

2 ▲/▼ でモードを選ぶ

- ◀(セルフタイマー) でも選ぶことができます。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

- **シャッターボタン半押しでも終了できます。**
- メニュー画面は約 5 秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- セルフタイマーランプが点滅し、10 秒（または 2 秒）後に撮影動作が開始されます。

セルフタイマーランプ

- セルフタイマー動作中に [MENU/SET] ボタンを押すと、セルフタイマー設定が解除されます。

◯◯お知らせ◯◯

- セルフタイマーを 2 秒に設定すると、三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
- 一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。このとき、暗い場所ではセルフタイマーランプが点滅したあと、ピント合わせのために AF 補助光（P70）として明るく点灯することがあります。
- インテリジェントオートモード［iA］時は 10 秒、メモモード［メモ］またはシーンモードの [自分撮り]（P46）時は 2 秒に固定されます。
- 連写のときにセルフタイマーを設定すると、10 秒または 2 秒後に連写を行います。連写枚数は 3 枚に固定されます。
- シーンモードの [高速連写]、[水中] では、セルフタイマーの設定はできません。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。

露出を補正して撮る

モードダイヤル設定：

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

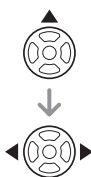
露出オーバー

露出をマイナス方向に補正してください。

適正露出

露出をプラス方向に補正してください。

露出アンダー

1 ▲( ) を押し、[露出補正] を表示させ、◀/▶ で露出を補正する

- −2 EV から +2 EV の範囲で 1/3 EV ごとに補正できます。
- 露出を補正しない場合は、“0 EV” を選んでください。

2 [MENU/SET] ボタンを押して終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

○○お知らせ○○

- EV とは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化すると EV が変化します。
- 露出補正値は、画面左下に表示されます。
- 設定した露出補正量は、電源を [OFF] にしても記憶しています。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- シーンモードの [星空] では、露出補正できません。

露出を自動的に変えながら撮る
（オートブラケット撮影）

モードダイヤル設定：

1 回シャッターボタンを押すと、露出の補正幅に従って自動的に 3 枚撮影します。露出が異なる 3 枚の画像の中からお好きな露出の画像を選ぶことができます。

オートブラケット ±1 EVの場合

±0 EV

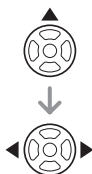
1 枚目

－1 EV

2 枚目

＋1 EV

3 枚目

1 ▲( ) を数回押し、[オートブラケット] を表示させ、◀/▶で露出の補正幅を設定する

- 0 (OFF) 、±1/3 EV、±2/3 EV、±1 EV から選択できます。
- オートブラケット撮影をしない場合は、“0” (OFF) を選んでください。

2 [MENU/SET] ボタンを押して終了する

- **シャッターボタン半押しでも終了できます。**

お知らせ

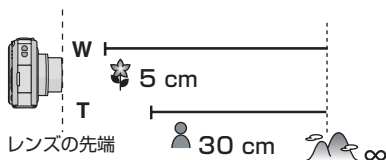
- オートブラケットを設定すると、画面に [ ] が表示されます。
- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。露出が補正されているときは、画面左下に露出補正値が表示されます。
- 電源を [OFF]（パワーセーブモードを含む）にするとオートブラケットの設定が解除されます。
- 連写とオートブラケットが同時に選ばれている場合は、オートブラケットが優先されます。
- オートブラケットを設定すると、オートレビューの設定にかかわらずオートレビューされます。（拡大はされません）セットアップメニューでオートレビューの設定はできません。
- オートブラケットを設定すると、音声付き静止画を撮影できません。
- 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
- フラッシュが発光するときや記録可能枚数が 2 枚以下のときは、1 枚しか撮影できません。
- シーンモードの [高速連写]、[星空] では、オートブラケットの設定ができません。

近づいて撮る（🌷：マクロモード）

モードダイヤルを 🌷 に合わせてください。

花などの被写体に近づいて撮りたいときに合わせてください。ズームをもっとも広角（W 端）にすると、レンズから 5 cm まで接近して撮影できます。

■ ピントの合う範囲

🌷のとき

◯◯お知らせ◯◯

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲（被写界深度）が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- マクロモード時は近距離側を優先するため、被写体が 50 cm 以上離れている場合は、通常撮影モード［📷］時よりピントが合うのに時間がかかります。
- フラッシュで撮影できる範囲は、約60 cm～約 6.3 m です。（W 端、[ISO AUTO] 設定時）近距離で撮影する場合は、フラッシュを発光禁止[⊘]にすることをおすすめします。
- 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）

☞つづく

モードダイヤルを SCN に合わせてください。

被写体や撮影状況に合わせてシーンモードを選択すると、カメラが最適な露出や色調を設定し、シーンに合った撮影ができます。

● 各シーンモードについては、以下の「iインフォメーションについて」と46～53ページをあわせてお読みください。

1 ▲/▼/◀/▶ でシーンモードを選ぶ

ここで▼を押すと
次の画面に切り換わります。

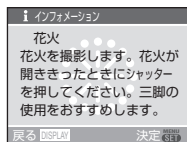
● ズームレバーを回すと、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。

2 [MENU/SET]ボタンを押して決定する

● 選択したシーンモードの撮影画面になります。

● シーンモードを変更したい場合は、[MENU/SET] ボタンを押したあとに ▶ を押して、上記手順1、2の操作を行ってください。

■ iインフォメーションについて

● 手順 1 でシーンモードを選んだときに [DISPLAY] ボタンを押すと、選択されているシーンモードの説明が表示されます。（もう一度押すとシーンモードのメニュー画面に戻ります）

◯◯お知らせ◯◯

● シャッタースピードについては40ページをお読みください。

● 設定したフラッシュ設定は電源を [OFF] にしても記憶していますが、シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定は初期設定に戻ります。

● シーンモードで用途に合わない場面を撮影すると、画像の色合いが変わる場合があります。

● [MENU/SET] ボタンを押してメニュー画面を表示させた場合、シーンメニュー［SCN］が選択されている状態になります。そのまま▼を押して、撮影メニュー［📷］またはセットアップメニュー［🔧］を選ぶとそれぞれの設定ができます。

● シーンモード時は、カメラが自動で最適に調整するため、以下の設定はできません。
・インテリジェント ISO
・ISO 感度
・カラーモード

MENU/SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P45)

人物

人物を引き立て、肌色を健康的に出します。

■ 撮影のテクニック

- ズームの位置はできるだけ T 側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

◯◯お知らせ◯◯

- 昼間の屋外での撮影に適しています。
- ISO 感度は [ISO100] に固定されます。
- AF モードの初期設定は顔認識になります。

美肌

[人物] より肌の表面を特になめらかに表現します。

■ 撮影のテクニック

- 人物の胸から上を大きく撮りたいときに効果的です。
- ズームの位置はできるだけ T 側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

◯◯お知らせ◯◯

- 昼間の屋外での撮影に適しています。
- 背景などに肌色に近い色をした個所があると、その部分も同時になめらかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。
- ISO 感度は [ISO100] に固定されます。
- AF モードの初期設定は顔認識になります。

自分撮り

自分を撮りたいときに合わせてください。

■ 撮影のテクニック

- シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと、セルフタイマーランプが点灯します。手ブレしないようにしっかりと構えて、シャッターボタンを全押ししてください。

- セルフタイマーランプが点滅しているときは、ピントが合っていませんので、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- 撮影後は自動的にレビューされます。削除など、レビュー時の操作については32 ページをお読みください。
- シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいときは、2 秒セルフタイマーの使用をおすすめします。

◯◯お知らせ◯◯

- ピントが合う範囲は約30 cm～約70 cmです。
- 音声付きで自分撮りすることができます。（P66）このとき、音声記録中にセルフタイマーランプが点灯します。
- [自分撮り] を選択すると、ズームは自動的にW 端の位置へ移動します。
- セルフタイマーは[OFF]または[2秒]のみの設定です。[2 秒] に設定すると、電源を[OFF] にするかシーンモードやモードダイヤルを切り換えるまで、セルフタイマーの[2 秒] 設定は保持されます。
- 手ブレ補正は[MODE2]に固定されます。(P68)
- AF 補助光の設定は無効になります。
- AF モードの初期設定は顔認識になります。

風景

広がりのある風景を撮影できます。

◯◯お知らせ◯◯

- ピントが合う範囲は 5 m ～∞です。
- フラッシュは発光禁止[ ]に固定されます。
- AF 補助光の設定は無効になります。
- ホワイトバランスの設定はできません。

つづく

スポーツ

スポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときに合わせてください。

○○お知らせ○○
- 5 m 以上離れた被写体の撮影に適しています。
- [スポーツ] では [インテリジェント ISO] が働き、最高 ISO 感度は［ISO800］になります。
- デジタルズーム、スローシャッターは使えません。

夜景 & 人物

人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。

■ 撮影のテクニック
- **フラッシュをお使いください。**
- シャッタースピードが遅くなるため、三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- 被写体の人に、撮影後約 1 秒間は動かないように伝えてください。
- ズームを W 端（広角）にして、被写体から約 1.5 m ほど離れたところから撮影することをおすすめします。

○○お知らせ○○
- ピントが合う範囲は 1.2 m〜5 m です。(フラッシュの撮影可能範囲については39ページをお読みください)
- 撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約 1 秒）になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
- フラッシュ使用時は、赤目軽減スローシンクロ [S] になり、強制発光します。
- ホワイトバランスの設定はできません。
- AF モードの初期設定は顔認識になります。

夜景

夜景を鮮やかに撮影できます。

■ 撮影のテクニック
- シャッタースピードは最大約8秒になるので、三脚を使用してください。また、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。

○○お知らせ○○
- ピントが合う範囲は 5 m 〜∞です。
- 撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約 8 秒）になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
- フラッシュは発光禁止 [ ] に固定されます。
- ISO 感度は [ISO100] に固定されます。
- AF 補助光の設定は無効になります。
- ホワイトバランス、スローシャッターの設定はできません。

料理

レストランなどで、周囲の光に影響されずに料理を自然な色調にします。

○○お知らせ○○
- ピントが合う範囲はマクロモードと同じになります。[5 cm（W 端時）/30 cm（T 端時）〜∞]
- ホワイトバランスの設定はできません。

MENU/SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P45)

パーティー

結婚式や室内でのパーティーなどで撮影したいときに合わせてください。人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。

■ 撮影のテクニック

- **フラッシュをお使いください。**
- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- ズームを W 端（広角）にして、被写体から約 1.5 m ほど離れたところから撮影することをおすすめします。

○○お知らせ○○

- フラッシュは、赤目軽減スローシンクロ [⚡S◎] または赤目軽減強制発光 [⚡◎] に設定できます。
- ホワイトバランスの設定はできません。
- AF モードの初期設定は顔認識になります。

キャンドル

ろうそくの光の雰囲気を生かした写真を撮影できます。

■ 撮影のテクニック

- ろうそくの光を生かして、フラッシュを使わずに使用すると効果的です。
- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。

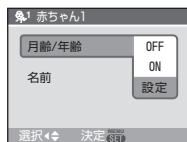
○○お知らせ○○

- ピントが合う範囲はマクロモードと同じになります。[5 cm（W 端時）/30 cm（T 端時）～∞]
- フラッシュは、赤目軽減スローシンクロ [⚡S◎] または赤目軽減強制発光 [⚡◎] に設定できます。
- ホワイトバランスの設定はできません。
- AF モードの初期設定は顔認識になります。

赤ちゃん 1
赤ちゃん 2

赤ちゃんの肌を健康的に出し、フラッシュ使用時にはフラッシュの光が通常より弱めに発光します。
赤ちゃん 1 と 2 のそれぞれに、異なる誕生日や名前を設定できます。
これらは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み]（P89）で撮影画像に焼き込むことができます。

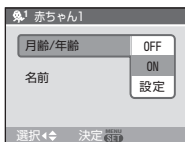
- CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」（ルミックス シンプル ビューワー）または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」（フォト ファンスタジオ ビューワー）を使って月齢/年齢をプリントすることができます。名前をプリントする場合は「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」をお使いください。[プリントについては、ソフトウェアの取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください]

■ 誕生日 / 名前を設定する

❶ ▲/▼で[月齢/年齢]または[名前]を選び、▶ を押す
❷ ▲/▼で[設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
❸ 誕生日 / 名前を入力する

誕生日：◀/▶：項目（年月日）選択
▲/▼：設定
[MENU/SET]：終了
名前：　文字入力の方法については 87 ページの [タイトル編集] をお読みください。

- 誕生日/名前を設定すると、[月齢/年齢]または[名前]は自動で[ON]になります。

つづく

■ 月齢 / 年齢や名前を表示する

❶ ▲/▼で[月齢/年齢]または[名前]を選び、▶ を押す

❷ ▲/▼で[ON]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 誕生日/名前が登録されていない場合に[ON] にすると、自動的に設定画面が表示されます。
- **誕生日や名前を設定していても [月齢 / 年齢] または [名前] を [OFF] にしていると月齢/年齢や名前は表示されません。撮影前に [月齢 / 年齢] または [名前] を [ON] にしてください。**

◯◯お知らせ◯◯

- ピントが合う範囲はマクロモードと同じになります。[5 cm（W 端時）/30 cm（T 端時）～∞]
- [赤ちゃん] では [インテリジェント ISO] が働き、最高 ISO 感度は [ISO400] になります。
- [赤ちゃん] で起動した場合に約５秒間、月齢/年齢と名前が現在日時とともに画面の左下に表示されます。
- 月齢/年齢の表示は、撮影時の言語設定によって異なります。
- 月齢/年齢が正しく表示されないときは、時計設定または誕生日設定を確認してください。
- [設定リセット] で誕生日設定と名前設定のリセットができます。
- デジタルズーム、スローシャッターは使えません。
- AF モードの初期設定は顔認識になります。

ペット

犬や猫などのペットを撮りたいときに合わせてください。
ペットの誕生日や名前を設定できます。
これらは再生時に表示させたり、[文字焼き込み]（P89）で撮影画像に焼き込むことができます。

- CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って月齢/年齢をプリントすることができます。名前をプリントする場合は「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」をお使いください。[プリントについては、ソフトウェアの取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください]

[月齢 / 年齢]、[名前] については、48 ～ 49ページの[赤ちゃん]をお読みください。

◯◯お知らせ◯◯

- AF 補助光の初期設定は [OFF] になります。（P70）
- 月齢/年齢の設定は2000年より前には設定できません。
- [ペット] では [インテリジェント ISO] が働き、最高 ISO 感度は [ISO800] になります。
- AF モードの初期設定は 1 点になります。
- その他のお知らせについては、[赤ちゃん] をお読みください。

夕焼け

夕焼けの風景を撮りたいときに合わせてください。赤色を鮮やかに撮影できます。

○○お知らせ○○

- フラッシュは発光禁止[ ]に固定されます。
- AF 補助光の設定は無効になります。
- ISO 感度は [ISO100] に固定されます。
- ホワイトバランスの設定はできません。

高感度

高感度処理を行い、自動的に [ISO1600] から [ISO6400] の間で変化します。

■ 記録画素数・アスペクト設定

▲/▼ で記録画素数・アスペクトを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 記録画素数は 3M (4:3)、2.5M (3:2)、2M（16:9）からの選択となります。

○○お知らせ○○

- [クオリティ] は自動で [ ] になります。
- 撮影した画像が少し粗くなりますが、高感度処理のためで異常ではありません。
- Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。
- ピントが合う範囲はマクロモードと同じになります。[5 cm（W 端時）/30 cm（T 端時）～∞]
- フラッシュは、オート[ ]または強制発光 [ ] に設定できます。
- EX 光学ズーム、デジタルズームは使えません。

高速連写

高速連写により、すばやい動きや決定的瞬間をねらうのに便利です。

■ 記録画素数・アスペクト設定

❶ ▲/▼ で記録画素数・アスペクトを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 記録画素数は 2M (4:3)、2.5M (3:2)、2M（16:9）からの選択となります。

❷ 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、静止画を連続して撮影します。

最高連写速度
約 7 コマ / 秒

連写枚数	
内蔵メモリー	約 15 枚
カード	約 15 枚～ 100 枚 ※最大 100 枚となります。

- 連写速度は、撮影条件によって変化します。
- 連写枚数は、撮影条件やカードの種類またはカードの状態などによって制限されます。
- フォーマット直後は連写枚数が増加する場合があります。

○○お知らせ○○

- [クオリティ] は自動で [ ] になります。

つづく

- 撮影した画像が少し粗くなりますが異常ではありません。
- Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。
- シャッタースピードは1/8～1/2000秒になります。
- ピントが合う範囲はマクロモードと同じになります。[5 cm（W端時）/30 cm（T端時）～∞]
- ピント・ズーム・露出・ホワイトバランス・シャッタースピード・ISO感度は、最初の1枚目の設定に固定されます。
- フラッシュは発光禁止 [ ] に固定されます。
- ISO感度は[ISO500]から[ISO800]の間で自動的に調整されます。ただし、シャッタースピードを高速にするため、ISO感度は高めになります。
- 以下の機能が使えません。
  - ・EX光学ズーム
  - ・デジタルズーム
  - ・オートブラケット撮影
  - ・セルフタイマー
  - ・アスペクト設定
  - ・記録画素数
  - ・音声記録
  - ・連写
  - ・スローシャッター

星空

星空や暗い被写体を鮮明に撮影できます。

■ シャッタースピード設定

シャッタースピードを15秒、30秒、60秒から選択します。

❶ ▲/▼ で秒数を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- クイック設定（P60）でも、秒数の変更ができます。

❷ 撮影する

- シャッターボタンを全押しするとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。
  カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。
- 撮影中に［MENU/SET］ボタンを押すと、撮影が中止されます。

■ 撮影のテクニック

- 15秒、30秒、60秒間シャッターが開きます。必ず三脚を使用してください。また、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。

〇〇お知らせ〇〇

- 液晶モニターの明るさは自動的に暗くなります。
- ヒストグラムは、常にオレンジ色で表示されます。
- フラッシュは発光禁止 [ ] に固定されます。
- 手ブレ補正は[OFF]に固定されます。
- ISO感度は[ISO100]に固定されます。
- 以下の機能が使えません。
  - ・露出補正
  - ・ホワイトバランス
  - ・オートブラケット撮影
  - ・連写
  - ・音声記録
  - ・スローシャッター

MENU/SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P45)

花火

夜空に打ち上げられる花火をきれいに撮影できます。

■ 撮影のテクニック

- シャッタースピードが遅くなるため、三脚の使用をおすすめします。

〇〇お知らせ〇〇

- 被写体までの距離が 10 m 以上のときに最適です。
- シャッタースピードは以下のようになります。
  - ・手ブレ補正 [OFF] 設定時：2 秒
  - ・手ブレ補正 [MODE1] または [MODE2] 設定時：
    1/4 秒または 2 秒（シャッタースピードが 2 秒になるのは、三脚使用時など、ブレの量が少ないとカメラが判断したときのみです）
  - ・露出補正をすれば、シャッタースピードを変えることができます。
- ヒストグラムは、常にオレンジ色で表示されます。
- フラッシュは発光禁止[ ]に固定されます。
- AF モードの設定はできません。
- AF エリアは表示されません。
- AF 補助光の設定は無効になります。
- ISO 感度は [ISO100] に固定されます。
- スローシャッターは使えません。
- ホワイトバランスの設定はできません。

ビーチ

海や空などの青色をより鮮やかにし、強い太陽の下でも人物を暗くせずに撮影できます。

〇〇お知らせ〇〇

- ぬれた手で触らないでください。
- 砂や海水は故障の原因になります。レンズ部や端子部に砂や海水がかからないようにしてください。
- ホワイトバランスの設定はできません。
- AF モードの初期設定は顔認識になります。

雪

スキー場や雪山などの白い雪を白く出すように撮影できます。

〇〇お知らせ〇〇

- ホワイトバランスの設定はできません。

空撮

飛行機の中から窓越しの景色を撮影するときに最適です。

■ 撮影のテクニック

- 雲などを撮影する際に、ピントが合いにくい場合は、コントラスト（濃淡）の高いところで半押ししてピントを合わせ、ピントが合った状態のまま、撮りたい被写体に向けて全押しして撮影することをおすすめします。

〇〇お知らせ〇〇

- ピントが合う範囲は 5 m 〜∞です。
- **離着陸時は電源を [OFF] にしてください。**
- **ご使用の際は、乗務員の指示に従ってください。**
- 窓への写り込みにお気をつけください。
- フラッシュは発光禁止 [ ] に固定されます。
- AF 補助光の設定は無効になります。
- ホワイトバランスの設定はできません。

MENU/SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P45)

水中

マリンケース（別売：DMW-MCFX30）（P108）をお使いください。自然な色で撮影できます。

■ ホワイトバランスを調整するには（WB 微調整）

水深や天候に応じて、色合いを調整することができます。

❶ ▲（☑）を 3 回押し、[WB± WB 微調整] を表示させる
❷ ◀/▶ でホワイトバランスを調整する

◀：赤（青みが強い場合）
▶：青（赤みが強い場合）

- ホワイトバランスを調整すると、画面に赤または青で [AWB] が表示されます。

- ホワイトバランス微調整をしない場合は、“0” を選んでください。

■ ピントを固定するには（AF ロック）

AF ロックを使うと、あらかじめピントを固定して撮影することができます。動きの速い被写体を撮影するときなどに便利です。

❶ 被写体に AF エリアを合わせる
❷ ◀ を押し、ピントを固定する
- ピントが合ったあと、AF ロックアイコンが表示されます。

AFロックアイコン

- もう一度◀を押すと、AFロックは解除されます。
- AF ロック後にズーム操作を行った場合は、AF ロックは解除されますので、再度 AF ロックをやり直してください。

○○お知らせ○○

- ピントが合う範囲はマクロモードと同じになります。[5 cm（W 端時）/30 cm（T 端時）～∞]
- セルフタイマーは使用できません。
- ホワイトバランスの設定はできません。

動画を撮る（ : 動画撮影モード）

モードダイヤルを に合わせてください。

1 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影を開始する

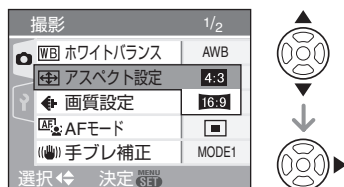
- ピントが合うと、フォーカス表示が点灯します。
- ピント・ズーム・絞り値は、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定に固定されます。
- 本機の内蔵マイクより、音声も同時に記録されます。（音声なしで動画を記録することはできません）
- 手ブレ補正使用時は [MODE1] になります。

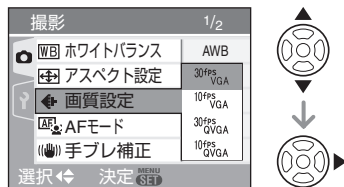
2 シャッターボタンを全押しして撮影を終了する

- 記録途中で内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

■ アスペクト設定・画質設定を変更する場合

1 [MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼ で [アスペクト設定] を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ で [画質設定] を選び、▶ を押す

5 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

手順2の画面で[4:3]を選択したとき

項目	記録画素数	コマ数
30fpsVGA	640×480 画素	30コマ/秒
10fpsVGA	640×480 画素	10コマ/秒
30fpsQVGA	320×240 画素	30コマ/秒
10fpsQVGA	320×240 画素	10コマ/秒

手順2の画面で[16:9]を選択したとき

項目	記録画素数	コマ数
30fps 16：9	848×480画素	30コマ/秒
10fps 16：9	848×480画素	10コマ/秒

- 30 コマ / 秒の場合は、動画をよりなめらかに撮影することができます。
- 10 コマ / 秒の場合は、なめらかさには欠けますが、長時間撮影することができます。
- [10fpsQVGA] は、ファイルサイズが小さいので、メールなどに添付するのに適しています。

※内蔵メモリーで記録できる動画は、アスペクト設定 [4:3] 設定時の [30fpsQVGA]、[10fpsQVGA]（320×240 画素）のみです。

6 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

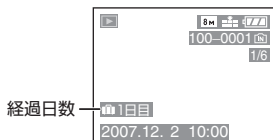
- **シャッターボタン半押しでも終了できます。**

お知らせ

- ピントが合う範囲はマクロモードと同じになります。[5 cm（W 端時）/30 cm（T 端時）～∞]
- 記録可能時間については 123 ページをお読みください。
- 液晶モニターに表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
- [画質設定] を [30fpsVGA] または [30fps16：9] に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。
- カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
- **カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。**
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 動画を連続で撮影できるのは、最大 2 GB までです。
  画面には、2 GB で記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。
- 本機で撮影された動画を他機で再生すると、画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。
- 動画撮影モード [ ] では、以下の機能が使えません。
  - ・AF モードの顔認識
  - ・縦位置検出機能
  - ・レビュー
  - ・手ブレ補正の [MODE2]

旅行の経過日数を記録する（ ：トラベル日付）

モードダイヤル設定：

旅行の出発日を設定しておくと、撮影時に旅行の経過日数（何日目か）が記録されます。記録された経過日数は、再生時に表示させたり、[文字焼き込み]（P89）で撮影画像に焼き込むことができます。

● CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って経過日数をプリントすることができます。[プリントについては、ソフトウェアの取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください]

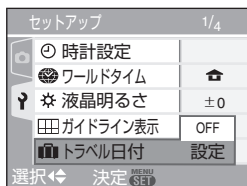
■ **出発日 / 帰着日を設定する**

（画面は通常撮影モード [ ] の例）

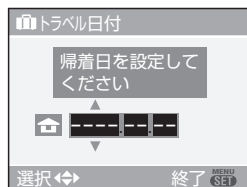
1 [MENU/SET] ボタンを押して、◀ を押す

2 ▼ でセットアップメニューアイコン [ ] を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で [トラベル日付] を選び、▶ を押す

4 ▼ で [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 ▲/▼/◀/▶ で出発日を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す

◀/▶：合わせたい項目を選ぶ
▲/▼：年月日を設定する

6 ▲/▼/◀/▶ で帰着日を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す

◀/▶：合わせたい項目を選ぶ
▲/▼：年月日を設定する

- 現在の日付が帰着日を経過した場合、トラベル日付は解除されます。
- 帰着日を設定しない場合は、バー表示の状態で [MENU/SET] ボタンを押してください。

7 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

8 撮影する

経過日数

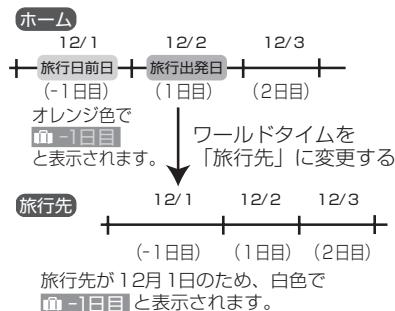
- 経過日数は、トラベル日付の設定後や設定した状態で本機の電源を入れたときなどに、約 5 秒間表示されます。
- トラベル日付を設定すると、画面右下に [ ] が表示されます。(現在の日付が帰着日を経過した場合、表示されません)

■ トラベル日付を解除するには

現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。途中で解除したい場合は、手順4の画面で[OFF]を選び、[MENU/SET] ボタンを 2 回押してください。

◯◯お知らせ◯◯

- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイム(P58)を旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。
- 設定したトラベル日付は、電源を[OFF]にしても記憶しています。
- 出発日より前は、オレンジ色で－(マイナス)付きで表示され、日付情報は記録されません。
- 海外旅行などで、出発日以降に旅行先の日付を 1 日戻した場合、白色で－(マイナス)と表示され、日付情報は記録されます。

(例) 12月 1日に出発日を
12月 2日に設定した場合

- トラベル日付を [OFF] に設定すると、出発日、帰着日を設定していても、経過日数は記録されません。撮影後にトラベル日付を [設定] にしても表示されません。
- 「時計を設定してください」とメッセージが表示されたときは、時計設定を行ってください。
- トラベル日付は、メモモード [ ] にも反映されます。

応用・撮る

旅行先の時刻を表示する（：ワールドタイム）

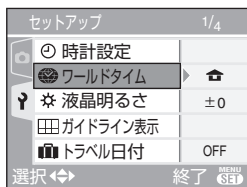
モードダイヤル設定：

お住まいの地域と海外などの旅行先を選ぶことで、旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。

- あらかじめ [時計設定]（P16）で、現在の時刻を合わせておいてください。

1 [MENU/SET] ボタンを押して、◀ を押す

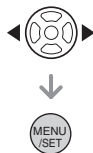
2 ▼ でセットアップメニューアイコン［］を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で [ワールドタイム] を選び、▶ を押す

- はじめてワールドタイムを設定する場合や、お買い上げ時の状態の場合、「ホームエリアを設定してください」とメッセージが表示されます。メッセージが表示された場合は、[MENU/SET] ボタンを押し、「お住まいの地域（ホーム）を設定する」の ❷ の画面から設定してください。

■ お住まいの地域(ホーム)を設定する

（左記手順 1、2、3 の操作を行ってください）

❶ ▼ で [ホーム] を選び、[MENU/SET] ボタンで決定する

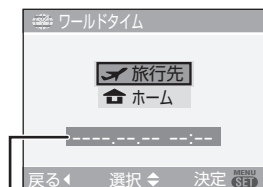
❷ ◀/▶ でお住まいの地域を選択し、[MENU/SET] ボタンで決定する

- 画面左上に、現在時刻が表示され、画面左下には GMT（グリニッジ標準時）に対する時差が表示されます。
- ホームがサマータイム [ ]（夏時間）を採用している場合は、▲ を押してください。もう一度押すと元に戻ります。
- ホームでのサマータイム設定は、現在の日時は進みませんので、時計設定を 1 時間進めてください。

ホームエリアの設定を終了するには

- はじめてホームを設定した場合は、ホームエリアを選択し、[MENU/SET] ボタンで決定すると、❶ の画面に戻りますので、続けて旅行先エリアの設定をすることができます。「旅行先エリアを設定する」の ❶ の画面へ進んでください。しばらく旅行の予定がない場合は、◀ を押して手順3の画面に戻り、[MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了してください。
- 2回目以降設定する場合、[MENU/SET] ボタンを押してホームを決定すると、手順3の画面に戻ります。メニューを終了する場合は、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了してください。

■ 旅行先エリアを設定する

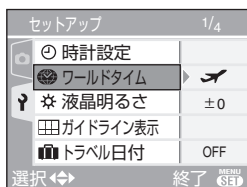
(58 ページ手順 1、2、3 の操作を行ってください)

❶ ▲ で [旅行先] を選び、[MENU/SET] ボタンで決定する

「旅行先」または「ホーム」の選ばれているほうの時間を表示します

- はじめて旅行先エリアを設定する場合、時計表示はバー表示になります。

❷ ◀/▶ で旅行先のあるエリアを選択し、[MENU/SET] ボタンで決定する

- 画面右上に、選んだ旅行先エリアの現在時刻が表示され、画面左下には、ホームに設定したエリアとの時差が表示されます。
- 旅行先がサマータイム [☼◷](夏時間)を採用している場合は、▲ を押してください。(時計が 1 時間進みます) もう一度 ▲ を押すと元に戻ります。

❸ [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

- 旅行先の設定を行うと、アイコンが [🏠] から [✈] に変わります。

◯◯(お知らせ)◯◯

- 旅行から戻ったら、58 ページ手順 1、2、3の操作と、「お住まいの地域(ホーム)を設定する」の ❶、❷ の操作をして、設定をホームに戻してください。
- 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。
- ワールドタイムは、メモモード [ ] にも反映されます。
- 旅行先で撮影された画像には、再生時、画面に [✈] が表示されます。

撮影メニューを使う

モードダイヤル設定：[通常撮影] [iA] [マクロ] [SCN] [動画]

ホワイトバランスやカラーモードなどを設定すると、撮影のバリエーションが広がります。撮影モードにより、設定できるメニューは異なります。

■ メニュー画面から設定する

[MENU/SET] ボタンを押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。（P18）

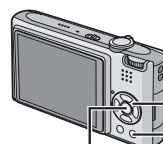
設定できる項目

（通常撮影モード [通常撮影] 時）

画面	項目
1/3 画面	WB ホワイトバランス (P61)
	iISO インテリジェント ISO (P63)
	ISO ISO 感度 (P64)
	アスペクト設定（P64）
	記録画素数（P65）
2/3 画面	クオリティ（P65）
	音声記録（P66）
	AF モード（P66）
	手ブレ補正（P68）
	連写（P69）
3/3 画面	AF補助光（P70）
	SLOW スローシャッター (P70)
	デジタルズーム（P31）
	カラーモード（P71）
	時計設定（P16）

■ クイック設定を使う

撮影時に [FUNC] ボタンを使って、以下の項目（通常撮影モード [通常撮影] 時）を簡単に設定することができます。

- 手ブレ補正
- 連写
- ホワイトバランス
- ISO 感度
- 記録画素数
- クオリティ

1 撮影状態で、クイック設定の項目が表示されるまで [FUNC] ボタンを押したままにする

2 ▲/▼/◀/▶　でメニュー項目と設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押して終了する

つづく

● [FUNC] ボタンを押して終了することもできます。

○○お知らせ○○

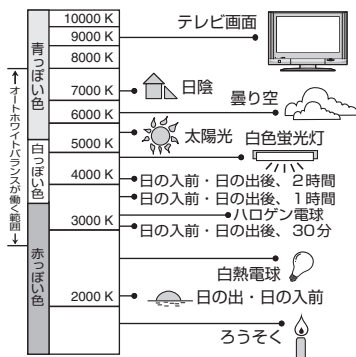
● クイック設定では、ホワイトバランスの[SET](セットモード)は表示されません。

WB ホワイトバランス
自然な色合いに調整する

モードダイヤル設定：

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、撮影状況に合った項目に設定することで見た目に近い白色に調整します。

項目	撮影状況
AWB（オートホワイトバランス）	自動で設定するとき
☼（晴天）	屋外晴天下で撮影するとき
（曇り）	屋外曇天下で撮影するとき
（日陰）	屋外晴天下の日陰で撮影するとき
（白熱灯）	白熱灯下で撮影するとき
（セットモード）	あらかじめセットしている設定を使用するとき
SET（セットモード）	新しくホワイトバランスを設定するとき

● 蛍光灯下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]または[SET]をご使用ください。

■ オートホワイトバランスについて

オートホワイトバランスが働く範囲は、上図のとおりです。範囲外での撮影では、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、図の範囲内にあっても、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを[AWB]以外に設定して調整してください。

■ 手動でホワイトバランスを設定するには

❶ [SET]（セットモード）を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

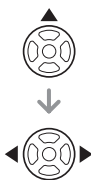
❷ 白い紙などに本機を向けて、画面の中央の枠内に白いものだけが写るようにし、[MENU/SET]ボタンを押す

❸ [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する
- シャッターボタン半押しでも終了できます。

■ ホワイトバランス微調整(WB±)について

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

- ホワイトバランスを [☼]/[☁]/[⌂]/[☼]/[▲] に設定してください。
- シーンモードの[水中]では、[AWB]に固定されますが、微調整できます。

1 ▲(☒) を数回押し、[WB± WB 微調整] を表示させ、◀/▶ でホワイトバランスを調整する

◀ : 赤（青みが強い場合）
▶ : 青（赤みが強い場合）

- ホワイトバランス微調整をしない場合は、“0” を選んでください。

2 [MENU/SET]ボタンを押して終了する
- **シャッターボタン半押しでも終了できます。**
- ホワイトバランスを微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが、赤または青に変わります。

〇〇お知らせ〇〇

ホワイトバランスについて
- フラッシュ撮影時は、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- 設定したホワイトバランスは電源を[OFF]にしても記憶していますが、シーンモードを変更すると、シーンモードのホワイトバランスは [AWB] に戻ります。
- 以下の場合、ホワイトバランスの設定はできません。
  - ・シーンモードの [風景]/[夜景 & 人物]/[夜景]/[料理]/[パーティー]/[キャンドル]/[夕焼け]/[星空]/[花火]/[ビーチ]/[雪]/[空撮]/[水中]

ホワイトバランス微調整について
- ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- 設定したホワイトバランス微調整は、電源を[OFF] にしても記憶しています。
- セットモード [▲SET] で新しくホワイトバランスを設定し直したときは、[▲]（セットモード）の微調整レベルは“0”に戻ります。
- [カラーモード]（P71）を [白黒]、[セピア]、[クール]、[ウォーム] のいずれかに設定しているとき、ホワイトバランスの微調整はできません。

つづく

iISO インテリジェントISO
最適なISO感度とシャッタースピードを自動的に設定する

モードダイヤル設定：

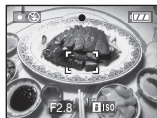
被写体の動きと明るさに応じて最適なISO 感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

以下の最高ISO感度を選択できます。ISO感度を高い数値に設定するほど、被写体ブレをおさえる効果が得られますが、ノイズは増加します。

項目	設定内容
OFF	インテリジェントISOは働きません。
ISOMAX400 400	被写体の動きと明るさに応じて、設定した数値まで自動的にISO感度を高くしていきます。
ISOMAX800 800	
ISOMAX1250 1250	

- 屋内で動きのある被写体を撮影する場合などは、ISO感度を上げてシャッタースピードを速くすることにより、被写体のブレをおさえて撮影します。

1/125 ISO800

- 動きのない被写体を撮影する場合には、ISO感度を低く設定することにより、ノイズをおさえて撮影します。

1/30 ISO200

- シャッターボタン半押し時は[iISO]が表示され、全押しするとシャッタースピードとISO感度がしばらく表示されます。

○○お知らせ○○

- フラッシュが発光すると、自動的に最高ISO感度まで高くなります。
- フラッシュで撮影できる範囲については、40ページをお読みください。
- 明るさや被写体の動きの速さによっては、被写体ブレをおさえられない場合があります。
- 以下の場合は動きを検出できないことがあります。
  - ・動いている被写体が小さいとき
  - ・動いている被写体が画面の端にあるとき
  - ・シャッターボタンを全押しした瞬間に被写体が動き出したとき
- ノイズが気になるときは、最高ISO感度を低くするか、[カラーモード]を[ナチュラル]にして撮影することをおすすめします。(P71)
- デジタルズーム、スローシャッターは使えません。

MENU/SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P60)

ISO ISO 感度 光に対する感度を設定する

モードダイヤル設定：

ISO 感度とは、光に対する敏感さを数値で表したもので、高い数値に設定するほど、暗い場所での撮影に適しています。

- [AUTO] を選ぶと、明るさに応じて ISO 感度は自動的に最大 [ISO200]（フラッシュ発光時は最大 [ISO1000]）まで高くなります。

ISO 感度	100	1600
屋外など明るい場所での撮影	適している	適していない
暗い場所での撮影	適していない	適している
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い

お知らせ

- ノイズが気になるときは、ISO 感度を低くするか、[カラーモード] を [ナチュラル] にして撮影することをおすすめします。（P71）
- シーンモードの[高感度]では、自動的に[ISO1600]から[ISO6400]の間で変化します。
- [インテリジェント ISO] 設定時は、使用できません。（[i ISO] が表示されます）

アスペクト設定 画像の横縦比を設定する

モードダイヤル設定：

アスペクト（画像の横縦比）を変えると、被写体に合わせて画角を選択できます。

項目	効果
4:3	4:3 のテレビやパソコンの画面と同じ横縦比で撮影できます。
3:2	一般のフィルムカメラと同じ 3:2 の横縦比で撮影できます。
16:9	風景など被写体のワイド感を表現したいときや、ワイドテレビ、ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適しています。

お知らせ

- 動画撮影モード[ ]時は、[3:2]の選択はできません。
- 撮影した画像は、プリント時に端が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。（P117）

MENU/SETを押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P60)

つづく

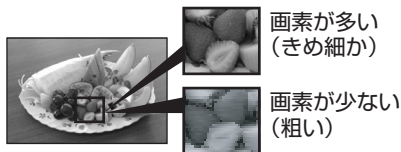
記録画素数 / クオリティ
用途に合わせて画素数、画質を設定する

モードダイヤル設定：

（iA時は記録画素数のみ設定可）

デジタル画像は画素という点が集まって作られています。本機の液晶モニターではその違いはわかりませんが、画素が多いと大きな用紙にプリントしたときやパソコンの画面で見たときでも、きめ細かな画像になります。クオリティはデジタル画像を保存するときの圧縮率です。

画素が多い（きめ細か）

画素が少ない（粗い）

※画像は効果を説明するためのイメージです。

■ 記録画素数
大きい記録画素数［8M］（8M）に設定すると、より鮮明にプリントすることができます。
小さい記録画素数［0.3M］（0.3M EZ）に設定すると、より多くの画像が記録できます。また、データ容量が小さいので、E メールの添付画像やホームページ用画像などに使用するときに便利です。

アスペクト設定が［4:3］のとき

項目	記録画素数
8M (8M)	3264×2448 画素
5M (5M EZ)	2560×1920 画素
3M (3M EZ)	2048×1536 画素
2M (2M EZ) ※	1600×1200 画素
0.3M (0.3M EZ)	640×480 画素

※ インテリジェントオートモード［iA］時は設定できません。

アスペクト設定が［3:2］のとき

項目	記録画素数
7M (7M)	3264×2176 画素
4.5M (4.5M EZ)	2560×1712 画素
2.5M (2.5M EZ)	2048×1360 画素

アスペクト設定が［16:9］のとき

項目	記録画素数
6M (6M)	3264×1840 画素
3.5M (3.5M EZ)	2560×1440 画素
2M (2M EZ)	1920×1080 画素

■ クオリティ

項目	効果
（ファイン）	画質を優先し、高画質に記録します。（低圧縮）
（スタンダード）	記録可能枚数を優先し、画質は標準で記録します。（高圧縮）

お知らせ

- アスペクト設定によって、設定できる記録画素数は異なります。アスペクト設定を変更したときは、記録画素数の設定を行ってください。
- EZ とは「Ex. optical Zoom」の略で、EX 光学ズームを表します。
- シーンモードの[高感度]または[高速連写]では、EX 光学ズームが働きませんので、記録画素数の [EZ] は表示されません。
- 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。
- 記録可能枚数については、122 ページをお読みください。
- 被写体により記録可能枚数は変動します。
- 液晶モニターに表示される記録可能枚数は、撮影された枚数分、減少しない場合があります。

MENU/SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P60)

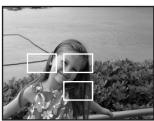
音声記録
音声付き静止画を撮る

モードダイヤル設定：

[ON] に設定すると、画像に合わせて音声を記録することができます。撮影時の会話やメモ代わりに状況の説明などを記録しておくことができます。

- [ON] に設定すると、画面に [ ] が表示されます。
- ピントを合わせてシャッターボタンを押すと、撮影開始から約 5 秒後、録音が自動的に終了します。シャッターボタンを押したままにする必要はありません。
- 音声は本機の内蔵マイクより録音されます。
- 録音中に [MENU/SET] ボタンを押すと中止されます。音声は記録されません。
- メモモードの［音声記録］（P72）とは別に設定されます。

お知らせ

- 以下の場合、音声付き静止画を撮ることはできません。
  - ・オートブラケット撮影
  - ・連写
  - ・シーンモードの [高速連写]、[星空]
- 音声付き静止画は以下の機能が使えません。
  - ・文字焼き込み
  - ・リサイズ
  - ・トリミング
  - ・アスペクト変換

AF モード
ピントを合わせる方法を設定する

モードダイヤル設定：

撮影状況や撮りたい構図に合わせて使い分けてください。

項目	効果
（顔認識）	人の顔を自動的に検知します。認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。
（5 点）	5 点いずれかでピントを合わせます。被写体が中央にない場合に有効です。
H（3 点高速）	左、中央、右の 3 点いずれかに高速でピントを合わせます。被写体が中央にない場合に有効です。
H（1 点高速）	画面中央のAFエリア内に高速でピントを合わせます。

つづく

項目	効果
(1 点)	画面中央のAFエリア内にピントを合わせます。
(スポット)	限られた狭い範囲内にピントを合わせることができます。

■ 顔認識について

撮影画面上にある顔の認識を行い、顔にピントを合わせます。記念撮影などの際、背景にピントが合ってしまうような失敗を防ぐのに有効です。

- カメラが顔を認識すると以下の AF エリア枠が表示されます。
  黄色： シャッターボタンを半押しした際、ピントが合うと緑色に変わります。
  白色： 複数の顔を認識すると表示されます。黄色の AF エリア枠内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。
- 最大で15個のAFエリア枠が表示されます。
- 以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が働かず、顔が検知できないことがあります。その際、AF モードは 5 点に切り換わります。
  - ・顔が正面を向いていないとき
  - ・顔が傾いているとき
  - ・顔が極端に明るいときや暗いとき
  - ・顔の陰影が少ないとき
  - ・サングラスなどで顔が隠れているとき
  - ・画面上の顔が小さく写るとき
  - ・動きが速いとき
  - ・被写体が人物以外のとき
  - ・手ブレしているとき
  - ・デジタルズーム使用時

■ 3 点高速、1 点高速について

- 他の AF モードより速くピントを合わせることができます。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合う前の状態で画像が一瞬静止することがありますが、故障ではありません。

◯◯お知らせ◯◯

- 暗い場所での撮影時またはデジタルズーム時は、通常よりも大きな AF エリアが表示されます。

  シーンモードの [水中] 時にも、大きな AF エリアが表示される場合があります。
- AF エリアが複数（最大 5 個）点灯した場合は、点灯したすべての AF エリアにピントが合っています。カメラが自動的に判断した位置にピントが合うので、ピントが合う位置は決まっていません。ピントを合わせる位置を決めて撮影したいときは、設定を 1 点高速、1 点またはスポットに切り換えてください。
- AF モードを 5 点または 3 点高速に設定している場合は、ピントが合うまで AF エリアは表示されません。
- スポットでピントが合いにくいときは、1 点高速または 1 点に切り換えてください。
- シーンモードの[花火]ではAFモードの設定はできません。
- シーンモードの [夜景]、[料理]、[星空]、[空撮]、[水中]、動画撮影モード [ ] では顔認識に設定できません。
- 人物以外の被写体をカメラが誤って顔と認識する場合があります。その際は、AF モードを顔認識以外に設定して撮影してください。

応用・撮る

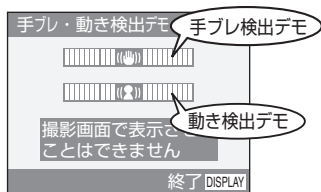
MENU/SETを押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P60)

手ブレ補正　手ブレを感知して補正する

モードダイヤル設定：

項目	効果
MODE1 ( )	撮影モード時、常に手ブレを補正します。望遠などで構図を決めて撮影するときに安定して撮ることができます。
MODE2 ( )	シャッターボタンを押すと手ブレを補正します。より高い補正効果が得られます。
OFF ( )	意図的にブレのある画像を撮影したいときなどに設定します。

■ 手ブレ・動き検出デモ画面について

手ブレ補正モード選択画面で[DISPLAY] ボタンを押すと、手ブレ・動き検出デモ画面が表示されます。（表示中は撮影できません）
終了する場合は、[DISPLAY] ボタンを押してください。

- クイック設定 (P60) でも表示できます。
- 手ブレの状態と被写体の動きをカメラが自動的に感知して、その状態をインジケーターで表示します。
- 動き検出デモは、明るくコントラスト（濃淡）の高い被写体で使用することをおすすめします。
- 手ブレ・動き検出デモ画面は目安です。
- 動き検出を使用した ISO 感度の自動設定は、以下の場合に働きます。
  - ・インテリジェントオートモード [ ]
  - ・シーンモードの［スポーツ］、［赤ちゃん］、［ペット］
  - ・［インテリジェント ISO］を設定しているとき

○○お知らせ○○

- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  - ・手ブレが大きいとき
  - ・ズーム倍率が高いとき
  - ・デジタルズーム領域
  - ・動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  - ・室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき

  シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
- シーンモードの [自分撮り] では [MODE2]、シーンモードの［星空］では［OFF］に固定されます。
- インテリジェントオートモード [ ] 時は、[OFF] に設定できません。
- 動画撮影モード [ ] 時は、[MODE2] に設定できません。

つづく

連写　連続して撮る

モードダイヤル設定：

■ 連写枚数

		（通常）	（フリー）
連写速度		3 コマ / 秒※	約 2 コマ / 秒
連写枚数	ファイン	最大 4 コマ	内蔵メモリー/カードの空き容量による
	スタンダード	最大 7 コマ	

※カードの転送速度に関係なく、連写速度は一定です。

- 上記の連写速度は、シャッタースピードが 1/60 より速く、フラッシュを発光させないときの値です。
- 暗いところや ISO 感度が高い場合など、撮影環境によっては、連写速度（コマ / 秒）が遅くなる場合があります。
- 内蔵メモリーで連写を行った場合は、書き込みに時間がかかります。
- シャッターボタンを押している間、連続撮影されます。
- シーンモードの [高速連写] を使うと、より速く連写を行うことができます。
  [高速連写] については、50 ページをお読みください。

お知らせ

- **フリー連写について**
  - ・**途中から連写速度が遅くなります。**遅くなるタイミングは、カードの種類、記録画素数、クオリティによって変化します。
  - ・内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。
- ピントは 1 枚目で固定されます。
- 露出、ホワイトバランスは、連写設定によって変わります。通常 [ ] 設定時は、最初の 1 枚に対する設定に固定されます。
  フリー [ ] 設定時は、1 枚ごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
- 屋内外など明暗差の大きい場所（風景）で動きのある被写体を追いながら撮影した場合、露出が安定するまでに時間がかかる場合があります。このときに連写を行うと、最適な露出にならないことがあります。
- セルフタイマー使用時の連写枚数は、3 枚に固定されます。
- 連写設定は、電源を [OFF] にしても記憶しています。
- 連写とオートブラケットが同時に選ばれている場合は、オートブラケットが優先されます。
- 連写を設定すると、オートレビューの設定にかかわらずオートレビューされます。（拡大はされません）セットアップメニューでオートレビューの設定はできません。
- 連写設定していると、音声付き静止画を撮影できません。
- フラッシュが発光するときは、1 枚しか撮影できません。
- シーンモードの [高速連写]、[星空] では連写設定できません。

MENU/SETを押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P60)

AF補助光 AF 補助光
暗い場所でピントを合わせやすくする

モードダイヤル設定：

撮影場所が暗くピントが合いにくいときに、光を当ててピントを合わせやすくすることができます。

- [ON] に設定すると、暗い場所などでシャッターボタンを半押ししたときに、通常よりも大きな AF エリアが表示され、AF 補助光ランプが光ります。このとき、画面に [AF補助光] が表示されます。補助光の有効距離は 1.5 m です。
- [OFF]に設定すると、AF補助光ランプは光りません。

〇〇お知らせ〇〇

- AF 補助光使用時は、以下の点にお気をつけください。
  - ・近くで発光部を見ない
  - ・AF 補助光ランプを指などでふさがない
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所で AF 補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF] に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
- インテリジェントオートモード [iA] では、[ON] に固定されます。
- シーンモード（P45）の [自分撮り]、[風景]、[夜景]、[夕焼け]、[花火]、[空撮] では [OFF] に固定されます。
- シーンモードの [ペット] では初期設定が [OFF] になります。

SLOW スローシャッター
暗い場所でより明るく撮る

モードダイヤル設定：

光量が足りない暗い場所での撮影時に、一番遅いシャッタースピードをさらに遅く設定することで、通常よりも明るく撮影することができます。

- 1/8 秒、1/4 秒、1/2 秒、1 秒から選択できます。
- シーンモードの[夜景&人物]で夜景と人物を両方明るく撮影したいときなどに効果があります。

スローシャッター設定	1/8 － ⇔	1 －
明るさ	暗くなる	明るくなる
手ブレ	少ない	多い

〇〇お知らせ〇〇

- 通常は、[1/8 －] に設定して、お使いください。（[1/8 －] 以外を選択した場合、画面に [SLOW] が表示されます）
- [スローシャッター] でシャッタースピードを遅くするときは、手ブレが起きやすいため三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- 以下の場合、スローシャッターの設定はできません。
  - ・シーンモードの [スポーツ]/[夜景]/[赤ちゃん]/[ペット]/[高速連写]/[星空]/[花火]
  - ・[インテリジェントISO]を設定しているとき

MENU/SETを押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P60)

カラーモード
撮影する画像の色彩効果、画質を設定する

モードダイヤル設定：

撮影状況、撮影イメージに合わせて使い分けてください。

項目	効果
標準	標準的な設定です。
ナチュラル	より柔らかいイメージの画像になります。
ヴィヴィッド	よりくっきりとしたイメージの画像になります。
白黒	白黒画像になります。
セピア	セピア色の画像になります。
クール	青っぽい画像になります。
ウォーム	赤っぽい画像になります。

お知らせ

- 暗い場面で撮影するとき、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、[カラーモード]を[ナチュラル]にすることをおすすめします。
- インテリジェントオートモード［iA］時は［クール］または［ウォーム］の設定はできません。また、動画撮影モード［動画］時は［ナチュラル］または［ヴィヴィッド］の設定はできません。
- インテリジェントオートモード[iA]と動画撮影モード［動画］は他の撮影モードとは別に設定されます。

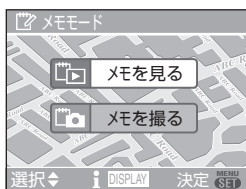
応用・撮る

メモを撮る / 見る（: メモモード）

モードダイヤルを に合わせてください。

時刻表や路線図など、メモがわりに撮るときに便利です。カードの有無にかかわらず、**常に内蔵メモリーのメモ専用フォルダーに保存されます**ので、普通の撮影画像と区別でき、すぐに見ることができます。

■ メモ画像を撮る(メモ撮影)

1 ▼で［メモを撮る］を選び、[MENU/SET] を押す

（メモモード初期画面）

2 撮影する

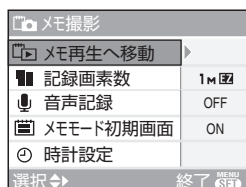
- 撮影したメモ画像をすぐに確認するときは、▼（ ▼）を押してください。シャッターボタンを半押しすると、撮影状態に戻ります。
- 内蔵メモリーを［メモ画像］撮影だけに使用した場合の撮影可能枚数

記録画素数	2M EZ	1M EZ
記録可能枚数	52 枚	77 枚

・他の撮影モードで内蔵メモリーに記録している画像がある場合、上記の記録可能枚数よりも減少します。

メモ撮影メニュー

メモ撮影時に [MENU/SET] ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

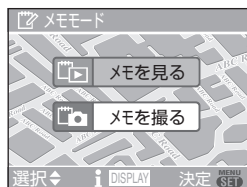
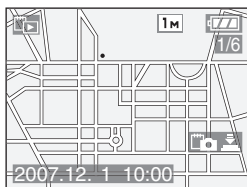
1 ▲/▼でメニュー項目を選び、▶を押す

項目	設定内容
メモ再生へ移動	メモ画像再生に切り換えます。
記録画素数	記録画素数を変更します。 2M EZ：枚数よりもきめ細かさを優先します。 1M EZ
音声記録	音声（5 秒間）を撮影と同時に記録します。 ※ 撮影メニューの［音声記録］（P66）とは別に設定されます。
メモモード初期画面	初期画面の表示/非表示を設定します。
時計設定	時計を設定します。

2 ▲/▼で設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 [MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する

つづく

■ **メモ画像を見る(メモ再生)**

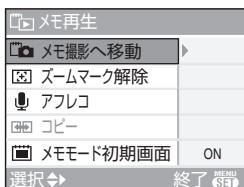
1 ▲ で［メモを見る］を選び、[MENU/SET] を押す

2 ◀/▶ で画像を送る

◀：前の画像へ　　▶：次の画像へ

- ズームレバーを［▦］（W）側に回すと、9 画面表示になります。1 画面表示に戻すには、［🔍］（T）側に回してください。
- 見ている途中でメモ撮影に切り換えるときはシャッターボタンを半押し（▣）してください。

〇〇お知らせ〇〇

- 再生メニュー（P81）の機能は使えません。
- 他の撮影モードで撮った画像を[画像回転]（P85）し、メモ画像として［コピー］（P98）した場合は、回転する前の状態で表示されます。
- メモ再生時の[ビデオ出力]およびプリントはできません。（カードにコピーしたメモ画像はプリントできます）

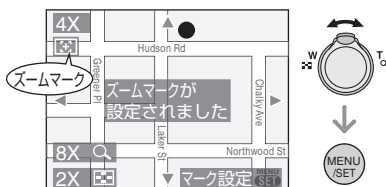
メモ再生メニュー

メモ再生時に [MENU/SET] ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。（操作方法は 72 ページの「メモ撮影メニュー」と同じです）

項目	設定内容
メモ撮影へ移動	メモ画像撮影に切り換えます。
ズームマーク解除	ズーム位置を解除します。 ❶ ◀/▶ でズームマーク（▣）のついた画像を選ぶ ❷ ▼ で解除する
アフレコ	メモ画像に後から音声を追加します。 ❶ ◀/▶ で画像を選ぶ ❷ ▼ で録音を開始 / 停止する
コピー	メモ画像をカードへ 1 枚ずつコピーします。 ※ ズームマークはコピーされません。 ❶ ◀/▶ で画像を選び、▼を押す ❷ ▲/▼ で［はい］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
メモモード初期画面	初期画面の表示 / 非表示を設定します。

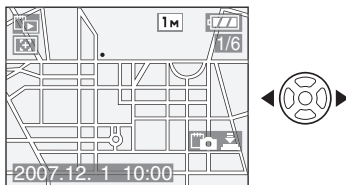
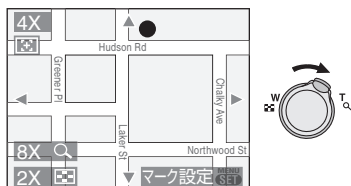
応用撮影・

■ メモ画像を拡大し記憶させる（ズームマーク）

地図などの一部を拡大して記憶させておくと便利です。拡大の方法については、77 ページの「再生ズーム」をお読みください。

ズームレバーを回し、拡大する大きさと位置を決めて [MENU/SET] ボタンを押す

- 記憶させた画像には、ズームマーク（[ ]）が表示されます。
- ズーム倍率や位置を変更したい場合は、上記操作を繰り返してください。
- ズームマークの設定を終了するときは、ズーム倍率を [ ]（W）側（1 倍）に戻してください。

記憶させた画像を見るには

1 ◀/▶ で [ ] の付いた画像を表示させる

2 ズームレバーを [ ]（T）側に回す

- 記憶させた大きさ、位置で表示されます。

■ メモ画像を削除する

通常の削除の方法と同じです。33 ページをお読みください。

- ズームマーク付き画像を削除すると、ズーム前の画像も見ることができなくなります。
- ズームした状態でも削除することができます。

○○お知らせ○○

- **著作権などにお気をつけください。（P9）**
- メモモード[ ]では､以下の機能が使えません。
  - ･連写
  - ･デジタルズーム
  - ･オートブラケット
  - ･ホワイトバランス微調整
  - ･カラーモード
- メモモード [ ] では､以下の機能が固定されます。
  - ･アスペクト設定：4:3
  - ･クオリティ：[ ]
  - ･ISO 感度：AUTO
  - ･ホワイトバランス：AWB
  - ･セルフタイマー：OFF/2 秒
  - ･パワーセーブ：5 分
  - ･AF モード：1 点
  - ･エコモード：OFF
  - ･ガイドライン表示：[ ]
  - ･AF 補助光：ON
- セットアップメニュー (P20) での [時計設定]､[オートレビュー]､[ワールドタイム]､[トラベル日付]､[操作音]､[シャッター音]､[スピーカー音量] はメモモード [ ] にも反映されます。
- 撮影メニューでの[手ブレ補正](P68)はメモモード [ ] にも反映されます。

複数の画像を一覧表示する（マルチ再生）

モードダイヤルを [▶] に合わせてください。

1 ズームレバーを［▦］（W）側に回して画像を複数にする

（9 画面表示時の画面）

1 画面 ⇨ 9 画面 ⇨ 25 画面 ⇨ カレンダー画面表示（P76）

- ズームレバーを［🔍］（T）側に回すと、1 つ前の画面表示に戻ります。

2 ▲/▼/◀/▶ で画像を選ぶ

- 撮影画像や設定によって、以下のアイコンが表示されます。
  - ・お気に入り［★］（P86）
  - ・動画［🎞］
  - ・シーンモードの［赤ちゃん］［👶］、［ペット］［🐕］
  - ・トラベル日付［🧳］
  - ・旅行先［✈］
  - ・タイトル編集済み［✍］（P87）
  - ・文字焼き込み済み［☑］（P89）

■ 25 画面表示の例

■ 1 画面表示に戻すには

［🔍］（T）の方に回すか、[MENU/SET] ボタンを押す

- 選択されていた画像が表示されます。

■ マルチ再生中に画像を削除する

❶ ▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[🗑] ボタンを押す

❷ ▲ で［はい］を選ぶ

❸ [MENU/SET] ボタンを押す

◯◯お知らせ◯◯

- マルチ再生時は[DISPLAY]ボタンを押しても、液晶モニターの撮影情報などを表示なしにすることはできません。
- [回転表示]を[ON]にしていても回転表示されません。（P85）

応用・撮る

応用・見る

画像を撮影日ごとに表示する（CAL：カレンダー再生）

モードダイヤルを ▶ に合わせてください。

カレンダー再生機能を使うと、撮影した日付ごとに画像を表示させることができます。

1 ズームレバーを [■] (W) 側に数回回して、カレンダー画面表示にする

- はじめに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。

2 ▲/▼/◀/▶ で再生する日付を選ぶ

▲/▼：月を選択

◀/▶：日を選択

- 撮影した画像が 1 枚もない月は表示されません。

3 [MENU/SET] ボタンを押して、選択した日付に撮影された画像を表示する

- カレンダー画面表示に戻すには、ズームレバーを [■] (W) 側に回してください。

4 ▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 選択されていた画像が表示されます。

■ カレンダー再生を終了するには

カレンダー画面表示にしたあと、ズームレバーを [🔍] (T) 側に回すと 25 画面表示、 9 画面表示、 1 画面表示になります。

○○(お知らせ)○○

- [回転表示]を[ON]に設定していても回転表示されません。(P85)
- カレンダーの表示できる範囲は、2000 年 1 月から 2099 年 12 月までです。
- マルチ再生の 25 画面表示で、2000 年 1 月から 2099 年 12 月以外に撮影された画像を選んでいる場合、カレンダー画面表示にすると、選んでいる画像はもっとも古い撮影日に表示されます。
- パソコンや他機で加工した画像などは、実際の撮影日とは異なった表示になる場合があります。
- [時計設定]を行わずに撮影した場合、2007 年 1 月 1 日に表示されます。
- [ワールドタイム] で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

再生画面を拡大する（再生ズーム）

モードダイヤルを [▶] に合わせてください。

1 ズームレバーを [Q] (T) 側に回して画像を拡大する

1倍 ⇨ 2倍 ⇨ 4倍 ⇨ 8倍 ⇨ 16倍

- 拡大したあと、ズームレバーを [▦] (W) 側に回すと、倍率が小さくなります。[Q] (T) 側に回すと大きくなります。
- 倍率を変えると、約 1 秒間ズーム位置表示が表示され、拡大部分の位置を確認することができます。

2 ▲/▼/◀/▶ で位置を移動させる

- 表示する位置を移動させると、約 1 秒間ズーム位置表示が表示されます。

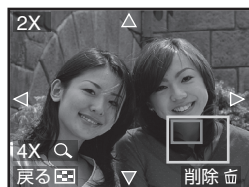
■ 再生ズームをやめるには

[▦] (W) の方に回すか、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 再生ズーム中に画像を削除する

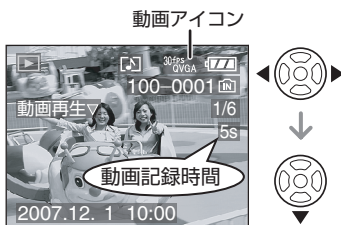
❶ [🗑] ボタンを押す
❷ ▲ で［はい］を選ぶ
❸ [MENU/SET] ボタンを押す

○○お知らせ○○

- 再生ズーム中も［DISPLAY］ボタンを押して、画面に表示される情報の表示ありと表示なしを切り換えることができます。
- 再生ズームは、拡大するほど画質が粗くなります。
- 撮影した画像を拡大して保存したい場合は、トリミングを行ってください。(P96)
- 他機で撮影した画像は再生ズームできない場合があります。

動画 / 音声付き静止画を見る

モードダイヤルを [▶] に合わせてください。

■ 動画

◀/▶ で動画アイコン [30fps VGA]/[10fps VGA]/[30fps QVGA]/[10fps QVGA]/[30fps 16:9]/[10fps 16:9] が付いた画像を選び、▼ を押して再生する

- 再生を開始すると、画面右下に再生経過時間が表示されます。
  例）1 時間 20 分 30 秒のとき：
  1h20m30s

- 再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。

動画再生を終了する

▼ を押す

早送り / 早戻しをする

動画再生中に ◀/▶ を押したままにする

◀：早戻し　▶：早送り

- ◀/▶ を離すと、通常の動画再生に戻ります。

一時停止する

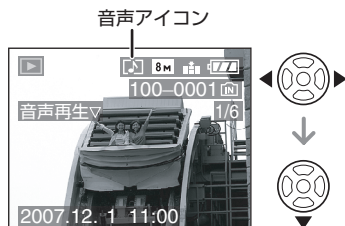
動画再生中に ▲ を押す

- もう一度 ▲ を押すと、一時停止が解除されます。

コマ送り / コマ戻しをする

一時停止中に ◀/▶ を押す

■ 音声付き静止画

◀/▶ で音声アイコン [♪] が付いた静止画を選び、▼ を押して再生する

- 音声付き静止画の作成方法は、音声記録（P66）、アフレコ（P94）をお読みください。

◯◯(お知らせ)◯◯

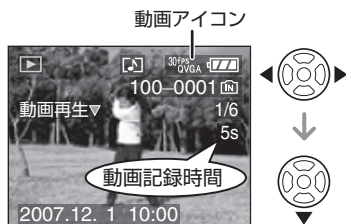
- スピーカーから音声が聞こえます。音量調整については、セットアップメニューの [スピーカー音量]（P22）をお読みください。
- 本機で再生できるファイル形式はQuickTime Motion JPEG です。
- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合はCD-ROM（付属）のソフトウェア「QuickTime」をご使用ください。（P101）
- パソコンや他機で記録されたQuickTime Motion JPEG ファイルは本機で再生できない場合があります。
- 他機で撮影された動画を再生すると、画質が粗くなったり、再生できない場合があります。
- 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。
- 動画、音声付き静止画は以下の機能が使えません。
  - ・再生ズーム
    （動画再生 / 一時停止中、音声再生中）
  - ・タイトル編集/回転表示/画像回転/アフレコ（動画のみ）
  - ・文字焼き込み / リサイズ / トリミング / アスペクト変換

動画から静止画を作成する

つづく

モードダイヤルを [▶] に合わせてください。

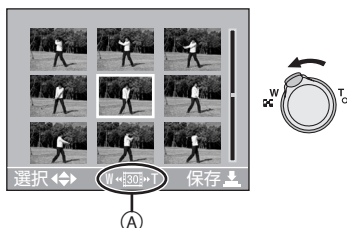
撮影した動画から、1 枚の静止画（1 画面または 9 画面）を作成できます。スポーツのフォームチェックなど、動きのあるシーンに効果的です。

1 ◀/▶ で動画アイコン [30fps VGA]/[10fps VGA]/[30fps QVGA]/[10fps QVGA]/[30fps 16:9]/[10fps 16:9] が付いた画像を選び、▼を押して再生する

2 動画再生中に ▲ を押して、一時停止にする

- もう一度▲を押すと動画再生に戻ります。
- 一時停止中に ◀/▶ を押すとコマ送りすることができます。
- シャッターボタンを押すと、表示されている画像を 1 枚の静止画として保存することができます。（手順 **3** の操作を行ってください）

■ 動画を 9 画面の 1 枚の静止画として保存するには

- ズームレバーを [▦] (W) 側に回して 9 画面表示にする

- ズームレバーをさらに [▦] (W) 側に回すと [15]/[10]/[5] に切り換わります（Ⓐ）。

[30fps VGA]/[30fps QVGA]/[30fps 16:9] の動画選択時

撮影された動画は 1 秒あたり、30 コマの静止画から構成されています。

[30]: 記録された動画をコマ落としなしに全コマ静止画表示（1/30 秒間隔）
[15]: 1 コマ飛ばしで静止画表示（1/15 秒間隔）
[10]: 2 コマ飛ばしで静止画表示（1/10 秒間隔）
[5]: 5 コマ飛ばしで静止画表示（1/5 秒間隔）

[10fps VGA]/[10fps QVGA]/[10fps 16:9] の動画選択時

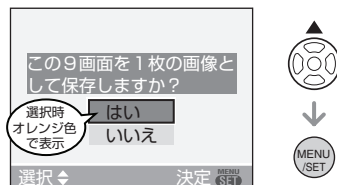
撮影された動画は 1 秒あたり、10 コマの静止画から構成されています。

[10]: 記録された動画をコマ落としなしに全コマ静止画表示（1/10 秒間隔）
[5]: 1 コマ飛ばしで静止画表示（1/5 秒間隔）

● ▲/▼/◀/▶ で静止画をコマ送りすることができます。
▲/▼：3 画像ずつ送る
◀/▶：1 画像ずつ送る

3 シャッターボタンを押す

● 「この9画面を1枚の画像として保存しますか？」とメッセージが表示されます。
また、2 の操作から画像を保存する場合は、「1 枚の画像として保存しますか？」とメッセージが表示されます。

4 ▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

● 9画面を1枚の画像として保存します。

■ 9 画面表示を終了するには

9 画面表示にしたあと、[Q]（T）の方に数回回すか、[MENU/SET] ボタンを押すと、動画再生の一時停止画面に戻ります。

■ 記録画素数

記録画素数は以下のとおりです。

項目	1 画面	9 画面
30fpsVGA	0.3 M	2 M
10fpsVGA	0.3 M	2 M
30fpsQVGA	0.3 M	1 M
10fpsQVGA	0.3 M	1 M
30fps16：9	2 M	2 M
10fps16：9	2 M	2 M

● [クオリティ] は［ ］になります。

◯◯お知らせ◯◯

● 他機で撮影された動画は静止画で保存することができない場合があります。

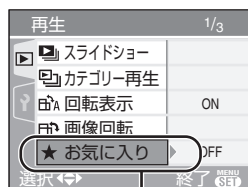
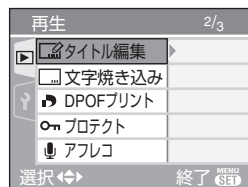
再生メニューを使う

つづく

モードダイヤルを ▶ に合わせてください。

撮影した画像の回転表示やプロテクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。

1 [MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼ でメニュー項目を選び、▶を押す

ここで▼を押すと
次の画面に切り換わります。

- ズームレバーを回すと、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。
- **手順 1 、2 の操作を行ったあとは、各メニュー項目の説明ページを読んで設定を行ってください。**

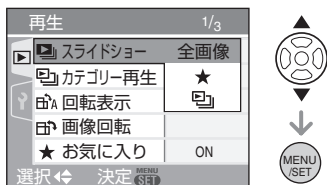
設定できる項目

画面	項目
1/3 画面	スライドショー（P82）
	カテゴリー再生（P83）
	回転表示（P85）
	画像回転（P85）
	★ お気に入り（P86）
2/3 画面	タイトル編集（P87）
	文字焼き込み（P89）
	DPOF プリント（P91）
	プロテクト（P93）
	アフレコ（P94）
3/3 画面	リサイズ（P95）
	トリミング（P96）
	アスペクト変換（P97）
	コピー（P98）
	フォーマット（P99）

- [文字焼き込み]、[リサイズ]、[トリミング] または [アスペクト変換] 時は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量がない場合には、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをおすすめします。

スライドショー
画像を一定間隔で順番に再生する

テレビに接続して画像を見るときにおすすめの再生方法です。お気に入り設定（P86）しておけば不要な画像を飛ばして見ることができます。また、登録したカテゴリースライドショーを再生することができます。（P85）

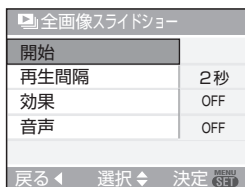
1 ▲/▼ で［全画像］、［★］または［□］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

全画像：すべての画像を表示します。

★：お気に入り設定した画像（P86）のみ表示します。

□：カテゴリー再生（P83）でスライドショー登録した画像を表示します。

- [お気に入り]を[ON]にしているときのみ［★］が表示されます。[お気に入り］を［ON］に設定していても、[★]の付いた画像が 1 枚もない場合は、[★] を選択できません。
- カテゴリースライドショーが登録されていない場合は［□］を選択できません。

2 ▲ で [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

（[全画像] 選択時の画面）

- スライドショー中、スライドショー一時停止中、または [MANUAL] スライドショー中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。

スライドショー中

スライドショー一時停止中

[MANUAL] スライドショー中

- スライドショー中に ▲ を押すと、一時停止します。もう一度 ▲ を押すと、一時停止が解除されます。
- 一時停止中に◀/▶を押すと、前後の画像を表示できます。

3 ▼ を押してスライドショーを終了する

■ 再生間隔と効果、音声の設定について

手順2の画面で [再生間隔]、または [効果]、[音声] を選んで設定してください。

[再生間隔]

1、2、3、5 秒、MANUAL（手動再生）の中から設定できます。

- [MANUAL] は、手順 1 で [★] または [□] を選んだときのみ選択できます。
- [MANUAL] を選んだ場合は、◀/▶ を押して前後の画像を表示してください。

つづく

[効果]

スライドショー時の効果を選択できます。

項目	効果
OFF	効果を設定しません。
◧	スライドしながら切り換わります。
▩	画像をフェードアウトし、次の画像をフェードインしながら切り換わります。
▣	中央から四方に広がりながら切り換わります。
MIX	ランダムな効果が得られます。

- MANUAL(マニュアル)(手動再生)を設定すると、設定した効果が無効になります。

[音声]

[ON] に設定すると、音声付き静止画の音声が再生されます。

○○お知らせ○○

- [音声]を[ON]にして音声付き静止画を再生するときは、音声再生終了後、次の画像が表示されます。
- 以下の機能は使えません。
  - ・パワーセーブ(ただし、スライドショー一時停止中または [MANUAL] スライドショー中は、10 分固定でパワーセーブが働きます)
  - ・動画再生

カテゴリー再生
撮影情報で検索する

シーンモードなどの撮影情報(人物・風景・夜景など)を検索し、各カテゴリーごとに画像を分類します。各カテゴリーごとに再生したりスライドショーを行うことができます。

▶を押して、カテゴリーの検索をする

- 画像が見つかったカテゴリーのアイコンが青になります。
- カードまたは内蔵メモリー内に画像ファイルが多い場合は、検索に時間がかかることがあります。
- 検索中に [🗑] ボタンを押すと、途中で検索が中止されます。
- 分類されるカテゴリーは以下のとおりです。

カテゴリー	シーンモードなどの撮影情報
(人物など)	人物、i 人物、美肌、自分撮り、夜景 & 人物、i 夜景 & 人物、赤ちゃん
(風景など)	風景、i 風景、夕焼け、空撮
(夜景など)	夜景 & 人物、i 夜景 & 人物、夜景、i 夜景、星空
(イベント)	スポーツ、パーティー、キャンドル、花火、ビーチ、雪、空撮
	赤ちゃん
	ペット
	料理
	水中
	トラベル日付※
	動画

※メモ専用フォルダーにある画像のトラベル日付は分類されません。

応用・見る

1 ▲/▼/◀/▶ で再生したいカテゴリーを選択し、[MENU/SET] ボタンで決定する

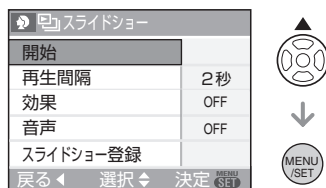
2 ◀/▶ で画像を選ぶ

- ズームレバーを [ ] (W) 側に回すと、9 画面で表示され、[ ] (T) 側にまわすと、16 倍まで画像を拡大することができます。
- [お気に入り] を [ON] に設定している場合は ▲ を押して、お気に入り登録をすることができます。
- カテゴリー再生中は、[ ] ボタンを押しても、画像の削除はできません。

3 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

■ スライドショーをする

1 ▲/▼/◀/▶ で再生したいカテゴリーを選択し、[DISPLAY] ボタンを押す

2 ▲で [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- スライドショー中に ▲ を押すと、一時停止します。もう一度 ▲ を押すと、一時停止が解除されます。
- 一時停止中に◀/▶を押すと、前後の画像を表示できます。
- [再生間隔]、[効果]または[音声]の設定については、82 ページをお読みください。

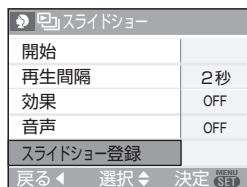
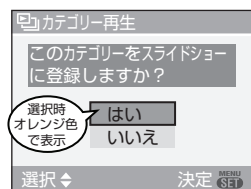
3 ▼ を押してスライドショーを終了する

4 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

つづく

■ スライドショー登録をするには

カテゴリースライドショーを登録すると、82ページの[スライドショー]より[ ]を選択して再生することができます。

1 ▼で[スライドショー登録]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

2 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- [スライドショー登録]はカード1枚につき1つしかできません。すでに登録されている場合は、「すでに登録されたカテゴリーがあります。上書きしますか？」とメッセージが表示されます。
- 画像が1000枚以上の場合は、999枚までのスライドショーを作成します。

3 ◀を押してカテゴリーの分類画面に戻る

- メニューを終了する場合は、さらに[ ]ボタンを押し、[MENU/SET]ボタンを押してください。

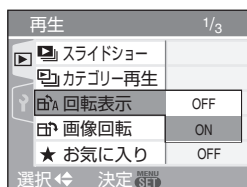
お知らせ

- スライドショーでは動画再生できません。
- 動画から作成された静止画（P79）は、カテゴリー再生の動画から再生することはできません。

回転表示 / 画像回転
画像を回転して表示する

本機を縦に構えて撮影した画像を自動で縦向きに表示させたり、画像を手動で 90° ごとに回転させることができます。

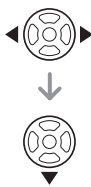
■ 回転表示
（画像を自動で回転して表示する）

1 ▼で[ON]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- [OFF]に設定すると、画像は回転されずに表示されます。
- 画像を再生する方法については 33 ページをお読みください。

2 [MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する

MENU/SETを押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P81)

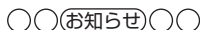
■ 画像回転
(画像を手動で回転させる)

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

● [回転表示] を [OFF] に設定すると、[画像回転] は選択できません。
● 動画、プロテクトされた画像は回転できません。

2 ▲/▼で回転方向を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

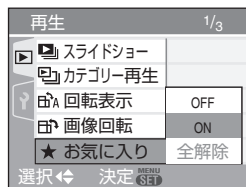
↷ :時計回りに 90° 回転します。
↶ :反時計回りに90° 回転します。

3 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

○○お知らせ○○

● 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、画像を縦向きに表示できない場合があります。
● AV ケーブル（付属）を使用して本機をテレビに接続し、画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
● パソコンで再生するとき、Exif に対応した OS またはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exif とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画像用のファイルフォーマットです]
● 回転された画像を再生レビュー、または再生ズームした場合は回転表示されますが、マルチ再生で再生した場合は回転表示されません。
● 他機で撮影された画像は回転できない場合があります。

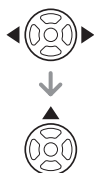
★ お気に入り
お気に入りの画像を設定する

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。
● お気に入りに設定した画像以外を削除する。（[★以外全削除]）
● お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。

1 ▼ で [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

● [OFF] に設定するとお気に入り設定できません。また、すでにお気に入り設定をしている場合も、お気に入り表示 [★] は表示されません。
● [★]の付いた画像が 1 枚もない場合は、[全解除] を選択できません。

2 [MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する

つづく

3 ◀/▶ で画像を選び、▲ で設定する

- この手順を繰り返します。
- お気に入り表示 [★] が表示されているときに ▲ を押すと、[★] が消え、お気に入り設定が解除されます。
- お気に入り設定は 999 枚まで設定できます。

■ お気に入り設定を全解除する

❶ 手順 1 の画面で [全解除] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

❷ ▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

❸ [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

○○(お知らせ)○○

- お店にプリントを依頼するときに、[★以外全削除] (P34) の機能を利用すると、プリントに出したい画像だけをカードに残しておけるので便利です。
- CD-ROM (付属) のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って、お気に入りの画像の設定や確認、解除をすることができます。[詳しくは、ソフトウェアの取扱説明書 (PDF ファイル) をお読みください]
- 他機で撮影された画像では、お気に入り設定ができない場合があります。

タイトル編集
撮影画像に文字(コメント)を登録する

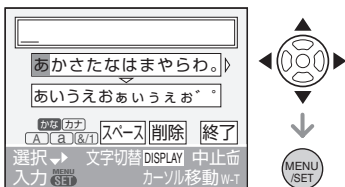
撮影画像に文字 (コメント) を登録しておくことができます。登録後、[文字焼き込み] (P89) で撮影画像に焼き込むことができます。(ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます)

▲/▼で [1枚設定] または [複数設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ [1 枚設定] 選択時

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

- シーンモードの[赤ちゃん](P48)、[ペット] (P49) の名前設定や [タイトル編集] で、すでに文字が登録されている画像には [ ] が表示されます。

2 ▲/▼/◀/▶ で文字を選び、[MENU/SET] ボタンで入力する

- 文字入力例は、次のページをお読みください。
- [DISPLAY] ボタンを押すと、かな（ひらがな）、カナ（カタカナ）、A／a（アルファベット）、&/1（記号 / 数字）に文字を切り替えることができます。
- 入力位置のカーソルは、[▦] で左に、[🔍] で右に移動できます。
- 空白を入れたいときは [スペース] にカーソルを合わせ、[MENU/SET] ボタンを押してください。
- 文字入力の途中で編集を中止したい場合、[🗑] ボタンを押してください。
- **入力した文字を削除したい場合は、[削除] にカーソルを合わせ、[MENU/SET] ボタンを押してください。**
- 入力できる文字数は以下のとおりです。

  かな／カナ：　最大 15 文字

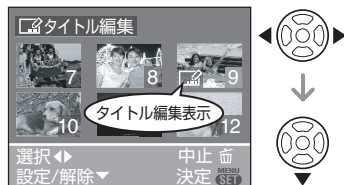
  A／a／&/1※：最大 30 文字

  ※ [＼]、[「]、[」]、[・]、[―]、[歳]、[カ]、[月]、[日]は最大15文字です

3 ▲/▼/◀/▶ で [終了] にカーソルを合わせ、[MENU/SET] ボタンを押して入力を終了する

4 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

■ [複数設定] 選択時

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ で設定 / 解除する

設定：タイトル編集表示が出ます。
解除：タイトル編集表示が消えます。

- この手順を繰り返します。
- [複数設定] でのタイトルの変更、削除はできません。

2 [MENU/SET] ボタンを押す

- **手順 2 の操作を行ったあとは、[1 枚設定](P87) 選択時の手順 2 以降の操作をしてください。**

■ タイトルを削除する（[1 枚設定] 時のみ）

❶ [1 枚設定](P87) 選択時の手順 **2** ですべての文字を削除して [終了] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す。

❷ [MENU/SET] ボタンを2 回押してメニューを終了する

つづく

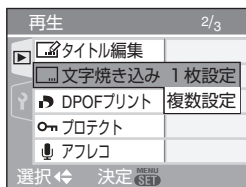
文字入力例
「パリ」と入力する場合： ❶ [DISPLAY] ボタンを押し、カナに切り替える ❷ ◀/▶ で「ハ」にカーソルを合わせる ❸ ▼ で下の段に移動し、◀/▶ で「ハ」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET] ボタンを押す ❹ ◀/▶ で「゜」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET] ボタンを押し、「パ」にする ❺ ▲ を押して上の段に戻り、◀/▶ で「ラ」にカーソルを合わせる ❻ ▼ で下の段に移動し、◀/▶ で「リ」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET] ボタンを押す

◯◯お知らせ◯◯

- 登録した文字は、本機の画面上で表示できます。
- 登録した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。
- シーンモードの[赤ちゃん](P48)、[ペット](P49) の名前設定も、[１枚設定](P87) 選択時の手順 **2**、**3** の操作で登録できます。
- シーンモードの[赤ちゃん](P48)、[ペット](P49) の名前設定と[タイトル編集]を同時に登録することはできません。
- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って、文字（コメント）をプリントすることができます。[詳しくは、ソフトウェアの取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください]
- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- 以下の画像はタイトル編集ができません。
  - ・他機で撮影された画像
  - ・動画
  - ・プロテクトされた画像

文字焼き込み
撮影画像に入力した文字や日付情報などを焼き込む

撮影した画像に、登録した文字や撮影日時、月齢 / 年齢、トラベル日付を焼き込むことができます。L サイズでプリントする場合に適しています。(記録画素数が [3M] より大きい画像はリサイズされます)

▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 以下の画像は文字や日付情報を焼き込むことができません。
  - ・時計を設定せずに撮影された画像
  - ・他機で撮影された画像
  - ・すでに文字焼き込みされている画像
  - ・動画
  - ・音声付き静止画

■ [1枚設定]選択時

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

2 ▲/▼/◀/▶ で [撮影日時]、[月齢/年齢]、[トラベル日付] または [タイトル] を選び、[MENU/SET] ボタンを押してそれぞれの項目を設定する

文字焼き込み

撮影日時	日付
月齢/年齢	OFF
トラベル日付	OFF
タイトル	OFF

戻る◀ 選択⇔ 決定 MENU SET

[撮影日時]

日付	年月日を焼き込みます。
日時	年月日時分を焼き込みます。

[月齢/年齢]
[ON] に設定すると、月齢/年齢が設定された画像に月齢/年齢を焼き込みます。

[トラベル日付]
[ON] に設定すると、トラベル日付が設定された画像にトラベル日付を焼き込みます。

[タイトル]
シーンモードの [赤ちゃん] (P48)、[ペット] (P49) の名前設定や [タイトル編集] で文字が登録された画像に文字を焼き込みます。

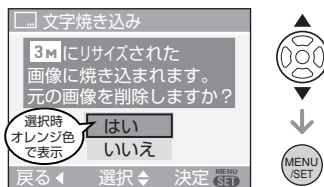
3 [MENU/SET] ボタンを押す

- 記録画素数が [3M] より大きい画像に文字焼き込みを行う場合は、以下のように記録画素数が小さくなります。

アスペクト設定	記録画素数
4:3	8M/5M→3M
3:2	7M/4.5M→2.5M
16:9	6M/3.5M→2M

- 画像は少し粗くなります。

4 ▲/▼ で [はい] または [いいえ] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

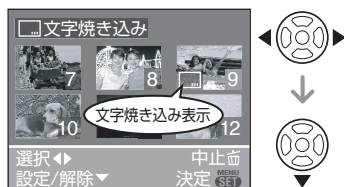
(記録画素数が [8M] で撮影された画像を選択時の画面)

- 記録画素数が [3M] 以下で撮影された画像の場合はリサイズされませんので、「元の画像を削除しますか？」のメッセージだけが表示されます。
- **[はい] を選ぶと画像が上書きされます。文字焼き込みされた画像が上書きされると、元に戻すことができません。**
- [いいえ] を選ぶと文字焼き込みされた画像が新しく作成されます。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。[いいえ] を選んで文字焼き込みされた画像を新しく作成してください。

5 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

- 文字焼き込みされた画像には、画面に [文字焼き込みアイコン] が表示されます。
- 入力した文字や日付情報は再生ズームを使ってご確認ください。

つづく

■ [複数設定]選択時

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ で設定 / 解除する

設定：文字焼き込み表示が出ます。
解除：文字焼き込み表示が消えます。

- この手順を繰り返します。

2 [MENU/SET] ボタンを押す

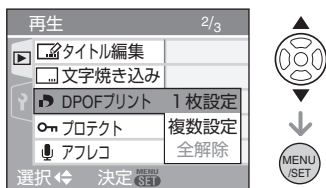
- **手順 2 の操作を行ったあとは、[1 枚設定](P89) 選択時の手順 2 以降の操作をしてください。**

◯◯(お知らせ)◯◯

- **文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。**
- 内蔵メモリーまたはカードの空き容量に余裕がある状態で、文字焼き込みを行うことをおすすめします。
- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- [複数設定] でプロテクトされた画像が含まれていた場合、手順4で [はい] を選ぶとメッセージが表示され、プロテクトされた画像のみ文字焼き込みができません。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- 文字焼き込みされた画像は、以下の機能が使えません。
  - ・文字焼き込み
  - ・DPOF プリントの日付プリント設定
  - ・リサイズ
  - ・トリミング
  - ・アスペクト変換
- [0.3M] の画像に文字焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。

DPOF プリント（ディーポフ）
プリントしたい画像と枚数を設定する

DPOF プリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。
内蔵メモリーの画像をお店でプリントしたいときは、カードにコピー (P98) してから DPOF 設定してください。

▲/▼で[1枚設定]、[複数設定]または [全解除] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- DPOF プリント設定された画像が 1 枚もない場合は、[全解除] を選択できません。

■ [1 枚設定]選択時

1 ◀/▶ で画像を選び、▲/▼ でプリント枚数を設定する

- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。このとき、プリント枚数を “0” にすると、DPOF プリント設定が解除されます。

応用・見る

2 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

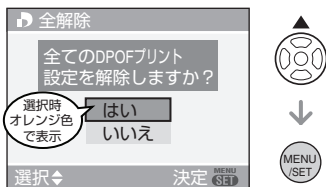
■ **[複数設定]選択時**

1 ◀/▶ で画像を選び、▲/▼ でプリント枚数を設定する

- この手順を繰り返します。（一括設定することはできません）
- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。このとき、プリント枚数を “0” にすると、DPOF プリント設定が解除されます。

2 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

■ **[全解除]選択時**

1 ▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 [MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する

- カードが入っていない場合は内蔵メモリー、カードが入っている場合はカードの画像データについてDPOFプリント設定が解除されます。

■ **日付をプリントする**

プリント枚数設定時、[DISPLAY] ボタンを押すごとに日付プリントを設定 / 解除できます。

- お店にデジタルプリントを依頼するときは、日付プリントすることをお店で別途指定してください。
- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。
- 本機で日付プリントを設定した画像に文字焼き込みを行うと、設定が解除されます。

○○お知らせ○○

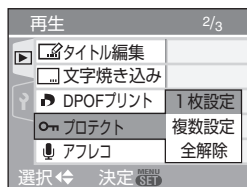
- DPOF とは、Digital Print Order Format の略です。DPOF 対応のシステムで活用できるようにプリント情報を書き込むことができるようにしたものです。
- DPOF プリント設定すると、PictBridge 対応のプリンターで出力するときにも便利です。日付プリントの設定は、プリンター側の設定が優先される場合がありますので、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。（P103）

つづく

- 他機で設定されたDPOF情報は利用することができない場合があります。その場合、DPOF 情報をすべて解除してから本機で再度設定してください。
- DCF規格に準拠していないファイルはDPOFプリント設定できません。

プロテクト 画像の誤消去を防止する

画像を誤って削除することがないように、削除したくない画像にプロテクトを設定することができます。

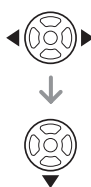
▲/▼で[1枚設定]、[複数設定]または [全解除] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ [1枚設定]選択時

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ で設定 / 解除する

設定：プロテクト表示が出ます。
解除：プロテクト表示が消えます。

2 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

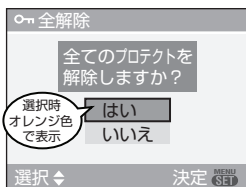
■ [複数設定]選択時

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ で設定 / 解除する

設定：プロテクト表示が出ます。
解除：プロテクト表示が消えます。

- この手順を繰り返します。

2 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

■ [全解除]選択時

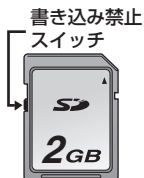
1 ▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 全解除中に[MENU/SET]ボタンを押すと、途中で全解除が中止されます。

2 [MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する

- カードが入っていない場合は内蔵メモリー、カードが入っている場合はカードの画像データについてプロテクト設定が解除されます。

〇〇お知らせ〇〇

- プロテクト設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- プロテクトされた画像は削除できません。ファイルを削除したいときは、プロテクト設定を解除してください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は削除されます。
- プロテクト設定をしていなくても、SD メモリーカードまたは SDHC メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、画像の削除はできません。

書き込み禁止スイッチ

- 画像をプロテクトすると以下の機能が使えません。
  - ・画像回転
  - ・アフレコ
  - ・タイトル編集

アフレコ
撮影したあとに音声を入れる

撮影した画像に、あとから音声を入れることができます。

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押して録音を開始する

- すでに音声が入っている場合、「音声データを上書きしますか？」と表示されます。▲ で[はい]を選び、[MENU/SET]ボタンを押して録音を開始してください。(元の音声はなくなります)
- 以下の場合は、アフレコできません。
  - ・動画
  - ・プロテクトされた画像

2 ▼ を押して録音を終了する

- ▼を押さなくても、約10秒間録音すると、自動的に終了します。

3 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

〇〇お知らせ〇〇

- 他機で撮影された画像にはアフレコはできない場合があります。

つづく

リサイズ　画像サイズ(画素数)を小さくする

画像をEメールに添付したりホームページに使用したりする場合は、[0.3M] にリサイズすることをおすすめします。

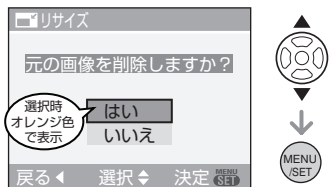
1 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

2 ◀/▶ でサイズを選び、▼ を押す

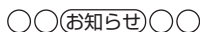
- 撮影した画像のサイズよりも、小さなサイズが表示されます。

アスペクト設定	記録画素数
4:3	5M/3M/2M/0.3M
3:2	4.5M/2.5M
16:9	3.5M/2M

- 「元の画像を削除しますか？」とメッセージが表示されます。

3 ▲/▼ で [はい] または [いいえ] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [はい] を選ぶと画像が上書きされます。リサイズされた画像が上書きされると、元に戻すことができません。
- [いいえ] を選ぶとリサイズされた画像が新しく作成されます。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。[いいえ] を選んでリサイズされた画像を新しく作成してください。

4 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

○○お知らせ○○

- 以下の画像はリサイズできません。

アスペクト設定	記録画素数
4:3	0.3M
3:2	2.5M
16:9	2M

・動画
・音声付き静止画
・文字焼き込みされた画像

- 他機で撮影された画像はリサイズできない場合があります。

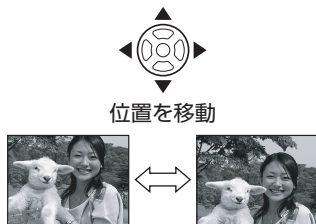
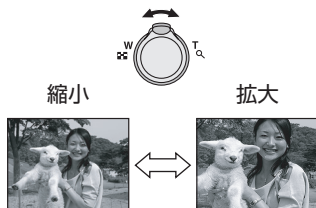
MENU/SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P81)

トリミング　画像を拡大して切り抜く

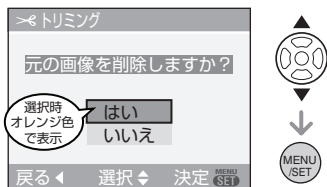
撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

- 以下の画像はトリミングできません。
  - ・動画
  - ・音声付き静止画
  - ・文字焼き込みされた画像

2 ズームレバーと ▲/▼/◀/▶ で切り抜く部分を選ぶ

3 シャッターボタンを押す

- 「元の画像を削除しますか？」とメッセージが表示されます。

4 ▲/▼ で [はい] または [いいえ] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [はい] を選ぶと画像が上書きされます。トリミングされた画像が上書きされると、元に戻すことができません。
- [いいえ] を選ぶとトリミングされた画像が新しく作成されます。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。[いいえ] を選んでトリミングされた画像を新しく作成してください。

5 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

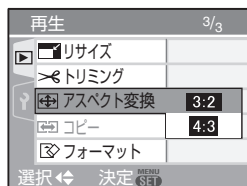
○○お知らせ○○

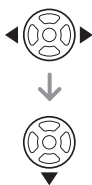
- トリミングを行うと、切り取るサイズによっては元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
- トリミングを行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はトリミングできない場合があります。

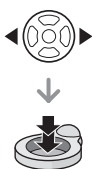
つづく

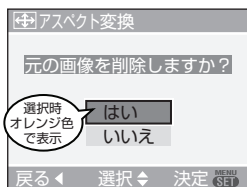
アスペクト変換　16:9の画像の横縦比を換える

[16:9]で撮影した画像を、プリント用に[3:2]または[4:3]に変換することができます。

1 ▲/▼で[3:2]または[4:3]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

● 以下の画像はアスペクト変換できません。
・動画
・音声付き静止画
・文字焼き込みされた画像

2 ◀/▶で画像を選び、▼を押す

● [16:9]以外の画像を選んで決定すると、「この画像には設定できません」とメッセージが表示されます。

3 ◀/▶で左右の位置を決定し、シャッターボタンで決定する

● 縦に回転されている画像は▲/▼で枠移動を行い決定します。
● 「元の画像を削除しますか？」とメッセージが表示されます。

4 ▲/▼で[はい]または[いいえ]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

● [はい]を選ぶと画像が上書きされます。アスペクト変換された画像が上書きされると、元に戻すことができません。
● [いいえ]を選ぶとアスペクト変換された画像が新しく作成されます。
● 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。[いいえ]を選んでアスペクト変換された画像を新しく作成してください。

5 [MENU/SET]ボタンを2回押してメニューを終了する

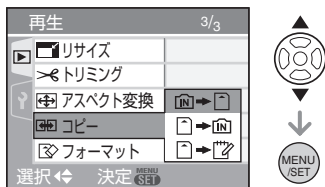
○○お知らせ○○

● アスペクト変換を行うと、変換後の画素数が元の画像より大きくなる場合があります。
● DCF規格に準拠してないファイルはアスペクト変換できません。
● 他機で撮影された画像はアスペクト変換できない場合があります。

MENU/SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P81)

コピー　画像データをコピーする

撮影した画像データを内蔵メモリーからカード、カードから内蔵メモリー、またはカードからメモ専用フォルダーにコピーすることができます。

1 ▲/▼ で画像データのコピー方向を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[IN] → [カード]:
内蔵メモリーからカードへ全画像が一括コピーされます。→手順 3 へ

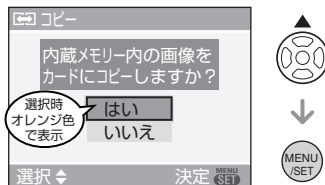
[カード] → [IN]:
カードから内蔵メモリーへ 1 枚ずつコピーされます。→手順 2 へ

[カード] → [メモ]:
カードからメモ専用フォルダー（内蔵メモリー）へ 1 枚ずつコピーされます。（動画はコピーできません）→手順 2 へ

2 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

（[カード → IN]、[カード → メモ] 選択時）

3 ▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

（内蔵メモリーからカードへ一括コピーするときの画面）

- 内蔵メモリーからカードへのコピー中に[MENU/SET]ボタンを押すと、途中でコピーが中止されます。
- コピーが終了するまで、電源を切ったり、他の操作をしないでください。内蔵メモリーやカードのデータが壊れたり、消失することがあります。

4 [MENU/SET]ボタンを数回押してメニューを終了する

- 内蔵メモリーからカードへコピーする場合、すべての画像をコピーして、自動的に再生画面に戻ります。

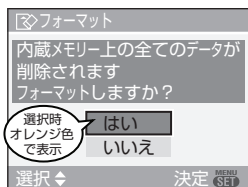
○○お知らせ○○

- 内蔵メモリーからカードへコピーする場合、カードの空き容量が少ないと途中までしか画像データをコピーできません。内蔵メモリー（約 27 MB）より空き容量の多いカードを使用することをおすすめします。
- [IN → カード] 時、コピーする画像と同じ名前（フォルダー番号 / ファイル番号）の画像がコピー先にある場合、新しいフォルダーを作成してコピーします。
  [カード → IN] 時は、同じ名前（フォルダー番号 / ファイル番号）の画像がコピー先にある場合、その画像はコピーされません。(P112)
- コピーに時間がかかる場合があります。
- 当社製デジタルカメラ（LUMIX）で撮影した画像のみコピーされます。
  （当社製デジタルカメラで撮影した画像でも、パソコンなどで編集された画像はコピーできない場合があります）
- DPOF設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。(P91)
- メモ画像をカードへコピーする場合は、メモ再生メニューの [コピー] を選択してください。(P73)

フォーマット　内蔵メモリーまたはカードを初期化する

通常、内蔵メモリーやカードはフォーマットする必要はありません。「内蔵メモリーエラー」、または「メモリーカードエラー」とメッセージが表示された場合などにフォーマットしてください。

▲で［はい］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

（内蔵メモリーをフォーマットするときの画面）

- カードが入っていない場合は内蔵メモリー、カードが入っている場合はカードをフォーマットすることができます。
- 内蔵メモリーのフォーマット中に［MENU/SET］ボタンを押すと、途中でフォーマットが中止されます。（ただし、フォーマットを中止しても画像はすべて削除されます）

○○お知らせ○○

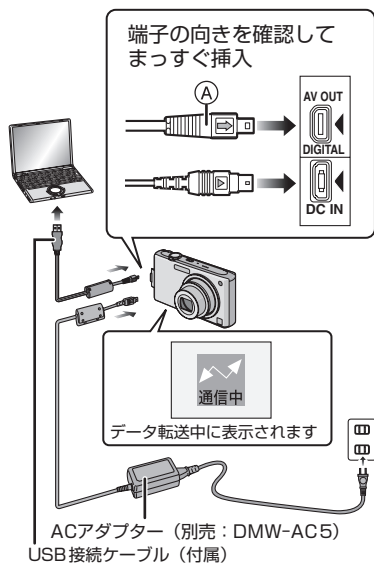
- メモ画像やプロテクトされた画像も含めてすべてのデータは一度フォーマットすると元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。
- パソコンやその他の機器でフォーマットされた場合、もう一度本機でフォーマットしてください。
- フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプター（別売：DMW-AC5）を使用してください。
- フォーマット中は電源を［OFF］にしないでください。
- カードより内蔵メモリーの方がフォーマットに時間がかかる場合があります。（最大約 15 秒）
- SD メモリーカードまたは SDHC メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときは、フォーマットできません。

書き込み禁止スイッチ

- フォーマットできないときはお買い上げの販売店へご連絡ください。

パソコンと接続する

モードダイヤル設定：

本機をパソコンと接続すると、画像を取り込むことができます。
また、CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」（Windows® 用）を使うと、パソコンに画像を取り込んで印刷したり、メールで送ることが簡単にできます。
Windows 98/98SEをご使用の方のみ、USBドライバーのインストールを行ってから接続してください。
CD-ROM（付属）のソフトウェアやインストールなど詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください。

- 十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプター（別売：DMW-AC5）を使用してください。
- 本機の電源を [OFF] にしてから、AC アダプター（別売：DMW-AC5）のケーブルを抜き差ししてください。
- プリントモード［ ］以外に合わせてください。

1 本機とパソコンの電源を入れる

2 USB 接続ケーブル（付属）で、本機とパソコンを接続する

- USB接続ケーブルの[➡]マークが端子部の [◀] マークに合うように接続してください。
- USB 接続ケーブルは、Ⓐ部を持ってまっすぐ抜き差ししてください。（斜めや裏向きにして無理に挿入すると、端子が変形して本機や接続する機器の故障の原因になります）

Windows の場合

[マイ コンピュータ] フォルダーにドライブが表示されます。

- はじめて接続したときは、Windows のプラグアンドプレイにより、本機を認識するために必要なドライバーが自動的にインストールされ、そのあと [マイ コンピュータ] フォルダーにドライブが表示されます。

Macintosh の場合

画面上にドライブが表示されます。

- カードを入れずに接続した場合は、[LUMIX] と表示されます。
- カードを入れて接続した場合は、[NO_NAME] または [名称未設定] と表示されます。

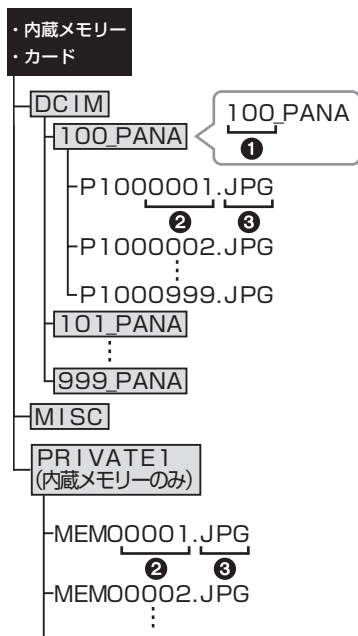
つづく

■ パソコンでの動画再生について

本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合は、CD-ROM（付属）のソフトウェア「QuickTime」をご使用ください。

- Windows98/98SE/Meをお使いの場合は、下記のサイトから［QuickTime 6.5.2 for Windows］をダウンロードしてインストールをしてください。
  http://www.apple.com/jp/ftp-info/reference/quicktime652forwindows.html
- Macintoshには標準で搭載されています。

■ フォルダー構造について

フォルダーは下図のように表示されます。

❶ フォルダー番号
❷ ファイル番号
❸ JPG ：画像
　MOV：動画

MISC　：　DPOFプリント
　　　　　お気に入り
　　　　　カテゴリースライドショー
PRIVATE1：メモ画像（P72）

- 本機で記録した場合は、1つのフォルダーにつき最大999枚の画像データが入ります。それを超えると次のフォルダーが作成されます。
- ファイル番号やフォルダー番号をリセットする場合は、セットアップメニューの［番号リセット］を行ってください。

■ フォルダー番号が変更される条件について

以下の条件で撮影を行った場合、画像ファイルは直前に記録されたフォルダーとは異なる、新しい番号のフォルダーの中に記録されます。

1 直前に記録されたフォルダーの中にファイル番号999の画像ファイル(例：P1000999.JPG)がある場合。
2 直前に記録されたカードの中に、例えばフォルダー番号100のフォルダー(100_PANA)があるときに、そのカードを抜いて新たに他社のカメラで撮影した、フォルダー番号100のフォルダー(100XXXXX、XXXXXはメーカー名など)があるカードを挿入して撮影した場合。
3 セットアップメニューから［番号リセット］を選び、実行したあとに撮影した場合。(直前に記録されたフォルダーの続きの番号の新しいフォルダーに記録されます。フォーマット直後など、カードの中にフォルダーや画像がない状態で［番号リセット］を実行すると、フォルダー番号を100に戻すこともできます。)

■ PTP モードでの接続について

Windows XP、Windows Vista、Mac OS X をお使いの場合は、プリントモード［🖨］に合わせてパソコンに接続すると、PTP モードで接続ができます。

- 本機からは、画像の読み出しのみ行うことができます。カードへの書き込みや、削除はできません。
- カードの中に 1000 枚以上画像があると、取り込めない場合があります。

〇〇お知らせ〇〇

- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。
- 「通信中」と表示されている間は、USB接続ケーブルを抜かないでください。
- 内蔵メモリーやカードの画像枚数が多いと、転送に時間がかかります。
- パソコンと本機を接続した状態では、内蔵メモリーやカード内の動画を正常に再生できない場合があります。動画ファイルはパソコンに取り込んでから再生してください。
- 通信中にバッテリー残量がなくなると、データが破壊される恐れがあります。接続するときは、十分に残量のあるバッテリーまたはAC アダプター（別売：DMW-AC5）を使用してください。
- 通信中にバッテリー残量が少なくなった場合は、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴りますので、すぐにパソコン側で通信を中止してください。
- **Windows 2000を使用してUSB接続した場合には、接続したままでカードの交換を行わないでください。カード内の情報を破壊する恐れがあります。カードの交換をするときは、パソコン側でタスクトレイの「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」の操作を行ってください。**
- パソコンで回転された画像や編集された画像は、再生モード時、マルチ再生時、カレンダー再生時に黒く表示されることがあります。
- パソコンの説明書もお読みください。
- 接続したときにカードが入っていない場合は内蔵メモリー、カードが入っている場合はカードの画像データを扱うことができます。（メモモードで接続したときは、カードが入っていても内蔵メモリーのデータが表示されます）
- 接続中は内蔵メモリー/カードの切り換えはできません。切り換える場合は一度USB接続ケーブルを抜き、カードを入れて（または取り出して）から接続し直してください。
- パソコンと接続中にモードダイヤルをプリントモード［🖨］に変更すると、「プリンターと接続しなおしてください」と表示されます。プリンターに接続し直す場合は、［🖨］以外のモードに変更し、データ転送中でないことを確認してください。（データ転送中は、本機の液晶モニターに「通信中」と表示されます）

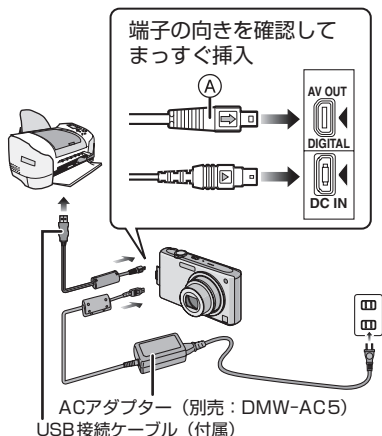
プリントする（[プリントモード]：プリントモード）

つづく

PictBridge 対応プリンターに接続してプリントする

モードダイヤルを [プリントモード] に合わせてください。

USB 接続ケーブル（付属）を使って本機を PictBridge に対応したプリンターに直接接続し、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。
あらかじめプリンター側で印字品質などのプリントの設定をしてください。（プリンターの説明書をお読みください）

■ 接続する

- プリントに時間がかかる場合がありますので、接続するときは十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプター（別売：DMW-AC5）を使用してください。
- 本機の電源を [OFF] にしてから、AC アダプター（別売：DMW-AC5）のケーブルを抜き差ししてください。

1 **本機とプリンターの電源を入れる**

2 **モードダイヤルを [プリントモード] に合わせる**

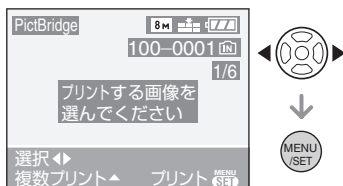
3 **USB 接続ケーブル（付属）で、本機とプリンターを接続する**

- USB接続ケーブルの[➡]マークが端子部の[◀]マークに合うように接続してください。
- USB接続ケーブルは、Ⓐ部を持ってまっすぐ抜き差ししてください。

〇〇お知らせ〇〇

- モードダイヤルを [プリントモード] に合わせずに接続した場合、一度 USB 接続ケーブルを抜き、モードダイヤルを [プリントモード] に合わせ直してから接続し直してください。（プリンターによっては、電源の入れ直しが必要な場合があります）
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。
- 接続したときにカードが入っていない場合は内蔵メモリー、カードが入っている場合はカードの画像データを扱うことができます。
- 接続中は内蔵メモリー/カードの切り換えはできません。切り換える場合は一度 USB 接続ケーブルを抜き、カードを入れて（または取り出して）から接続し直してください。
- シーンモードの [赤ちゃん] や [ペット] の月齢/年齢、[トラベル日付] の経過日数をプリントしたい場合は、CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使ってパソコンからプリントしてください。[赤ちゃん] や [ペット] の名前、または［タイトル編集］で入力した文字（コメント）をプリントする場合は、「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」をお使いください。詳しくは、ソフトウェアの取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

■ 画像を選んで 1 枚ずつプリントする

1 ◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

● メッセージは約 2 秒後に消えます。

2 ▲ で [プリント開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

一枚選択

プリント開始	
日付プリント	OFF
プリント枚数	1
用紙サイズ	
レイアウト	

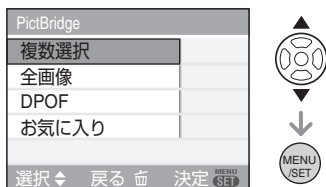
戻る 選択 決定

● 途中でプリントを中止したい場合は [MENU/SET] ボタンを押してください。

3 プリント終了後、USB 接続ケーブルを抜く

■ 複数の画像を選んでプリントする

1 ▲ を押す

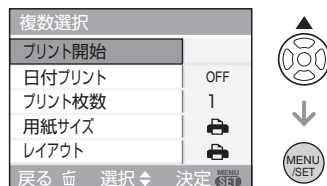
2 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

項目	設定内容
複数選択	複数の画像を一度にプリントします。 ● 複数選択時の画面で ◀/▶ で画像を選び、▼ を押すとプリントする画像に [ ] が表示されます。(もう一度 ▼ を押すと設定が解除されます) 選択が終了したら [MENU/SET] ボタンを押してください。
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。
DPOF	[DPOF] 設定された画像のみをプリントします。
お気に入り※	[お気に入り] 設定された画像のみをプリントします。

※ [お気に入り] を [ON] に設定しているときのみ表示されます。
(ただし、[お気に入り] を [ON] に設定していても、[★] の付いた画像が 1 枚もない場合は、選択できません)

3 ▲ で [プリント開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

複数選択

プリント開始	
日付プリント	OFF
プリント枚数	1
用紙サイズ	
レイアウト	

戻る 選択 決定

● [DPOF] 選択時には、[日付プリント] と [プリント枚数] の項目は表示されません。

つづく

- [DPOF]選択時は、[DPOF設定]が表示されます。[DPOF 設定] を選択した場合は、91 ページを参照して設定してください。
- 途中でプリントを中止したい場合は[MENU/SET] ボタンを押してください。
- ［複数選択］、［全画像］、［お気に入り］選択時は、プリント確認画面が表示されるので、［はい］を選んでプリントしてください。
- プリント枚数が1000枚を超えた場合、プリント確認画面で、「－－－枚プリントします。よろしいですか？」と表示されます。
- メモモード[ ]の画像は、カードにコピー（P73）して、プリントしてください。

4 **プリント終了後、USB 接続ケーブルを抜く**

■ 日付プリント、プリント枚数、用紙サイズ、レイアウトの設定について

手順**3**の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[ ] にして、プリンター側で設定してください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）

日付プリント

OFF	日付プリントされません。
ON	日付プリントされます。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。

プリント枚数

プリントする枚数を設定してください。

- 最大 999 枚まで設定できます。

用紙サイズ

（本機で設定可能な用紙サイズ）
1/2 と 2/2 に分かれて表示されます。
▼ を押して選択してください。

1/2	
	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5″×5″	89 mm×127 mm
2L/5″×7″	127 mm×178 mm
はがき	100 mm×148 mm
A4	210 mm×297 mm

2/2 ※	
カード	54 mm×85.6 mm
10×15cm	100 mm×150 mm
4″×6″	101.6 mm×152.4 mm
8″×10″	203.2 mm×254 mm
レター	216 mm×279.4 mm

※プリンターが対応していない場合は、これらの項目は表示されません。

レイアウト

（本機で設定可能なレイアウト）

	プリンターの設定が優先されます。
	1 面ふちなし印刷
	1 面ふちあり印刷
	2 面印刷
	4 面印刷

- プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

■ レイアウト印刷について

- **1 枚の用紙に同じ画像を印刷する場合**
  例えば、1 枚の用紙に同じ画像を４枚印刷する場合、[レイアウト] を 4 面印刷 [ ] に設定し、印刷したい画像の [プリント枚数]を４枚に設定してください。

● **1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合**
例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を4面印刷[▦]に設定し、[プリント枚数]を1枚に設定してください。

○○お知らせ○○

● ケーブル切断禁止アイコン[ ]が表示されているときは、USB接続ケーブルを抜かないでください。(プリンターによっては表示されない場合があります)
● 接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴ります。プリント中の場合は、[MENU/SET]ボタンを押して、すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。
● プリント中にオレンジ色の[●]のアイコンが表示されているときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
● プリント枚数の合計やプリント設定された画像が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示が設定枚数と異なりますが、故障ではありません。
● 日付プリントの設定は、プリンター側の設定が優先される場合がありますので、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。
● 接続中にモードダイヤルをプリントモード[ ]以外に合わせると、「モードが変わりましたUSB接続ケーブルを抜いてください」と表示されます。モードダイヤルを[ ]に戻してから、USB接続ケーブルを抜いてください。プリント中の場合は、モードダイヤルを[ ]に戻しプリントを中止してから、USB接続ケーブルを抜いてください。

画像に日付を入れるには

画像に日付を焼き込む

文字焼き込み機能を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

●お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。

日付プリントを設定する

DPOFプリント設定のプリント枚数設定時に[DISPLAY]ボタンを押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。(シーンモードの[赤ちゃん]や[ペット]の月齢/年齢や名前、トラベル日付、または[タイトル編集]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

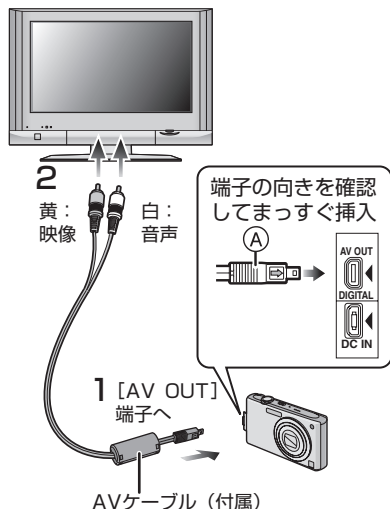
CD-ROM(付属)のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-Viewer-」をお使いの場合は、印刷設定で日付入りに設定すると日付プリントができます。詳しくは、ソフトウェアの取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。

※日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

テレビで見る

モードダイヤルを [▶] に合わせてください。

■ AV ケーブル(付属)を使って見る

- [TV アスペクト] を設定する。
- 本機の電源を [OFF] にし、テレビの電源も切っておく。

1 本機の[AV OUT]端子にAVケーブルを確実に接続する

- AV ケーブルの [➡] マークが端子部の[◀]マークに合うように接続してください。
- AVケーブルは、Ⓐ部を持ってまっすぐ抜き差ししてください。

2 テレビの映像入力端子と音声入力端子に AV ケーブルを接続する

3 テレビの電源を入れ、外部入力にする

4 本機の電源を [ON] にする

◯◯お知らせ◯◯

- [アスペクト設定]によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 付属のAVケーブル以外は使わないでください。
- テレビの説明書もお読みください。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。

■ SD カードスロット付テレビで見る

SD カードスロット付テレビに撮影した SD メモリーカードを入れて、静止画を再生することができます。

◯◯お知らせ◯◯

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 動画を再生することはできません。動画を再生したい場合は、AV ケーブル（付属）を使用し、本機をテレビに接続してください。
- マルチメディアカードは再生できないことがあります。

別売品のご紹介

品番： DMW-BCE10 **品名：** バッテリーパック	
品番： DMW-AC5 **品名：** AC アダプター	
品番： DMW-CX30 **品名：** 本革ケース	
品番： DMW-CXA1 **品名：** 本革ケース	
品番： DMW-CX07 **品名：** ソフトケース	

品番： DMW-CX12 **品名：** ソフトケース	
品番： DMW-NSTX1 **品名：** 本革ストラップ	
品番： DMW-MCFX30 **品名：** マリンケース	

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

http://www.sense.panasonic.co.jp

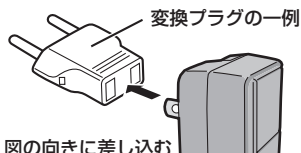
海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- 電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

■ 変換プラグの付けかた

- **ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してください。**

■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ
北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF,B3	イタリア	C	オーストリア	C,SE	オランダ	C,SE	ギリシャ	A,B, B3,C, SE	スイス	A,B, C,SE
スウェーデン	B,C, SE	スペイン	A,C, SE	デンマーク	C	ドイツ	A,C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	B,C	フランス	A,C, SE	ベルギー	B,C, SE	ロシア	A,C, SE				
アジア											
インド	B,BF, B3,C	インドネシア	B,B3, C,SE	シンガポール	B,BF, B3	タイ	A,BF, C	大韓民国	A,C, SE	台湾	A,C,O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O	ベトナム	A,BF, C, SE	香港特別行政区	B,BF, B3,C	マカオ特別行政区	B,BF, B3,C	マレーシア	B,BF, B3,C
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A,B, C,O
中南米											
アルゼンチン	BF,C, SE	プエルトリコ	A,BF, C	ブラジル	A,C, SE	メキシコ	A,C, SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B,BF, B3	エジプト	BF,B3, C,SE	クウェート	B,B3, C	トルコ	A,B, C,SE	南アフリカ共和国	B,BF, B3,C	モロッコ	A,C, SE

タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
プラグ形状	不要です						

■ 海外のテレビで画像を見る

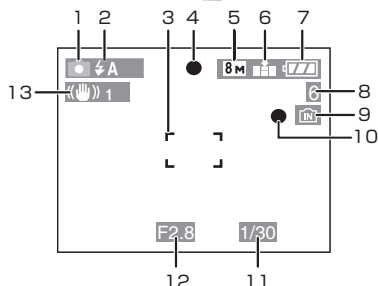
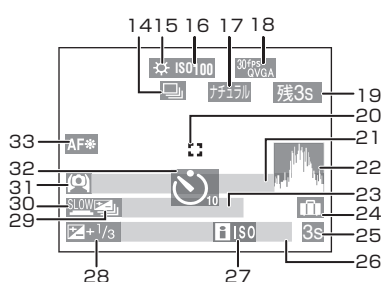
セットアップメニューの [ビデオ出力] で [NTSC] または [PAL] に設定してください。

■ 時計を海外旅行先の時刻に合わせる

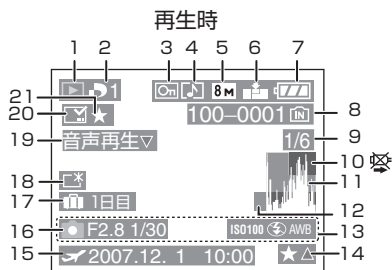
セットアップメニューの [ワールドタイム] で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

液晶モニターの表示

液晶モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

通常撮影モード[ ]時（お買い上げ時）

撮影時（各種設定後）

■ **撮影時**

1 撮影モード
2 フラッシュモード(P38)
3 AF エリア(P25)
4 フォーカス(P25)
5 記録画素数(P65)
6 クオリティ(P65)
　手ブレ警告(P27)：
7 バッテリー残量(P24)
8 記録可能枚数(P122)
9 内蔵メモリー(P15)
　カード(P15)：
10 記録動作
11 シャッタースピード(P25)
12 絞り値(P25)
13 手ブレ補正(P68)
14 連写(P69)
　音声記録(P54、66)：
15 ホワイトバランス(P61)
16 ISO 感度(P64)
　最高ISO感度(P63)：ISOMAX 400 / ISOMAX 800 / ISOMAX 1250
17 カラーモード(P71)
18 画質設定(P54)：
　30fps VGA / 10fps VGA / 30fps QVGA / 10fps QVGA (4:3)
　30fps 16:9 / 10fps 16:9 (16:9)
19 記録可能時間(P54)：残XXhXXmXXs
20 スポット AF エリア(P66)
21 名前※1(P48)
　メモ再生移行ガイド(P72)：
22 ヒストグラム(P36)
23 月齢 / 年齢※1(P48)
　トラベル経過日数(P56)
24 トラベル日付(P56)
25 記録経過時間(P54)
　逆光補正操作(P29)：逆光補正
26 現在日時 / 旅行先設定(P58)※2：
　ズーム /EX 光学ズーム（P30）/
　デジタルズーム（P31）：
　EZ W T 1X
27 インテリジェント ISO(P63)
28 露出補正(P42)
　逆光補正(P29)：
29 オートブラケット(P43)
30 スローシャッター(P70)
31 ハイアングルモード(P37)
　パワーLCD モード(P37)：
　オートパワーLCDモード(P37)：
32 セルフタイマーモード(P41)
33 AF 補助光(P70)

※ 1 シーンモードの [赤ちゃん] や [ペット] で起動した場合に約 5 秒間表示されます。
※ 2 起動時 / 時計設定後 / 再生モードから撮影モードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。

■ 再生時

1 再生モード(P33)
2 DPOF プリント枚数(P91)
3 プロテクト(P93)
4 音声付き静止画/動画(P78)
5 記録画素数(P65)
6 クオリティ(P65)
動画時(P78):
30fps VGA/10fps VGA/30fps QVGA/10fps QVGA (4:3)
30fps 16:9/10fps 16:9 (16:9)
7 バッテリー残量(P24)
8 フォルダー・ファイル番号(P101)
内蔵メモリー(P15)
カード(P15):
9 画像番号 / トータル枚数
10 ケーブル切断禁止アイコン(P106)
動画記録時間(P78):XXhXXmXXs
11 ヒストグラム(P36)
12 メモ撮影移行ガイド(P73):
13 撮影情報
14 お気に入り設定(P86)
再生経過時間(P78):XXhXXmXXs
15 撮影日時 / 旅行先設定(P58)
名前(P48)
タイトル(P87)
16 月齢 / 年齢(P48)
17 トラベル経過日数(P56)
18 パワーLCD モード(P37)
19 音声再生(P78)
動画時:動画再生▽
20 文字焼き込み済み表示(P90)
ズームマーク(P74):
21 お気に入り表示(P86)

メッセージ表示

確認 / エラー内容を液晶モニターに文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	実行していただきたいこと
このメモリーカードはロックされています	SDメモリーカードまたは SDHC メモリーカードの書き込み禁止スイッチの「LOCK」を解除してください。(P15、94、99)
表示できる画像がありません	画像を記録する、または画像が記録されたカードを入れてから再生してください。
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから(P93)削除や上書きをしてください。
削除できない画像があります / この画像は削除できません	DCF 規格に準拠していない画像は削除できません。 削除したい場合は、パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P99)してください。
設定枚数をこえました	複数削除(P34)、[タイトル編集](P87)、[文字焼き込み](P89)の複数設定時に一度に設定できる枚数を超えています。 一度削除または入力した文字や日付情報を焼き込んでから、操作を行ってください。
	お気に入り設定が 999 枚を超えています。
この画像には設定できません	DCF 規格に準拠していない画像は [タイトル編集]、[文字焼き込み]、[DPOF 設定] ができません。
内蔵メモリー残量が不足しています / メモリーカード残量が不足しています	内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。 ● 内蔵メモリーからカードへコピーしている場合(一括コピー)、カードの空き容量がなくなるまで画像はコピーされています。
コピーできない画像がありました / 画像をコピーすることができませんでした	以下の画像はコピーされません。 ● コピーする画像と同じ名前の画像がコピー先にある場合(カードから内蔵メモリーへのコピー時のみ) ● DCF 規格に準拠していないファイル また、本機以外で撮影した画像や編集された画像はコピーされない場合があります。
内蔵メモリーエラー・フォーマットしますか?	パソコンでフォーマットした場合など、このメッセージが表示されます。 本機でフォーマット(P99)し直してください。 データは消去されます。
メモリーカードエラー・フォーマットしますか?	本機では認識できないファイル形式です。パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P99)し直してください。
電源を入れ直してください	レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
メモリーカードエラー カードのパラメータが異常です	本機に対応したカードをお使いください。(P9、15) ● 4 GB 以上のメモリーカードはSDHCメモリーカードのみ使用できます。

メッセージ	実行していただきたいこと
メモリーカードエラー カードを確認してください	カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 以下のような場合にもこの表示が出ます。 ● アダプターにminiSDカードやmicroSDカードを入れずに本機に挿入したとき 必ずアダプターにカードを入れてお使いください。
リードエラー カードを確認してください	データの読み込みに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。カードが確実に挿入されていることを確認してから、もう一度再生してください。
ライトエラー カードを確認してください	データの書き込みに失敗しました。電源を [OFF] にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源を [ON] にして記録してください。またはカードが破壊されている可能性があります。
カードの書込み速度不足のため記録を終了しました	● [画質設定]を[30fpsVGA]または[30fps16:9]に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。 ● カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
フォルダーを作成できません	使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。(P101) パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P99)してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの[番号リセット]を実行すると、フォルダー番号が 100 にリセットされます。(P22)
4:3TV 用で出力します / 16:9TV 用で出力します	● 本機に AV ケーブルが接続されました。メッセージをすぐに消したい場合は、[MENU/SET] ボタンを押してください。 ● TV アスペクトを変更したい場合は、セットアップメニューの [TV アスペクト] で変更してください。(P23) ● USB 接続ケーブルが本機のみに接続された場合も、メッセージが表示されます。 USB 接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。(P100、103)
プリンターと接続しなおしてください	パソコンと接続中に、モードダイヤルをプリントモード[ ]に変更すると表示されます。 プリンターに接続し直す場合は、[ ] 以外のモードに変更し、データ転送中でないことを確認してください。(データ転送中は、本機の液晶モニターに「通信中」と表示されます)
モードが変わりました USB 接続ケーブルを抜いてください	プリンターと接続中に、モードダイヤルをプリントモード[ ]以外に合わせると表示されます。 USB 接続ケーブルを抜く前に、モードダイヤルを[ ]に戻してください。プリント中の場合は、プリントを中止してから抜いてください。
プリンタービジー プリンターを確認してください	プリンター側が印刷できない状態です。 プリンターを確認してください。

Q & A　故障かな？と思ったら

メニュー設定をお買い上げ時の状態に戻すと、症状が改善する場合があります。
セットアップメニューの [設定リセット] を実行してください。（P22）

■ バッテリー、電源について

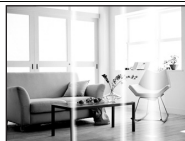
Q（質問）	A（回答）
電源を [ON] にしても動作しない。	バッテリーは正しい向きに入っていますか？
	バッテリーは十分に充電されていますか？ 十分に充電されたバッテリーをお使いください。
電源を [ON] にしているのに、液晶モニターが消灯している。	パワーセーブ（P20）またはエコモード（P21）が働いていませんか？ シャッターボタンを半押しして、解除してください。
	バッテリーが消耗していませんか？ 十分に充電されたバッテリーをお使いください。
電源を [ON] にしてもすぐに切れる。	● バッテリーが消耗していませんか？ 十分に充電されたバッテリーをお使いください。 ● 電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。パワーセーブ（P20）やエコモード（P21）を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

■ 撮影について

Q（質問）	A（回答）
画像が撮れない。	モードダイヤルは正しいモードに設定されていますか？
	内蔵メモリーまたはカードのメモリー残量はありますか？ 撮影する前にいくつかの画像を削除してください。（P33）
撮影した画像が白っぽい。レンズが汚れている。	レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。汚れたときは、電源を入れ、レンズ鏡筒（P11）を出した状態で固定し、レンズの表面を柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	露出が正しく補正されているか確認してください。（P42）
1 回の撮影で、2～3 枚の画像が撮れるときがある。	オートブラケット（P43）、シーンモードの高速連写（P50）または連写モード（P69）を [ON] に設定されていませんか？
ピントが合わない。	撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。モードダイヤルを回して、被写体までの距離に応じたモードにしてください。
	ピントが合う範囲から外れていませんか？（P25、44）
	ピントではなく、画像のブレではありませんか？
	シャッターボタンを半押ししてから撮影していますか？半押しするまで、ピントは合いません。（ただし、インテリジェントオートモード [iA] を除く）
撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。	特に暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。このようなときは、本機を両手でしっかり持って撮影することをおすすめします。（P25） また、スローシャッターで撮影するときは、セルフタイマー（P41）を使って撮影することをおすすめします。

つづく

■ 撮影について

Q（質問）	A（回答）
撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	ISO 感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか？ （お買い上げ時の設定では、ISO 感度が [AUTO] になっているため、屋内などの撮影では ISO 感度が高くなります） ● ISO 感度を低くしてください。（P64） ● [カラーモード] を [ナチュラル] に設定してください。（P71） ● 明るい場所で撮影してください。
	シーンモードの [高感度]（P50）または [高速連写]（P50）では、撮影した画像が少し粗くなりますが、高感度処理のためで異常ではありません。
撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	蛍光灯下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは蛍光灯の特性により発生するものであり、異常ではありません。
シャッターボタン半押し時や動画撮影時に、液晶モニターに赤っぽい縦すじが出る。	スミアという現象です。これは CCD の特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。また、黒や緑の縦すじが出たり、スミアの周辺に横引き状のむらが発生する場合がありますが、異常ではありません。動画撮影では記録されますが、静止画像には記録されません。
動画撮影が途中で止まる。	マルチメディアカードを使用していませんか？本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
	● [画質設定]を[30fpsVGA]または[30fps16:9]に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。 ● カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。

■ 液晶モニターについて

Q（質問）	A（回答）
電源 [ON] 中に、液晶モニターがときどき消える。	エコモードに設定していませんか？（P21）エコモードでは、フラッシュを充電している間、液晶モニターが消灯します。
液晶モニターの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。
室内で液晶モニターがちらつく。	電源周波数が 50 Hz の地域では、電源を入れてから数秒間、液晶モニターがちらつく場合がありますが、これは蛍光灯の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。
液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる。	液晶モニターの明るさを正しく調整してください。（P21）
	パワーLCD またはハイアングルモードになっていませんか？（P37）
液晶モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。	これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。（P119）
液晶モニターにノイズが出る。	暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像に影響はありません。

■ フラッシュについて

Q（質問）	A（回答）
フラッシュが発光しない。	発光禁止［⊘］に設定していませんか？フラッシュモードを変更してください。（P38）
	動画撮影モード［🎞］（P54）、シーンモード（P45）の［風景］、［夜景］、［夕焼け］、［高速連写］、［星空］、［花火］、［空撮］を選択しているときは、発光しません。
フラッシュが2回発光する。	赤目軽減（P38）にしている場合、人の瞳が赤く写る（赤目現象）のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。

■ 再生について

Q（質問）	A（回答）
再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。	本機では縦に構えて撮影した画像を自動的に回転して表示する機能があります。（本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、本機が縦に構えて撮影したと認識する場合があります） ● ［回転表示］（P85）を［OFF］に設定すると画像は回転されずに表示されます。 ● ［画像回転］（P85）で画像を回転することができます。
再生できない。	モードダイヤルは再生［▶］に設定されていますか？
	内蔵メモリーまたはカードに再生できる画像はありますか？ ● カードが入っていない場合は、内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが表示されます。（P15）
フォルダー・ファイル番号が［ー］で表示され、画面が黒くなる。	パソコンで編集された画像、または当社製以外のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？ 撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影すると、まれに左記のような画像が記録されることがあります。 ● 左記のような画像を削除するにはフォーマット（P99）してください。（他の画像も含めてすべてのデータは、一度フォーマットすると元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。）
カレンダー再生をすると、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	パソコンで編集された画像、または他機で撮影した画像ではないですか？ このような画像は、カレンダー再生時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。（P76）
	本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか？（P16） 例えば、本機の時計設定がパソコンに設定されている日時と異なる場合、一度パソコンにコピーした画像をカードに書き戻して、本機でカレンダー再生した場合など、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。

つづく

■ 再生について

Q（質問）	A（回答）
撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。

■ テレビ、パソコン、プリンターについて

Q（質問）	A（回答）
テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。	正しく接続されていますか？
	テレビの入力切換を外部入力にしてください。
	本機の [ビデオ出力] を [NTSC] に設定してください。（P22）
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	テレビの機種によっては、表示される領域が狭く、画像が縦や横に伸びたり、画像の上下や左右が切れて表示されることがあります。異常ではありません。
テレビで動画の再生ができない。	カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？ AV ケーブル（付属）をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。（P107）
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	本機の TV アスペクトを確認してください。（P23）
パソコンに接続して画像を転送できない。	正しく接続されていますか？
	パソコンが本機を正常に認識していますか？
パソコンにカードが認識されない。 （内蔵メモリーになっている）	USB 接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態で USB 接続ケーブルを接続し直してください。
プリンターに接続して、プリントができない。	プリンターは PictBridge に対応していますか？対応していないプリンターではプリントできません。
	モードダイヤルを［　］に合わせ直してください。（P103）
プリントすると、画像の端が切れる。	● トリミングや「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミングまたは「ふちなし」の設定を解除してお試しください。（プリンターの説明書をお読みください） ● お店によっては、アスペクト（P64）を [16:9] に設定して撮影した画像を 16：9 のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。

■ その他

Q（質問）	A（回答）
メニューの言語が英語の表示になっている。	[MENU/SET] ボタンを押してセットアップメニュー[ ] を表示し、[ ] アイコンを選んで、言語設定をしてください。（P23）
オートレビューの設定ができない。	オートブラケット撮影（P43）、[連写]（P69）、シーンモード（P45）の [自分撮り]、[高速連写]、動画撮影モード [ ]（P54）、音声記録（P66）が [ON] になっていませんか？これらの設定のときは、セットアップメニューでオートレビューの設定はできません。
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF 補助光ランプ（P70）が赤く点灯します。
AF 補助光が点灯しない。	撮影メニューの [AF 補助光] を [ON] に設定していますか？（P70）
	暗い場所での撮影ですか？明るい場所では AF 補助光は点灯しません。
	シーンモード（P45）の [自分撮り]、[風景]、[夜景]、[夕焼け]、[花火]、[空撮] を選択しているときは、AF 補助光は点灯しません。
本機が熱くなる。	ご使用中、本機表面が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
レンズ部から「カチッ」と音がする。	ズーム動作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わるときがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので異常ではありません。
時計が合っていない。	本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。（P16）
	時計設定をしない状態で撮影すると、[0. 0. 0 0:00] の日付が記録されます。
画像がわずかにゆがんで表示される。	画像はズーム倍率によってわずかにゆがんで撮影されます。これをディストーション（歪曲収差）といいます。広角にして被写体に近づいて撮影するほどディストーションは大きくなりますが、異常ではありません。
画像の周囲に、実際にはない色が付いている。	画像はズーム倍率によって被写体の輪郭などにわずかに着色して撮影されることがあります。これを色収差といいます。望遠にしたときに色収差は目立つことがありますが、異常ではありません。
ファイル番号が連続して記録されない。	特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。（P101）
ファイル番号がさかのぼって記録される。	電源を[OFF]にせずバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー・ファイル番号を記憶することができません。従って、再度電源を [ON] にして撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録される場合があります。
画像が黒く表示される。	パソコンで回転された画像や編集された画像は、再生モード時（P33）、マルチ再生時（P75）、カレンダー再生時（P76）に黒く表示されることがあります。
レンズ鏡筒が収納される。	撮影モードから再生モードに切り換えると、約１５秒後にレンズ鏡筒が収納されます。

使用上のお願い

つづく

■ 本機について

**本機を落としたり、ぶつけたりしない
また、本機に強い圧力をかけない**

- 強い衝撃が加わると、レンズや液晶モニター、外装ケースが壊れ、故障の原因になります。
- ストラップにぶら下げたアクセサリーなどで強い圧力がかかると、液晶モニターが壊れる原因となりますのでお気をつけください。
- 本機を入れたかばんを落としたり、ぶつけたりすると、本機に衝撃が加わりますのでお気をつけください。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプター（別売：DMW-AC5）を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。

また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、バッテリーを取り出す、または電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- 柔らかい乾いた布でほこりや指紋をふいてください。
- 台所用洗剤や化学ぞうきんは使用しないでください。

■ 液晶モニターについて

- **液晶モニターを強く押さえないでください。画面にむらが出たり、故障の原因になります。**
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については 99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

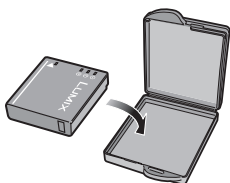
■ レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。

■ バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーは、バッテリーキャリングケース（付属）に収納してください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー（付属）も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。（P109）

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

不要になった電池（バッテリー）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池の届け先
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ
  http://www.jbrc.net/hp

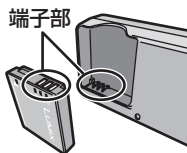
使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

Li-ion Ni

充電式
リチウムイオン
電池使用

■ チャージャーについて

- ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は 1 m 以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、最大約 0.1 W の電力を消費しています）
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

■ カードについて

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない

また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■ 長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
  (推奨温度 :15 ℃～ 25 ℃、
  推奨湿度 :40%～ 60%です)
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源が [OFF] であっても、絶えず微少電流が流れています。
  これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをおすすめします。
- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをおすすめします。

■ 画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 三脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。無理な力で回すと本機のねじを損傷する恐れがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
- 三脚の説明書もよくお読みください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

記録可能枚数・記録可能時間

- 記録可能枚数・時間は目安です。（撮影条件、カードの種類によって変化します）
- 被写体により記録可能枚数・時間は変動します。

■ 記録可能枚数（静止画：枚）

アスペクト設定		4:3									
記録画素数		8M：8M (3264×2448)		5M：5M EZ (2560×1920)		3M：3M EZ (2048×1536)		2M：2M EZ (1600×1200)		0.3M：0.3M EZ (640×480)	
クオリティ											
内蔵メモリー（約 27 MB）		6	12	10	21	16	32	26	52	130	210
カード	16 MB	2	6	5	10	8	16	13	27	68	110
	32 MB	6	14	11	23	18	36	29	58	145	230
	64 MB	14	30	24	48	38	75	61	120	290	480
	128 MB	30	61	50	99	78	150	125	240	600	970
	256 MB	61	120	98	190	150	290	240	470	1170	1900
	512 MB	120	240	195	380	300	590	480	940	2320	3770
	1 GB	240	480	390	770	600	1180	970	1880	4640	7550
	2 GB	490	970	790	1530	1220	2360	1920	3610	8780	12290
	4 GB	970	1910	1560	3010	2410	4640	3770	7090	17240	24130

アスペクト設定		3:2						16:9					
記録画素数		7M：7M (3264×2176)		4.5M：4.5M EZ (2560×1712)		2.5M：2.5M EZ (2048×1360)		6M：6M (3264×1840)		3.5M：3.5M EZ (2560×1440)		2M：2M EZ (1920×1080)	
クオリティ													
内蔵メモリー（約 27 MB）		7	14	11	23	18	36	8	17	14	28	25	48
カード	16 MB	3	7	5	12	9	18	4	8	7	14	12	25
	32 MB	7	16	13	26	20	40	9	19	15	31	27	53
	64 MB	16	33	27	54	43	83	20	40	32	64	57	105
	128 MB	34	69	56	110	88	165	41	81	66	130	115	220
	256 MB	68	135	110	210	170	330	81	155	130	250	230	430
	512 MB	135	260	210	430	340	650	160	310	250	510	450	860
	1 GB	270	530	440	860	680	1310	320	630	520	1020	910	1720
	2 GB	550	1070	890	1700	1360	2560	650	1270	1040	2040	1800	3410
	4 GB	1080	2110	1740	3350	2680	5020	1280	2510	2040	4020	3540	6700

■ 記録可能時間(動画撮影時)

アスペクト設定		4:3			
画質設定		30fps VGA	10fps VGA	30fps QVGA	10fps QVGA
内蔵メモリー(約 27 MB)		—	—	53 秒	2分 40 秒
カード	16 MB	6 秒	26 秒	26 秒	1 分 22 秒
	32 MB	17 秒	58 秒	59 秒	2 分 55 秒
	64 MB	39 秒	2 分 00 秒	2 分 00 秒	6 分 00 秒
	128 MB	1 分 23 秒	4 分 10 秒	4 分 10 秒	12 分 20 秒
	256 MB	2 分 45 秒	8分 10 秒	8分 10 秒	24 分 00 秒
	512 MB	5 分 30 秒	16 分 20 秒	16 分 20 秒	47 分 50 秒
	1 GB	11 分 00 秒	32 分 50 秒	32 分 50 秒	1 時間 35 分
	2 GB	22 分 30 秒	1 時間7分	1 時間7分	3 時間 15 分
	4 GB※	44 分 20 秒	2 時間 11 分	2 時間 11 分	6 時間 22 分

アスペクト設定		16:9	
画質設定		30fps 16：9	10fps 16：9
内蔵メモリー(約 27 MB)		—	—
カード	16 MB	5 秒	22 秒
	32 MB	14 秒	50 秒
	64 MB	33 秒	1 分 45 秒
	128 MB	1分 11 秒	3 分 35 秒
	256 MB	2分 20 秒	7分 00 秒
	512 MB	4 分 40 秒	14 分 00 秒
	1 GB	9 分 20 秒	28 分 10 秒
	2 GB	19 分 20 秒	57 分 30 秒
	4 GB※	38 分 00 秒	1 時間 53 分

※動画を連続で撮影できるのは、最大 2 GB までです。
画面には、2 GB で記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

◯◯お知らせ◯◯

- 液晶モニターに表示される記録可能枚数・時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
- シーンモードの [高感度]、[高速連写] では、EX 光学ズームが働きませんので、記録画素数の [EZ] は表示されません。

仕様

電源	DC 5.1 V
消費電力	1.6 W（撮影時） 0.8 W（再生時）

カメラ有効画素数	810 万画素
撮像素子	1/2.5 型 CCD　総画素数 832 万画素、原色カラーフィルター
レンズ	光学 3.6 倍ズーム　f=4.6 mm ～ 16.4 mm（35 mm フィルムカメラ換算：28 mm ～ 100 mm）/ F2.8 ～ F5.6
デジタルズーム	最大 4 倍
EX 光学ズーム	最大 5.7 倍
フォーカス	通常 / マクロ / 顔認識 /5 点 /3 点 (H)/1 点 (H)/1 点 / スポット
撮影範囲	通常：50 cm ～∞ マクロ / インテリジェントオート / 動画 / メモ： 5 cm（W 端時）/30 cm（T 端時）～∞ シーンモード：上記撮影範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
動画撮影	アスペクト [4:3] 設定時 640×480 画素（30 コマ / 秒、10 コマ / 秒、カード使用時のみ）/ 320×240 画素（30 コマ / 秒、10 コマ / 秒） アスペクト [16:9] 設定時 848×480 画素（30 コマ / 秒、10 コマ / 秒、カード使用時のみ） 音声付き
連写撮影：連写速度 **連写枚数**	3 コマ / 秒（通常）、約 2 コマ / 秒（フリー連写） 最大 7 コマ（スタンダード）、最大 4 コマ（ファイン）、 内蔵メモリーまたはカードの空き容量に依存（フリー連写）
高速連写：連写速度 **連写枚数**	約 7 コマ / 秒 内蔵メモリー使用時：約 15 枚（フォーマット直後） カード使用時：最大 100 枚（カードの種類、撮影条件によって異なる）
ISO 感度	オート /100/200/400/800/1250/1600 シーンモードの [高感度]：1600 ～ 6400
シャッタースピード	8 秒～ 1/2000 秒、シーンモードの [星空]：15 秒、30 秒、60 秒 動画：1/30 秒～ 1/13000 秒
ホワイトバランス	オートホワイトバランス / 晴天 / 曇り / 日陰 / 白熱灯 / セットモード
露出	プログラム AE、露出補正（1/3 EV ステップ、−2 EV ～ +2 EV）
測光方式	評価測光
液晶モニター	2.5 型低温ポリシリコン TFT 液晶（約 20.7 万画素）（視野率約 100%）
フラッシュ	撮影可能範囲：約 60 cm ～約 6.3 m（W 端、[ISO AUTO] 設定時）
	オート / 赤目軽減オート / 強制発光（赤目軽減強制発光）/ 赤目軽減スローシンクロ / 発光禁止
マイク	モノラル
スピーカー	モノラル

記録メディア	内蔵メモリー（約 27 MB）/SD メモリーカード /SDHC メモリーカード / マルチメディアカード（静止画のみ対応）
記録画素数 静止画 動画	 アスペクト [4:3] 設定時 3264×2448 画素 /2560×1920 画素 /2048×1536 画素 /1600×1200 画素 /640×480 画素 アスペクト [3:2] 設定時 3264×2176 画素 /2560×1712 画素 /2048×1360 画素 アスペクト [16:9] 設定時 3264×1840 画素 /2560×1440 画素 /1920×1080 画素 アスペクト [4:3] 設定時 640×480 画素（カード使用時のみ）/320×240 画素 アスペクト [16:9] 設定時 848×480 画素（カード使用時のみ）
クオリティ（圧縮率）	ファイン / スタンダード
記録画像ファイル形式 静止画 音声付き静止画 動画	 JPEG（DCF 準拠、Exif2.21 準拠）/DPOF 対応 JPEG（DCF 準拠、Exif2.21 準拠）+QuickTime （音声付き静止画） QuickTime Motion JPEG（音声付き動画）
インターフェース デジタル アナログビデオ / オーディオ	 USB 2.0（Full Speed） NTSC/PAL コンポジット（メニュー切り換え）/ オーディオライン出力（モノラル）
端子 AV OUT/DIGITAL DC IN	 専用ジャック（8 pin） 専用ジャック
寸法	約 幅 94.9 mm× 高さ 51.9 mm× 奥行き 22.0 mm（突起部除く）
質量	約 132 g（本体） 約 154 g（カード、バッテリー含む）
推奨使用温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10% ～ 80%

専用バッテリーチャージャー /DE-A39A

定格出力	DC 4.2 V 0.8 A（充電時）
定格入力	AC100 V— 240 V 50/60 Hz
入力容量	15 VA（100 V/240 V）

リチウムイオンバッテリーパック : DMW-BCE10

電圧 / 容量	3.6 V, 1000 mAh

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理･お取り扱い･お手入れなどのご相談は･･･
まず､お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■ 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間
（「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	デジタルカメラ
品　番	DMC-FX33
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

http://panasonic.jp/support/

つづく

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区		
札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251 **旭川** 旭川市2条通16丁目1166 ☎(0166)22-3011	**帯広** 帯広市西20条北2丁目23-3 ☎(0155)33-8477	**函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

東 北 地 区

青森	青森市大字浜田 字豊田364 ☎ (017)775-0326	岩手	盛岡市厨川5丁目 1-43 ☎ (019)645-6130	山形	山形市平清水1丁目 1-75 ☎ (023)641-8100
秋田	秋田市外旭川 字小谷地3-1 ☎ (018)868-7008	宮城	仙台市宮城野区扇町 7-4-18 ☎ (022)387-1117	福島	郡山市亀田1丁目 51-15 ☎ (024)991-9308

首 都 圏 地 区

栃木	宇都宮市上戸祭 3丁目3-19 ☎ (028)689-2555	埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎ (048)728-8960	山梨	甲府市宝1丁目4-13 ☎ (055)222-5171
群馬	前橋市箱田町325-1 ☎ (027)254-2075	千葉	千葉市中央区末広 5丁目9-5 ☎ (043)208-6034	神奈川	横浜市港南区日野 5丁目3-16 ☎ (045)847-9720
茨城	つくば市筑穂3丁目 15-3 ☎ (029)864-8756	東京	東京都世田谷区 宮坂2丁目26-17 ☎ (03)5477-9780	新潟	新潟市東明1丁目 8-14 ☎ (025)286-0171

中 部 地 区

石川	金沢市横川3丁目20 ☎ (076)280-6608	長野	松本市寿北7丁目3-11 ☎ (0263)86-9209	岐阜	岐阜市中鶉4丁目42 ☎ (058)278-6720
富山	富山市根塚町1丁目 1-4 ☎ (076)424-2549	静岡	静岡市葵区千代田 7丁目7-5 ☎ (054)287-9000	高山	高山市花岡町3丁目 82 ☎ (0577)33-0613
福井	福井市問屋町2丁目 14 ☎ (0776)25-5001	愛知	名古屋市瑞穂区 塩入町8-10 ☎ (052)819-0225	三重	津市久居野村町 字山神421 ☎ (059)255-1380

近 畿 地 区

滋賀	栗東市霊仙寺1丁目 1-48 ☎ (077)582-5021	大阪	大阪市北区本庄西 1丁目1-7 ☎ (06)6359-6225	和歌山	和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
京都	京都市伏見区竹田 中川原町71-4 ☎ (075)646-2123	奈良	大和郡山市筒井町 800番地 ☎ (0743)59-2770	兵庫	神戸市須磨区弥栄台 3丁目13-4 ☎ (078)796-3140

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0507

さくいん

と

な

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

め

も

や

ゆ

よ

り

れ

ろ

わ

英字

その他 Q&A

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を
使用しています。

QuickTime およびQuickTime ロゴは、ライセンス
に基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商
標です。

愛情点検　**長年ご使用のデジタルカメラの点検を！**

こんな症状は ありませんか	・電源プラグが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・水や異物が入った ・画像が乱れたり、きれいに映らない ・その他の異常や故障がある

▼

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DMC-FX33
販　売　店　名	☎（　　）		
お客様相談窓口	☎（　　）		

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒 571-8504　大阪府門真市松生町１番 15 号

F0707MG0 (30000 Ⓐ)